

令和2年度文化庁委嘱  
「日本語教育の参照枠」Can do の量的検証に  
関する調査報告書

令和3年3月

一般社団法人 日本語教育支援協会

# 目次

1. 調査の背景および目的 .....	1
2. 調査の方法 .....	2
2. 1 調査対象とした Can do .....	2
2. 2 調査対象とした日本語教育機関 .....	2
2. 2. 1 学習者評価 .....	3
2. 2. 2 教師評価 .....	5
2. 3 調査実施期間 .....	5
3. 分析と考察 .....	5
3. 1 分析の方法 .....	5
3. 2 モデルの適合度と次元性 .....	5
3. 3 Can do の困難度と学習者の能力の分布 .....	6
3. 4 Can do の適合度 .....	7
3. 5 評定尺度の妥当性 .....	9
3. 6 レベルごとの Can do のロジット値 .....	10
3. 6. 1 6段階レベルでの検討 .....	10
3. 6. 2 5段階レベルでの検討 .....	15
3. 7 レベルの逆転項目 .....	21
3. 7. 1 レベルの逆転項目の認定と概略 .....	21
3. 7. 2 「聞く」の逆転項目について .....	23
3. 7. 3 「読む」の逆転項目について .....	25
3. 7. 4 「話す（やりとり）」の逆転項目について .....	26
3. 7. 5 「話す（発表）」の逆転項目について .....	28
3. 7. 6 「書く」の逆転項目について .....	29
3. 8 代表項目 .....	32
4. まとめ .....	36
<引用文献> .....	38
<調査協力日本語教育機関（五十音順）> .....	39
<付録> .....	40

## 「日本語教育の参照枠」Can do の量的検証に関する調査報告書

一般社団法人 日本語教育支援協会

### 1. 調査の背景および目的

我が国に在留する外国人は、令和2年度末現在で約289万人に上り、日本で就労する外国人は令和2年10月末時点で約172万人となり、過去最高を記録した。海外においても、世界の142か国・地域で日本語教育が行われ、海外の日本語学習者数は約385万人となっている。出身国・地域、文化、年齢、在留資格、職業、滞在目的等の多様化が進み、日本語の学習を希望する外国人等が望む日本語教育も多様化する一方で、それに対応した国内外における多様な学びの連関を図ることが課題となっている。

このような状況のもと、文化審議会国語分科会日本語教育小委員会では、令和2年11月に「日本語教育の参照枠」一次報告を取りまとめた。この報告は、「ヨーロッパ言語共通参照枠」(Common European Framework of Reference for Languages: Learning, teaching, assessment 以下、CEFR)を参照し、国内外を行き来する多様な日本語学習者及び日本語教師をはじめとする全ての日本語教育関係者が参照することにより、生活、就労、留学といった外国人の活動状況に応じた日本語教育の基準や目標を定めることが容易になるよう、学習、教授、評価に係る日本語教育の包括的な枠組みとして今後、国内外の日本語教育の現場での参照が期待されるものである。

「日本語教育の参照枠」一次報告では、CEFRで示されている例示言語能力記述文(言語を使ってできることを「～できる」という形で示した文。以下Can doという。)をもとにした493項目のCan doが「日本語教育の参照枠」Can doとして示されている<sup>1</sup>。これらのCan doについては、国際交流基金(2020)が海外の日本語教育機関を対象として、CEFRで示されている例示言語能力記述文(話すこと、書くこと及び能力Can do)52項目について検証を行っており、日本語教育・学習において「困難度の数値に基づいたCan doのレベル付けの妥当性は「概ね妥当」である。」との報告を行っている。また、野口ほか(2019)が「聞く」「読む」に、野口ほか(2020)が「話す」「書く」「やりとり」に関して、CEFRの日本語への適用可能性について報告を行っている。

そこで、本調査では、聞くこと、読むこと、話すこと(やりとり・発表)、書くことの言語活動を含む、319項目の「日本語教育の参照枠」Can doについて、以下の二つを目的として調査を行った。

- ① 「日本語教育の参照枠」Can doのレベル尺度の妥当性について検証する。
- ② 今後行うべき調査について提案する。

---

<sup>1</sup> Can doの日本語訳は、吉島・大橋(2014)を参考とし、個別のCan doの示し方(教え方)については、独立行政法人国際交流基金が開発したJF日本語教育スタンダードに基づいている。さらに、日本語教育小委員会にて、欧州評議会(2020)の内容を参照しつつ、Can doの中で使われている「母語話者」を「熟達した日本語話者」などに言い換えたり、「標準語」を「共通語」と言い換えたりするなど、493項目中、33項目について修正を行った。

## 2. 調査の方法

### 2.1 調査対象とした Can do

本調査では、五つの言語活動（聞くこと、読むこと、話すこと（やりとり）、話すこと（発表）、書くこと）に関する 319 項目の Can do のうち 211 項目を調査対象とし、4 件法の自己評価で調査した。調査項目には CEFR A1～C2 の 6 レベルを含み、「1.できない」、「2.あまりできない」、「3.難しいがなんとかできる」、「4.できる」の 4 段階で判定した。B1.1、B.1.2 のようにさらに細かくレベル分けされているものもあるが、本調査では、ともに B1 として扱った。付録 1～2 を参照のこと。

調査票は、調査協力者の日本語レベルによってグループ 1 から 4 の四つのグループに分けた。一つのグループの調査票には、三つのレベルにわたり、五つの言語活動に関する Can do を JF 日本語教育スタンダードで用いられた番号（前掲、脚注 1 参照）の順に示した。表 1 は、グループごとの Can do の内訳である。

調査票については、14 言語（日本語、中国語（簡体字）、韓国語、モンゴル語、英語、南米スペイン語、ブラジル・ポルトガル語、ベトナム語、フィリピン語、クメール語、タイ語、ミャンマー語、インドネシア語、ネパール語）を準備した。

表 1 グループごとの Can do の内訳

	レベル	聞くこと	読むこと	話すこと (やりとり)	話すこと (発表)	書くこと	合計
グループ 1	A1	2	5	7	3	5	97
	A2	6	8	7	9	8	
	B1	9	7	6	8	7	
グループ 2	A2	6	7	7	7	7	100
	B1	8	7	7	7	7	
	B2	6	6	6	6	6	
グループ 3	B1	7	8	7	7	7	100
	B2	7	8	7	7	7	
	C1	6	4	6	6	6	
グループ 4	B2	9	8	8	10	10	93
	C1	8	4	7	6	6	
	C2	2	2	5	4	4	

### 2.2 調査対象とした日本語教育機関

海外においては、国際交流基金（2020）の調査があるため、今回の調査は国内の日本語教育委機関を調査の対象とした。調査の対象とした日本語教育機関の内訳は以下の通りである。可能な限り多様かつ、広範囲に所在する日本語教育機関に対して協力を依頼し、以下の日本語教育機関で調査を実施することができた。

・大学院・大学	4校	
・日本語学校	14校	
・国際交流協会	1機関	
・就労者に対する日本語教育機関	2機関	
・技能実習生に対する日本語教育機関	2機関	合計 23機関

### 2.2.1 学習者評価

学習者評価は、日本語学習者にウェブアンケートに回答してもらう形で実施した。回答者は1,683名で、能力レベルで四つの回答者グループ（グループ1からグループ4）に分けられた。調査機関にて所属する学習者の能力レベルをおおまかに判断してグループ分けを行った。目安として、CEFR A2またはJLPT N4相当がグループ1、CEFR B1またはJLPT N3相当がグループ2、CEFR B2またはJLPT N2相当がグループ3、CEFR C1またはJLPT N1以上相当がグループ4として振り分けられた。表2はグループごとの回答数である。また、学習者の内訳は表3、漢字圏（中国、台湾、日本）、非漢字圏（それ以外）の別と学習者の母語の内訳は、表4、表5の通りである。

表2 グループごとの回答者数

グループ1	524
グループ2	327
グループ3	548
グループ4	284
合計（人）	1,683

表3 学習者の内訳

	技能実習	就労者	生活者	留学生	不明	合計
グループ1	123	13	232	110	46	524
グループ2	19	6	61	231	10	327
グループ3	1	0	14	523	10	548
グループ4	0	2	2	269	11	284
合計（人）	143	21	309	1133	77	1683
比率（%）	8.50%	1.25%	18.36%	67.32%	4.58%	100%

表4 学習者の漢字圏、非漢字圏の別

	非漢字圏	漢字圏	不明	合計
グループ1	445	77	2	524
グループ2	198	128	1	327
グループ3	222	323	3	548
グループ4	59	216	9	284
合計(人)	924	744	15	1,683
比率(%)	54.90%	44.21%	0.89%	100%

表5 学習者の母語の内訳

中国語	744	ペルシア語	7	スウェーデン語	2
ベトナム語	383	モンゴル語	6	マレー語	1
スペイン語	75	アラビア語	6	ラトビア語	1
ポルトガル語	72	ビサヤ語	6	ルワンダ語	1
英語	63	ウルドゥー語	5	アムハラ語	1
韓国語	53	ベンガル語	4	ウオロブ語	1
インドネシア語	39	カタロニア語	3	ウクライナ語	1
フィリピン語	37	タミル語	3	クメール語	1
ネパール語	28	シンハラ語	3	シッキム語	1
タイ語	21	マケドニア語	2	シャン語	1
フランス語	21	マラティー語	2	チェコ語	1
ロシア語	13	マラヤーラム語	2	ノルウェー語	1
ドイツ語	13	ルーマニア語	2	ハンガリー語	1
イタリア語	11	日本語	2	ヘブライ語	1
ヒンディー語	9	カンナダ語	2	ベラルーシ語	1
ミャンマー語	7	テルグ語	2	不明	21
				合計(人)	1,683

注：留学生である2名の調査協力者が母語を日本語と回答したが、単純な間違いなのか、日本にルーツを持つ者なのかについては不明であるため、そのままとした。

各グループは異なる Can do 項目群に答えたが、共通項目を入れた。表6はグループごとの記述統計と  $\alpha$  係数により推定した信頼性係数の値である。各項目の記述統計と選択肢の選択率に関しては、付録3～7を参照のこと。

表6 グループごとの記述統計と  $\alpha$  係数

グループ	Can do 数	サンプル数	平均値	標準偏差	$\alpha$ 係数
グループ1	97	524	3.0	0.57	.99
グループ2	100	327	3.1	0.50	.98
グループ3	100	548	2.9	0.52	.99
グループ4	93	284	2.9	0.50	.99

## 2.2.2 教師評価

教師評価は、九つの日本語教育機関の日本語教師が、授業等で接する機会が多く日本語能力が把握できる147名の日本語学習者の能力を、五つの言語活動ごとに評価した。また、学習者の実際のパフォーマンスデータ（音声、作文）の収集も一部行ったが、本報告書では分析していない。

教師評価の実施に先立ち、令和3年の2月中に合計5回、延べ54名の教師に対し、教師評価のための説明会を実施した。この説明会では、調査方法の説明のほか、「日本語教育の参照枠」の「全体的な尺度」、「言語活動別の熟達度」などで大まかなレベル感を掴んだのち、JF日本語教育スタンダードをもとに作成された教材で扱われているタスクのレベルを判断する活動などを約3時間にわたって行った。

## 2.3 調査実施期間

調査実施期間は以下の通りである。当初は第1期のみでの予定であったが、第2期に学習者評価のうち、グループ3とグループ4のデータについて追加収集を行った。

第1期 令和3年2月6日～3月14日 学習者評価、教師評価

第2期 令和3年3月15日～3月31日 学習者評価

## 3. 分析と考察

### 3.1 分析の方法

本調査の分析には、ラッシュモデルでの分析を行うソフトウェアである Facets (Version 3.83.6) (Linacre 2021) を使用した。すべての分析において、回答していない項目は欠測値として扱った。同時推定法による垂直尺度化を行い、ラッシュモデルの中の評定尺度モデルを用いて分析した。

### 3.2 モデルの適合度と一次元性

全体的なモデル適合においては、予期しない反応の指標となる標準化残差 (standardized residuals) の絶対値が2より大きいものが全体の5%を超え、3より大きいものが1%を超えるようであれば、問題があると判断できる (Eckes 2011) とされているが、今回は標準化残差絶対値が2より大きいものが、3.71%、3より大きいものが0.54%だったため、データ全体がモデルに適合していると言える。

次に、一次元性に関して、「Variance explained by Rasch measures」の値が20%以上であれば、一次元性が満たされている (Engelhard 2013) とされており、今回は49.2%であり、この点も問題がなかった。

### 3.3 Can do の困難度と学習者の能力の分布

今回は Can do の困難度を推定することを目的にしているため、Can do のロジット平均が 0 になるように固定し、学習者の能力尺度値は Can do のロジット尺度上の値で表わすことにした。図 1 は各相のロジットの高低を示す図 (Variable map) であり、Measr (Measure) がロジット値である。Ss (学習者) のロジット値はプラスに大きくなるほど能力が高く、Can do のロジット値はプラスに大きくなるほど困難度が高くなることを表す。

図 1 (Table 6.0) から分かるように、Can do のロジット値より学習者の能力が若干高めだが、Can do のロジット値が学習者の能力分布の範囲内にほぼ収まっており、問題ない範囲と言える。

Table 6.0 All Facet Vertical "Rulers".

Vertical = (1\*,2\*,S) Yardstick (columns lines low high extreme)= 0,3,-8,8,End

Measr	+Ss	-Cando	Scale
8	+ *	+	+ (4)
	.		
7	+ .	+	+
	.		
6	+ .	+	+
	.		
5	+ .	+	+
	.		
4	+ .	+	+
	*.		
	*.		
3	+ ***	+	+
	****.		
	*****.		
2	+ ****.	+ .	+ ---
	*****.	***.	
	*****.	*****.	
1	+ *****.	+ *****.	+ 3
	*****.	*****.	
	*****.	*****.	
*	0 * *****.	* **.	* --- *
	***.	*****.	
	***.	*****.	
-1	+ **.	+ *****.	+ 2
	*.	*****.	
	*.	*****.	
-2	+ **.	+ *.	+ ---
	.	*.	
-3	+ .	+ .	+
	.		
-4	+ .	+	+
	.		
-5	+ .	+	+
	.		
-6	+ .	+	+
	.		
-7	+ .	+	+
	.		
-8	+	+	+ (1)
Measr	* = 19	* = 3	Scale

図 1 学習者の自己評価の Variable map



図2 (Table 7.1.1 ; Table 7.2.1) には学習者の能力と Can do の困難度の記述統計が記載されている。学習者の平均値 (Mean) は 1.21 で、標準偏差 (S.D. (Sample) ) は 1.76 であった。Can do の困難度の平均は 0 で、標準偏差は 1.12 であった。

Table 7.1.1 Ss Measurement Report (arranged by mN).												
Total Score	Total Count	Obsvd Average	Fair(M) Average	+ Measure	Model S.E.	Infit MnSq	ZStd	Outfit MnSq	ZStd	Estim. Discrm	Corr. PtBis	Num Ss
291.8	97.9	2.98	2.98	1.21	.20	1.00	-.5	1.01	-.5		.35	Mean (Count: 1683)
53.1	2.6	.53	.59	1.76	.19	.50	3.6	.52	3.6		.20	S.D. (Population)
53.1	2.6	.53	.59	1.76	.19	.50	3.6	.52	3.6		.20	S.D. (Sample)

Table 7.2.1 Cando Measurement Report (arranged by mN).												
Total Score	Total Count	Obsvd Average	Fair(M) Average	- Measure	Model S.E.	Infit MnSq	ZStd	Outfit MnSq	ZStd	Estim. Discrm	Corr. PtBis	Num Cando
2327.8	780.8	2.98	3.00	.00	.07	1.00	-.1	1.00	-.3		.64	Mean (Count: 211)
1061.3	349.7	.26	.42	1.11	.02	.17	3.1	.20	2.7		.06	S.D. (Population)
1063.8	350.6	.26	.42	1.12	.02	.17	3.1	.20	2.7		.06	S.D. (Sample)

図2 学習者の能力と Can do の困難度の記述統計

### 3.4 Can do の適合度

実測値とモデルに基づく期待値の差が大きい場合、該当 Can do を削除するかどうかを検討する。その指標として、Infit 平均平方値 (Infit.MnSq) が、およそ 0.7~1.3 で適合していると言われているが、Wright, Linacre, Gustafsson, & Martin-Löf (1994) では、Rating scale (Likert/Survey) が 0.6~1.4 で適合しているとされる。今回は 0.6~1.4 の基準で、Can do の適合度を確認した。ミスフィット (misfit) は表 7 に示した 3 項目である。Can do 152 と Can do 319 は 1.40 を超え、モデルが予測するものと異なっていたアンダーフィット (underfit、不適合) の項目である。Can do 205 は 0.60 未満であり、能力の高低が正答確率に及ぼす影響が他の多くの項目に比べて敏感であるオーバーフィット (overfit、過剰適合) であった。

表7 ミスフィットの Can do 項目

Can do	Infit. MnSq	本文	logit	平均値	標準偏差	言語活動	レベル
152	1.60	短く簡単な想像上の人物伝や、人物を題材にした簡単な詩を書くことができる。	1.14	2.60	0.95	書く	A2.1
319	1.41	ホテルの予約用紙などに、数、日付、自分の名前、国籍、住所、年、生年月日、入国日などを書くことができる。	2.16	3.52	0.70	書く	A1
205	0.59	正確に自分の考えや意見を表現できる。また、説得力をもって議論の複雑な道筋を提示し、それに反応できる。	1.01	2.89	0.72	やりとり	B2.2

モデルに適合しない項目は必ずしも削除する必要があるということではない。本分析では、よりイメージしやすいために、Can do 152、319、205 を一つずつ削除し、Can do のロジット値の変化を確認した。Can do 項目を削除し、新たな分析結果が得られるごとに、データ全体がモデルにフィットしているかどうか、次元性を満たしているかどうかを確認した。その結果、全て問題がなかった。また、Can do レベルを A1=1、A2=2、B1=3、B2=4、C1=5、C2=6 でコーディングし、Can do のロジット値と Can do レベルの相関を調べたところ、相関係数に若干変化があったがほぼ変わらず全項目の場合と同じように強い相関関係が示された（表8）。

表8 Can do のロジット値と Can do レベルの相関  
(ミスフィットの項目を削除した後)

項目	スピアマン順位相関
全ての Can do	$r_s = .85, p < .05$
Can do 152 削除	$r_s = .87, p < .05$
Can do 152、319 削除	$r_s = .86, p < .05$
Can do 152、319、205 削除	$r_s = .86, p < .05$

以上のことから、ミスフィットの項目を削除してもしなくても全体的な適合度には影響がないことが分かる。よって、質的な検討を加えた後、削除すべき項目を決定すべきと考える。例えば、Can do 152 は A2.1 レベルの記述文であるが、「人物伝」や「詩」を書くという一般的でない言語活動の判定を求めたため、適切な自己評価ができなかったことがミスフィットの原因とも考えられる。予期せぬ反応 (Unexpected responses) の結果を見たところ、能力の低い学習者が高めに、能力の高い学習者が低めの自己評価をしていることが見て取れた。Can do 319 は最も低いロジット値を示しており、最も易しい項目となっているが、能力の高い学習者が低めの自己評価をしていたため、ミスフィットとなってい

た。ただし、これは A1 レベルの項目で上級者があまり使わない可能性があるので、削除せずに残しておいても構わないとも考えられる。また、Can do 205 はオーバーフィットの項目であり、モデルが予測する以上に能力推定の予測ができたため、削除しなくても実害はなく、残しておいて構わないと考えることもできる。さらに、Can do 319 と 205 のミスフィット値は基準を 0.01 超えただけであり、大きな測定の影響にはならないとも考えられる。今回の報告では、ミスフィット項目を削除していないすべての Can do 項目での分析結果を報告している。

### 3.5 評定尺度の妥当性

今回の評定尺度の妥当性を小泉・アルク（2017）に従って検討する。第 1 に、各段階に 10 個以上の結果が含まれることと、段階が上がるにつれて困難度を示すロジット値が大きくなっていることが必要である。前者については、回答数が最少の段階 1（「できない」）でも 9,260 個の回答あり、条件を満たしている。また、段階が上がるにつれて -1.46、 -0.10、1.13、2.63 のように困難度を示すロジット値が大きくなっていたため、後者の基準も満たしていた。

第 2 に本調査は 4 件法でアンケート調査を実施したので、三つの閾値(threshold level)があるが、閾値の間の差に関して、各レベルの閾値が 1.4 以上 5.0 未満で上がっていることが望ましいと言われている（Eckes 2011）。今回の閾値の困難度の推定値が、段階が上がるに従ってロジット値が -1.99、-0.27、2.26 の順で、段階 1（「できない」）と段階 2（「あまりできない」）の閾値と段階 2 と段階 3（「難しいがなんとかできる」）の閾値の間は、 $-0.27 - (-1.99) = 1.72$ 、段階 2 と 3 の閾値と段階 3 と段階 4（「できる」）の閾値の間は、 $2.26 - (-0.27) = 2.53$  と上がっており、この基準も満たされていた。

第 3 に、図中の確率曲線（probability curves）は「項目選択枝特性曲線（Item Response Category Characteristic Curve : IRCCC）」を指しており、それぞれのレベルに明確な頂上があることが求められるが、今回は確認できた。

第 4 に、レベルの適合度（level fit statistics）は、2.0 より大きい値の場合にはラッシュェモデルが予測する評価パターンからかなり離れ、問題と判断されるが、今回の結果では、全て 1.1 以内であり、基準を満たしていた。以上の分析を踏まえて、今回の評定尺度は妥当だと考えられる。

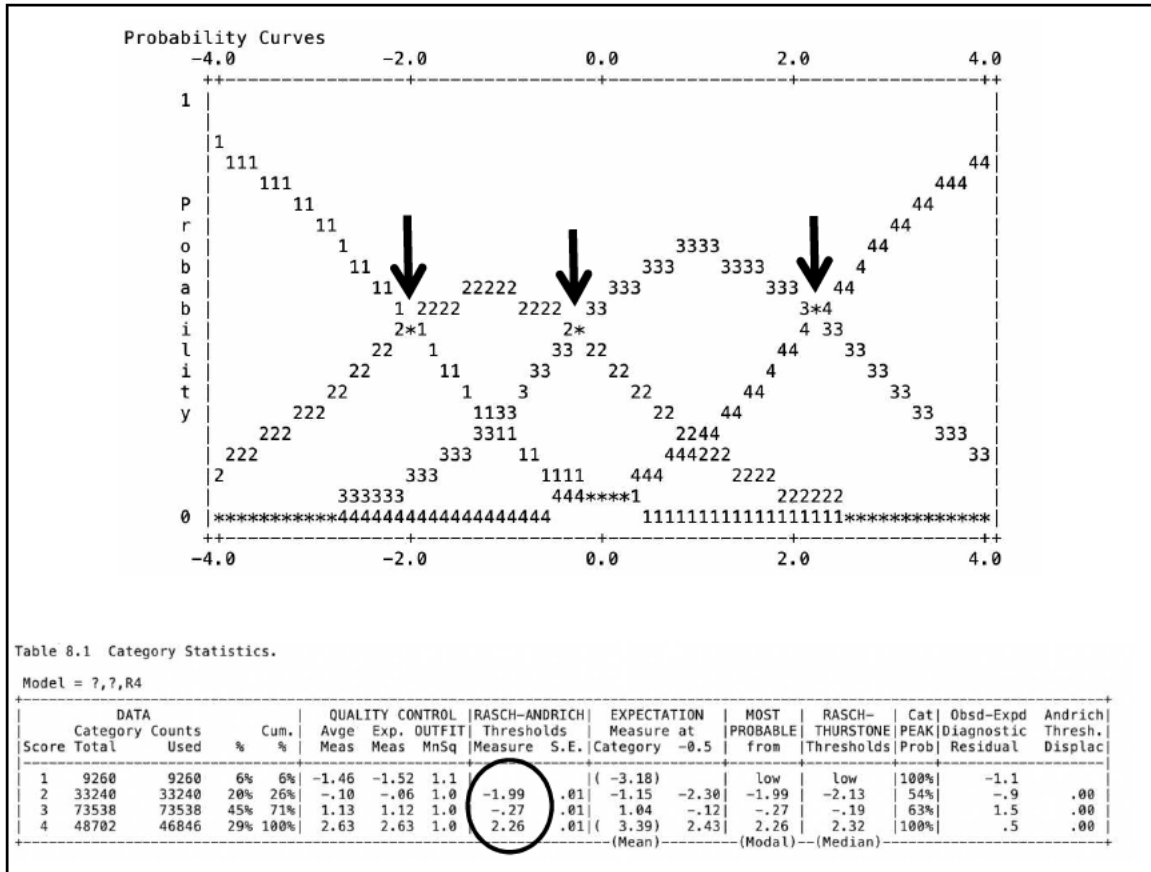


図3 学習者の自己評価の評定の閾値 (threshold level)

### 3.6 レベルごとの Can do のロジット値

#### 3.6.1 6段階レベルでの検討

CEFR Can do のレベルごとに、Can do のロジット値の記述統計を表9に示す。図4は Can do 項目（全言語活動）について、意図した Can do のレベルと、分析後のロジット値でプロットした散布図である。図中の数字は Can do の項目番号を示す。

表9 レベル別 Can do のロジット値の記述統計

レベル	平均値	標準偏差	中央値	最小値	最大値	レンジ	標準誤差
A1	-1.50	0.58	-1.39	-2.61	-0.36	2.25	0.12
A2	-1.09	0.68	-1.08	-2.37	1.14	3.51	0.10
B1	-0.20	0.60	-0.24	-1.44	0.81	2.25	0.09
B2	0.74	0.51	0.78	-0.73	1.55	2.28	0.07
C1	1.01	0.54	1.12	-0.72	1.86	2.58	0.10
C2	1.36	0.37	1.44	0.6	1.82	1.22	0.09

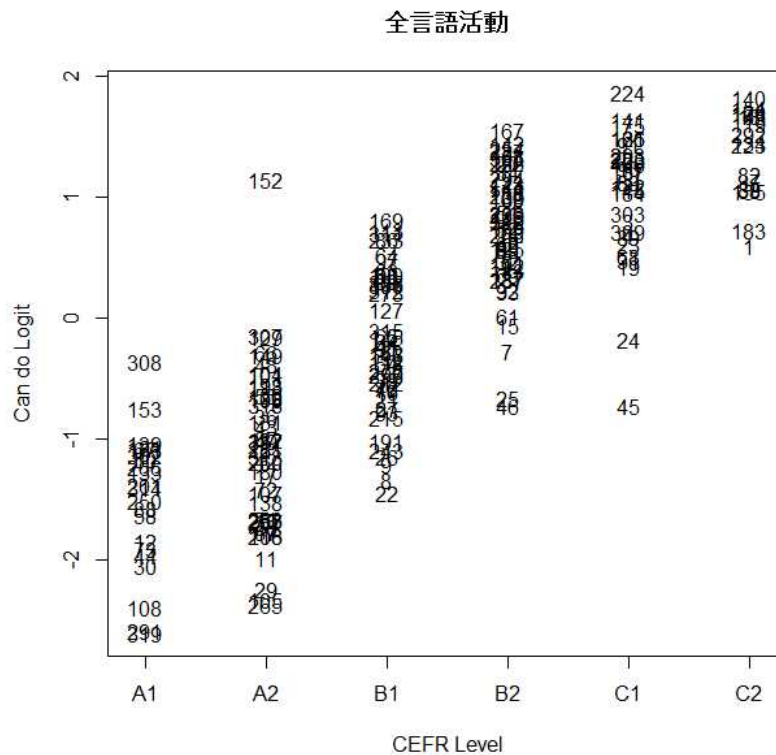


図4 Can do のレベルとロジット値（全言語活動）

図4で示したように、A1～C2までレベルが上がるにつれて、Can do のロジット値も大きくなっていくので、全体的にはレベルとロジット値が予想通りに推移している。Can do レベルと Can do のロジット値に強い相関（スピアマン順位相関）も認められた ( $r_s = .85, p < .05$ )。ただし、C1とC2の重なりがかなり大きいことが見て取れる。

個別の項目で見ると、例えば Can do 24と Can do 45は、C1レベルの Can do には易しすぎる項目と言える。Can do 152はA2レベルの Can do には難しすぎる項目と言える。これはミスフィットの項目でもあった。

Can do 項目は「聞く」「読む」「(話す)やりとり」「(話す)発表」「書く」の5種類の言語活動からなっている。CEFRの Can do レベル及びロジット値で各言語活動の Can do を図示化し、図5～9に示す。個別の言語活動に関しても、レベルが上がるにつれて、Can do のロジット値が上がる傾向が示されているが、以下に示すようにロジット値の重なりが見られる。

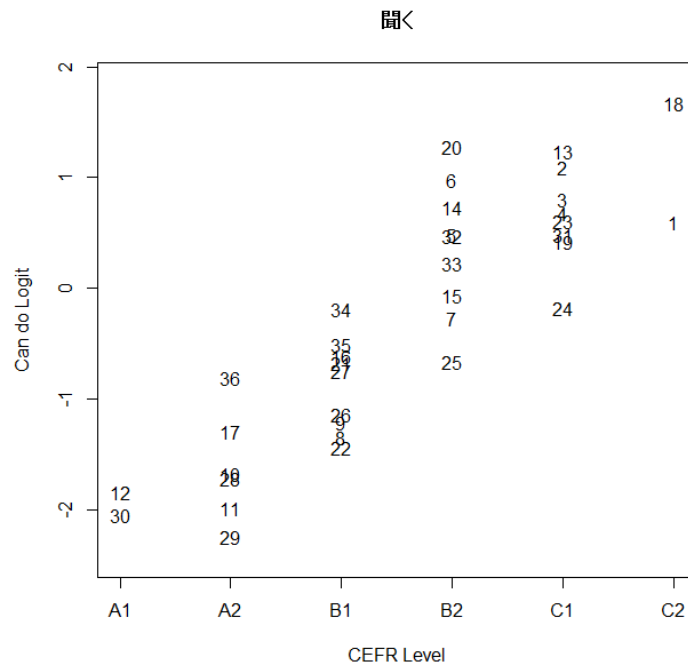


図5 Can do のレベルとロジット値 (聞く)

「聞く」では B2 と C1 のロジット値が大きく重なっている。

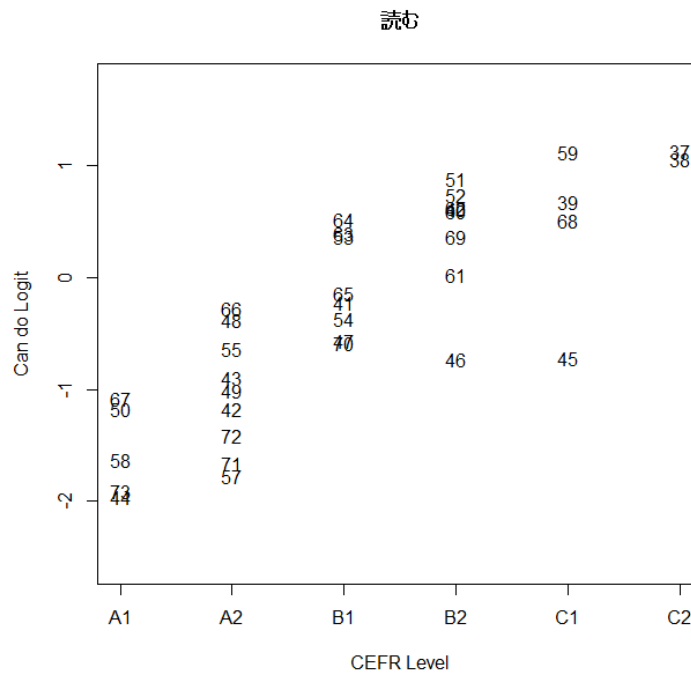


図6 Can do のレベルとロジット値 (読む)

「読む」では、Can do 45、Can do 46 が本来のレベルから大きく外れている。

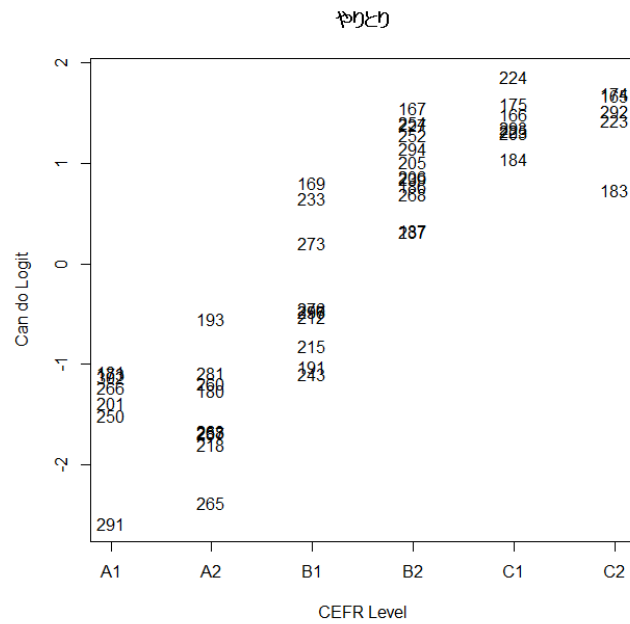


図7 Can do のレベルとロジット値 (やりとり)

「やりとり」では Can do 265 が A2 のレベルから大きく外れているほか、A1 と A2 の重なりが大きい。さらに C2 の項目が C1 の項目に比べてロジット値が低めに出るといふ逆転現象が起きている。

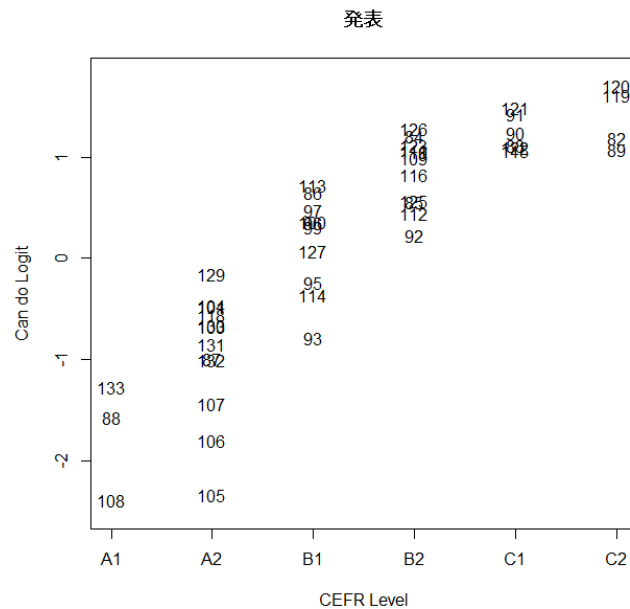


図8 Can do のレベルとロジット値 (発表)

「発表」では Can do 105 は A2 には明らかに易しすぎる。また、C1 と C2 がほぼ重なってしまっている。

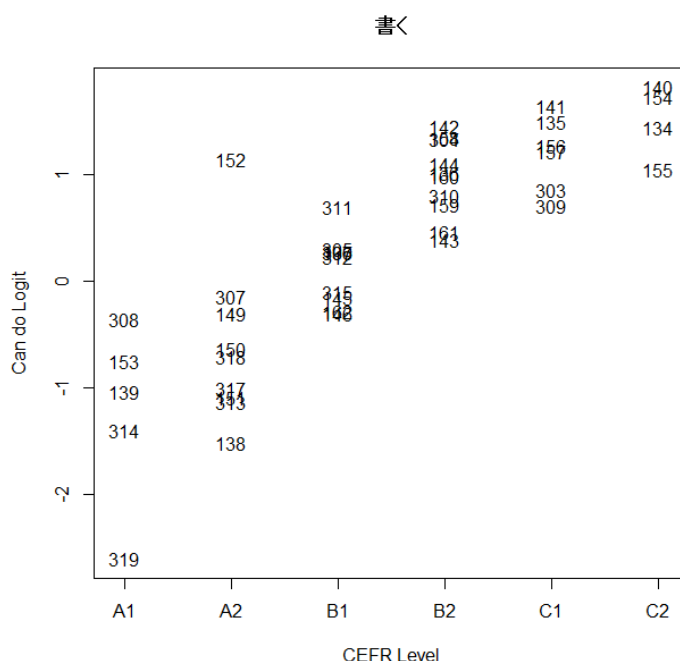


図9 Can do のレベルとロジット値（書く）

「書く」では、先にも見た Can do 152 が本来のレベルから大きく外れているし、A1 と A2 のロジット値の重なりが大きい。

以上のことから、個別の項目について、予想と大きく外れている項目があること、全体として C1 と C2 の重なりが大きいことが分かった。個別の項目については、ここでは大きく外れている項目のみを指摘したが、隣接するレベルに比べてロジット値が低すぎる項目、あるいは高すぎる項目が他にもあることは明らかである。例えば、A1 の項目でありながら、A2 のロジット値の平均値（あるいは中央値）よりも高いロジット値を持つものがあれば、それは A1 項目としては難しすぎる項目と言えよう。本報告ではこのような項目を逆転項目と呼び、後節で詳細に検討していくこととする。

だが、その前に C1 と C2 の項目のロジット値の重なりがかなりあることから、この 2 レベルを統合して本節での分析を再度行う。この 2 レベルを分けて検討すると逆転項目が多数に上がることが予想される。また、もともとの調査項目数が C2 は少なめである。C2 は調査項目が 17 項目で、言語活動別にみると、聞く、読むが 2 項目ずつ、書く、発表が 4 項目ずつ、やりとりが 5 項目である。（これに対して、言語活動を合わせた全体で A1 は 22 項目、A2 は 45 項目、B1 は 46 項目、B2 は 50 項目、C1 は 31 項目が調査対象項目数



である。)以上を勘案し、以下では、C1とC2レベルを統合してCレベル48項目として再分析を行う。

### 3.6.2 5段階レベルでの検討

C1とC2を統合して、CEFR Can doのレベルを5段階として、レベルごとに、Can doのロジット値の記述統計を表9に示す。

表9 レベル別 Can do のロジット値の記述統計

レベル	平均	標準偏差	中央値	最小値	最大値	レンジ	標準誤差
A1	-1.50	0.58	-1.39	-2.61	-0.36	2.25	0.12
A2	-1.09	0.68	-1.08	-2.37	1.14	3.51	0.10
B1	-0.20	0.60	-0.24	-1.44	0.81	2.25	0.09
B2	0.74	0.51	0.78	-0.73	1.55	2.28	0.07
C	1.13	0.51	1.21	-0.72	1.86	2.58	0.07

さらに言語活動ごと、レベルごとの中央値は以下の表の通りになっている。平均値ではなく、中央値を使うのは、平均値では、ロジット値が大きく外れた項目によって平均値が歪んでしまうためである。

表10 言語活動別・レベル別中央値

	聞く	読む	やりとり	発表	書く
A1	-1.95	-1.63	-1.23	-1.57	-1.04
A2	-1.67	-1.01	-1.66	-0.76	-0.71
B1	-0.75	-0.19	-0.47	0.33	0.23
B2	0.47	0.60	0.94	0.99	1.00
C	0.65	0.87	1.46	1.22	1.36

これをグラフにしたものが図10である。

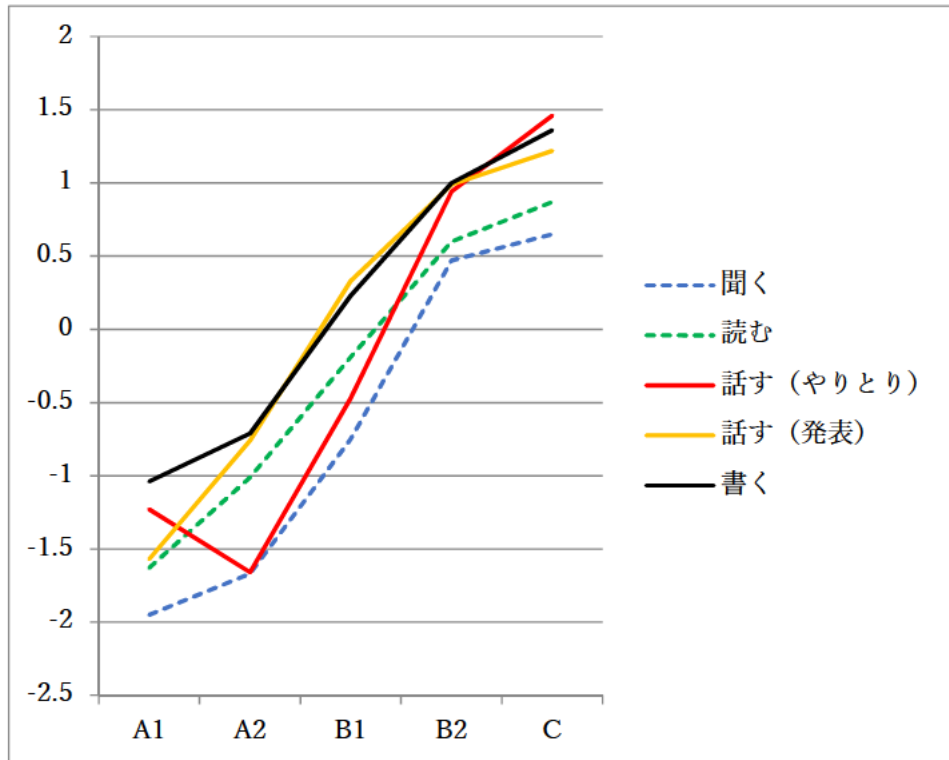


図 10 レベル別・言語活動別のロジット値の中央値

「聞く」「読む」の受容系言語活動の方が「話す（やりとり）」「話す（発表）」「書く」の産出系言語活動よりもロジット値が低い（易しい）という傾向を示している。「話す（やりとり）」では、A1のロジット値が高い（難しい）という結果になっており、その原因の検討を要する。

図 11 は Can do 項目（全言語活動）について、意図した Can do のレベルと、分析後のロジット値でプロットした散布図である。図中の数字は Can do の項目番号を示す。

全言語活動

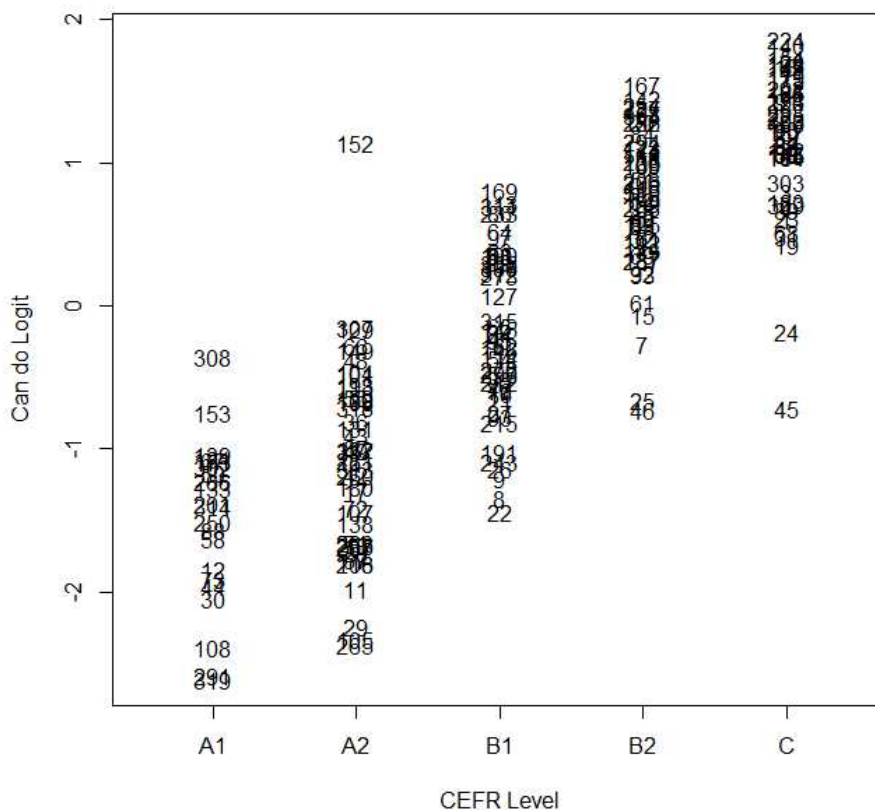


図 11 C レベル統合後の Can do のレベルとロジット値（全言語活動）

図 11 で示したように、レベルが上がるにつれて、Can do のロジット値も大きくなっていく。C1 と C2 を統合したため両者の重なりは問題にならなくなる。Can do レベルと Can do のロジット値の相関（スピアマン順位相関）は変わらず、 $r_s = .85, p < .05$  となっている。

CEFR の Can do レベル及びロジット値で各言語活動の Can do を図示化し、図 12～16 に示す。

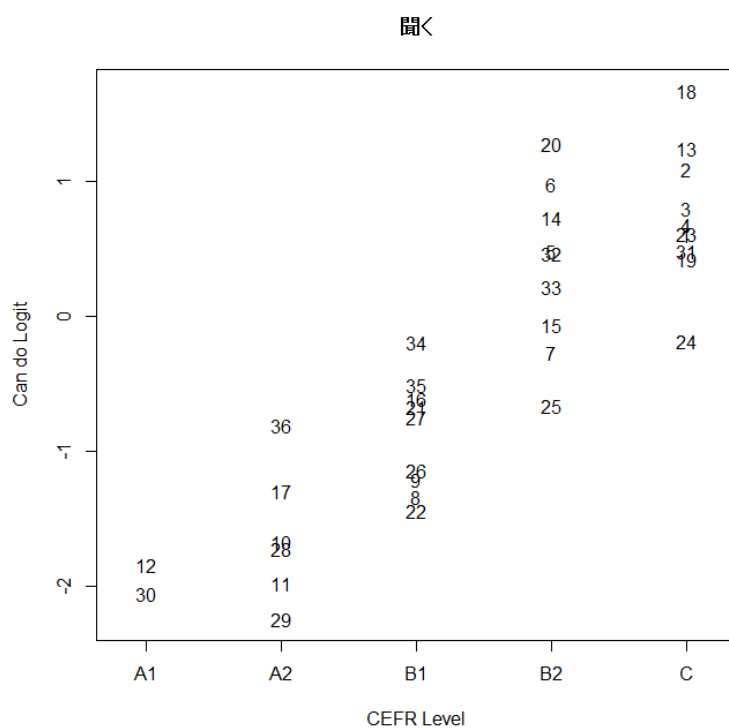


図 12 C レベル統合後の Can do のレベルとロジット値（聞く）

6段階の場合は「聞く」の B2 と C1 でロジット値の重なりがかなり大きかったが、C1 と C2 を統合した後は、C2 の Can do 18 のロジット値が高いため、B2 と C の重なりは多少改善されているように見える。「聞く」の A1 レベルの項目が二つしかないため、A1 と A2 の違いははっきりとしない結果になっている。

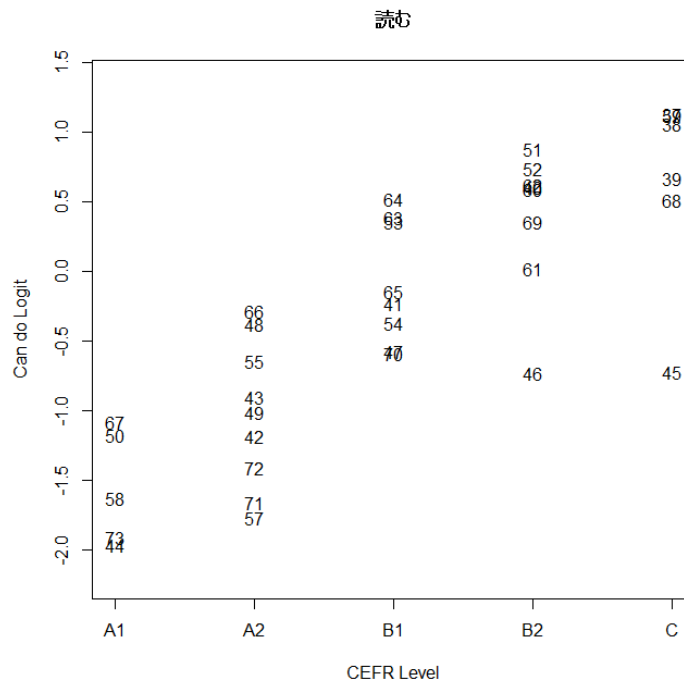


図 13 C レベル統合後の Can do のレベルとロジット値 (読む)

「読む」では、C1とC2を統合後も、Can do 45、Can do 46が本来のレベルから大きく外れているのが目立つ。

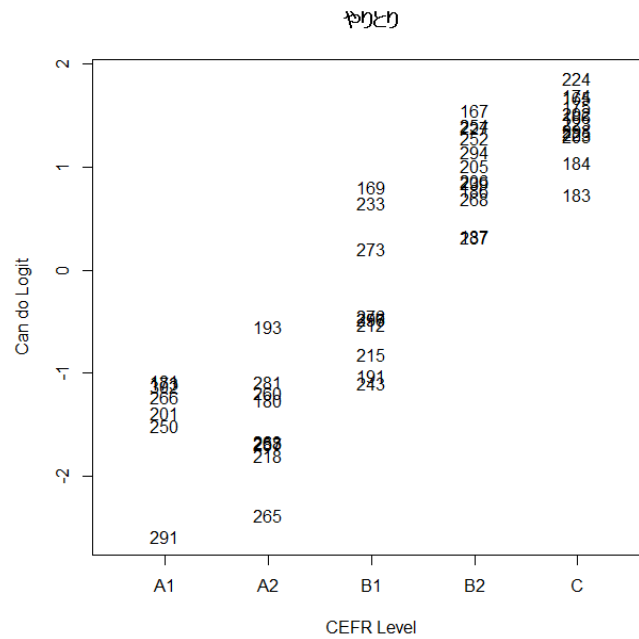


図 14 C レベル統合後の Can do のレベルとロジット値 (やりとり)

「やりとり」では Can do 265 が A2 のレベルから大きく外れているのは変わらないが、6 段階では C2 の項目が C1 の項目に比べてロジット値が低めに出ていたが、両者を統合したため、その問題は解消されている。

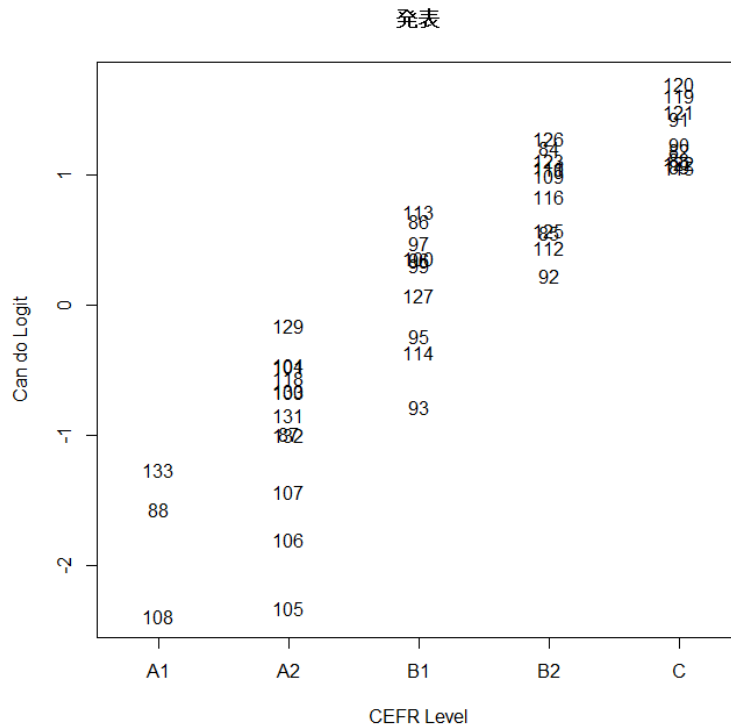


図 15 C レベル統合後の Can do のレベルとロジット値（発表）

「発表」では Can do 105 は A2 には明らかに易しすぎる点は変わらないが、6 段階では C1 と C1 がほぼ重なっていたが、両者を統合したため、その問題は解消されている。

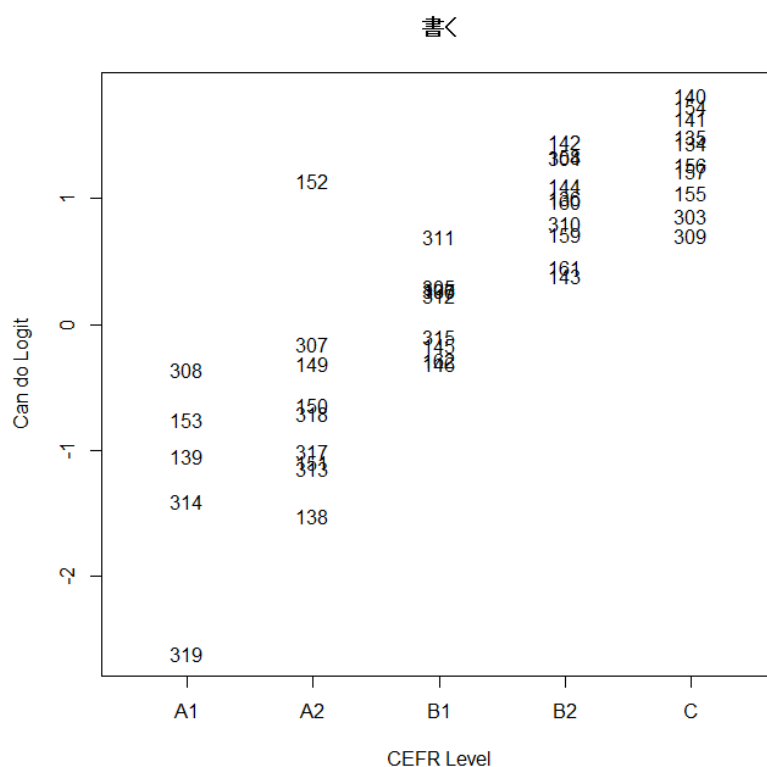


図 16 C レベル統合後の Can do のレベルとロジット値（書く）

「書く」では、Can do 152 が本来のレベルから大きく外れている点、A1 と A2 のロジット値の重なりが大きい点は改善されていないが、A1 と A2 を統合すると、A レベルの項目が他のレベルと比べて多くなりすぎるので、両者を統合して分析し直すことはしない。

### 3.7 レベルの逆転項目

#### 3.7.1 レベルの逆転項目の認定と概略

前節で述べた通り、C1 と C2 を統合することにより、全体のレベル間の重なりはある程度緩和できたと言えよう。しかし、個々の項目についてみると、当該レベルから大きく外れるものがある。また、隣接するレベルに比べてロジット値が高すぎる、あるいは低すぎる項目も相当数あることが伺える。本節では、「隣接するレベルのロジット値の中央値を越えたロジット値を持つ項目」をレベルの逆転項目（以下、逆転項目）と定義し、そのような項目を洗い出し、その原因を考察する。なお、評定尺度の質問調査でポジティブな表現に対するネガティブな表現を一般に「逆転項目」と呼ぶが、本報告で使う「逆転項目」はそれとは異なり、本節で示すように独自の選定方法と定義に拠る名称である。

逆転項目の選定方法は以下の通りである。まず、C1 と C2 を統合した後、言語活動ごとに各レベルのロジット値の中央値を求める（表 11）。なお、「やりとり」の A2 の中央値は

実際には-1.66であり、中央値がA1とA2で逆転していたため、A1の中央値-1.23とB1の中央値-1.66の平均値-0.85を、A2の中央値としてここでは扱った。この扱いは便宜的なものであり、この結果、後でみるように「やりとり」のA2に、ロジット値の低すぎる（易しすぎる）逆転項目が多く認定されるのであるが、A2の中央値が低すぎたというよりもA1の中央値が高すぎたということかもしれない。であるならば、実はA1にこそロジット値が高すぎる（難しい）逆転項目が多いということも考えられる。今回の分析では、A1の中央値を予測することができないので、今回認定するA2の逆転項目は、実は逆転項目ではなく、実際にはA1により多くの難しすぎる逆転項目がある可能性があることにも留意する必要がある。

表 11 言語活動別・レベル別中央値（5段階）

	聞く	読む	やりとり	発表	書く
A1	-1.95	-1.63	-1.23	-1.57	-1.04
A2	-1.67	-1.01	-0.85	-0.76	-0.71
B1	-0.75	-0.19	-0.47	0.33	0.23
B2	0.47	0.60	0.94	0.99	1.00
C	0.65	0.87	1.46	1.22	1.36

前述のように、隣接するレベルのロジット値の中央値を越えたロジット値を持つ項目を逆転項目として認定した。例えば、「聞く」のA1の中央値は-1.95であるから、A2項目でありながら-1.95よりも低いロジット値を持つ項目は逆転項目として認定する。同様にA1の項目でありながら、A2の中央値である-1.67よりも高いロジット値を持つ項目も逆転項目となる。以上の方法で逆転項目を認定したところ、全体で36項目が該当した。そのうち、隣接するレベルよりもさらに離れたレベルでの（つまり2レベルにわたる）逆転項目は1項目であった。レベル別、言語活動別の内訳は以下の表12の通りである。割合で見ると、「やりとり」が一番多く、「発表」が少ない。なお、付録8に、逆転項目と後節で述べる代表項目とを合わせてCan do記述文とともに示してある。



表 12 言語活動別・レベル逆転項目数

	A1		A2		B1		B2		C		調査項目合計	逆転項目合計	逆転項目割合%
	調査項目数	逆転項目数	調査項目数	逆転項目数	調査項目数	逆転項目数	調査項目数	逆転項目数	調査項目数	逆転項目数			
聞く	2	0	6	2	9	0	9	3	10	2	36	7	19
読む	5	0	9	2	8	0	8	2	6	2	36	6	17
やりとり	7	0	9	6	10	2	12	1	12	1	50	10	20
発表	3	0	12	2	10	1	11	2	10	0	46	5	11
書く	5	1	9	4	9	0	10	1	10	2	43	8	19
計	22	1	45	16	46	3	50	9	48	7	211	36	17

以下では、逆転項目となった各項目について簡単にその理由として考えられることを記す。なお、ここで述べる理由は今後さらに検討の余地があることに注意されたい。

### 3.7.2 「聞く」の逆転項目について

・ Can do 29 A2 : 「徒歩や公共交通機関を使ってXからYまでどうやって行くのかという簡単な説明は理解できる。」

A1の中央値よりもロジット値が低い。(以下、「A1の中央値よりも易しい」と記す。また隣接するB1の中央値よりも高い場合は、「B1の中央値よりも難しい」のように記す。)道順のアクティビティは初級では定番であることに加え、「簡単な説明」という記述がレベルを引き下げていると考えられる。

・ Can do 11 A2.1 : 「もし、発話がはっきりとゆっくりとした発音ならば、最も直接的な優先事項の領域(例:ごく基本的な個人や家族の情報、買い物、その地域の地理、仕事・雇用)に関連した句や表現が理解できる。」

A1の中央値よりも易しい。「個人や家族の情報」や「仕事」についての「ごく基本的」な表現であれば、聞き取りやすいと判断されたため、ロジット値が低く抑えられたと考えられる。

・ Can do 20 B2 : 「内容的にも言語的にも複雑な講義、話、報告、そのほかの学問的/専門的なプレゼンテーションの要点は理解できる。」

Cの中央値よりも難しい。「内容的にも言語的にも複雑」という記述および「学問的/専門的な」という記述が困難度を押し上げていると考えられる。その理由として、内容的

にも言語的にも複雑な講義、話、報告や学問的／専門的なプレゼンテーションでは、専門的な、かつ身近ではない高度な漢字語彙が頻出する。日本語の漢字語彙は同音異義語が多く、聞いただけでは意味識別が難しいという点から困難度があがったとも考えられる。また、「詳細」ではなく「要点」としているところにCではなくB2であるという記述文の意図があるものの、要点、つまりキーワードの理解が上の理由から困難度を上げ、意図通りに困難度を下げることには貢献していないと考えられる。

・ Can do 6 B2.1 : 「自分の専門分野での技術的な議論を含めて、共通語で話されれば、抽象的な話題でも具体的な話題でも、内容的にも言語的にもかなり複雑な話の要点を理解できる。」

Cの中央値よりも難しい。「専門分野での技術的な議論」「抽象的な話題」「複雑な話」という記述が困難度を押し上げていると考えられる。「自分の」「要点」としているところにCではなくB2であるという記述文の意図があるものの、その意図通りに困難度を下げることには貢献していないと考えられる。その理由は、Can do 20の理由と同根ではないかと思われる。

・ Can do 14 B.2.2 : 「熟達した日本語話者同士の活気に富んだ会話についていくことができる。」

Cの中央値よりも難しい。「熟達した」「活気に富んだ」の記述の意味が分かりやすいか疑わしい。もし「熟達した」が上級または母語レベルの話者同士の会話であり、「活気に富んだ」が早口で洒脱な会話を想像させたのであれば、それが困難度を押し上げた可能性がある。日本語は主語や動作主が省略されたり、相手の呼称が関係性によって変化したりなど、高文脈の言語使用に特徴がある。さらに、日本社会でよく話題にされることや現在、広く話題になっていることの情報を知らない場合、会話についていくこと自体が難しい。こういった点からも、困難度を上げる結果になったのかもしれない。

・ Can do 24 C1 : 「取扱説明や、ごく身近な製品説明やサービスについての、複雑な専門的情報が理解できる。」

B2の中央値よりも易しい。「ごく身近な」という記述が困難度を押し下げたと考えられる。「複雑な専門的情報」という記述が困難度を押し上げることには貢献していないと考えられる。しかしながら、なぜ、易しいと判断されたかについての推察は難しく、回答者へのインタビューなどに依らなければ理由の解明は難しいのではないかと思われる。

・ Can do 19 C1 : 「たいていの講義、議論、ディベートが比較的容易に理解できる。」

B2の中央値よりも易しい。記述文が短く、どの程度の困難度なのかイメージしにくかったことが困難度を押し下げているのかもしれない。

### 3. 7. 3 「読む」の逆転項目について

・ Can do 57 A2 : 「日常の看板や掲示を理解することができる。例えば、公の場所では、道路、レストラン、鉄道の駅などの看板、職場では説明、指示、危険警告などの掲示が理解できる。」

A1 の中央値よりも易しい。「日常の」という記述が困難度を押し下げている可能性がある。実際の「道路、鉄道の駅などの看板」であれば、ローマ字併記も多く、ピクトグラム、国際シンボルマークなどもあり、理解することに苦勞することはないことも困難度を押し下げている可能性がある。「職場では説明、指示、危険警告などの掲示」もどの程度の日本語が使われているかによって困難度が変わるはずであるが、少なくとも困難度を引き上げるようには作用していない。今回の調査対象は、学習領域は異なるが、日本で暮らし、日本語教育機関で学ぶ学習者である。旅行や移動先でなければ、職場や日常生活のルーティンで理解できる範囲であり、困難度が下がったとも考えられる。

・ Can do 71 A2.2 : 「簡単な言語で表現されていれば、例えば、安全のためなどの規則が理解できる。」

A1 の中央値よりも易しい。「安全のためなどの規則」の表現は実際には A2 レベル程度に難しいと思われるが、「簡単な言語で表現されていれば」の記述が困難度を押し下げていると考えられる。今回の調査対象者は、留学や就労、日常生活など、それぞれの日本語使用ニーズに対応する日本語教育を受けている学習者である。とりわけ、就労者や留学生には、安全確保に関する教育は日本語学習開始の早い段階で行われるため、難易度が下がったとも考えられる。

・ Can do 46 B2 : 「自分に興味のある分野に関連した通信文を読んで、すぐに主要点が把握できる。」

B1 の中央値よりも易しい。「通信文」がどの程度の長さや複雑さがあるのか想像しにくいことが困難度を押し下げている可能性がある。例えば SNS におけるメッセージのようなごく短いものを想像した場合、困難度が低くなると考えられる。

・ Can do 51 B2 : 「ざっと目を通しただけで、長い複雑なテキストの重要事項を見定めることができる。」

C の中央値よりも難しい。「ざっと目を通しただけで」および「長い複雑なテキスト」という記述が困難度を押し上げていると考えられる。「重要事項」は「要点」と同じく、困難度が低くなるように工夫された記述であろうが、ここでは、困難度を押し下げることに貢献してはいないのではないだろうか。

・ Can do 45 C1 : 「辞書を時々使えば、どんな種類の通信文でも理解できる。」

B1 の中央値よりも易しい。つまり 2 レベル下の項目よりも易しいことになっている。

「辞書を時々使えば」という記述が大きく困難度を押し下げていると考えられる。辞書は近年、紙の辞書や電子辞書からスマートフォンのアプリへと移っている。日本語の読みを困難にする要素の一つは漢字仮名交じり文の理解である。漢字が読めないと辞書が引けなかったのは既に過去のことであり、アプリによって、即座に意味、読み方が表示される。また、単語をどこで区切れればいかはアプリで判断できるようになった。こういったテクノロジーの革新が困難度を下げたとも考えられる。

・ Can do 68 C1 : 「もし難しい箇所を読み返すことができれば、それが自分の専門分野に関連していなくても、新しい機械や使用手順についての長い複雑な説明を細かいところまで理解できる。」

B2 の中央値よりも易しい。「もし難しい箇所を読み返すことができれば」という記述が困難度を押し下げている可能性がある。「長い複雑な説明を細かいところまで」という記述は C レベルにふさわしいが、少なくともここではこれが困難度を上げることには貢献していない。

#### 3. 7. 4 「話す(やりとり)」の逆転項目について

・ Can do 265 A2.1 : 「食事を注文することができる。」

A1 の中央値よりも易しい。どのような簡単な表現であれ、注文することができればこの Can do が達成されると考えれば容易であろう。例えばメニューを指さして「これください。」というだけでも注文することはできるだろう。

・ Can do 287 A2.1 : 「個人的な情報を求めたり、提供したりできる。」

A1 の中央値よりも易しい。記述文が短く、具体的にどのような表現が必要となるのか判然としない。「個人的な情報」をどのように捉えるかによって困難度は変わってくるだろう。例えば、名前、仕事、出身国程度のことと捉えれば、さして難しいとは思われないだろう。今回の調査対象は、日常的に日本人と名前、仕事、出身などについてのやり取りを行っている可能性が高い。旅先で初めて会った人との関係構築のためのやりとりであれば、どのような情報なら話題とできるかなどについても難しさが付きまとうが、この記述からはそういった条件は見受けられず、日常的なやりとりとして判断されたと思われる。

・ Can do 263 A2.1 : 「量や数、値段などの情報を与えたり、取得することができる。」

A1 の中央値よりも易しい。「量や数、値段」は数字とわずかの助数詞さえ表現・理解できればさほど難しいこととは思われない。日本語は助数詞の数も多く、数字の読み方も複数あり、その意味では難しいと言えるのだが、旅先の外国でのことではなく、調査対象

者が日本で暮らしていることを勘案すると言語使用の難しさというより日常生活として難しさを感じていないことが評価に反映したのかもしれない。また、量や数、値段に関するやりとりなら、相手が聞き返してくれたり、書いて確認することもでき、難しいタスクとの認識が低いのではないかと考えられる。

・ Can do 180 A2.1 : 「簡単な日常会話で、自分に対してはっきりとゆっくりと、直接言われたことを理解できる。もし、話し手の方が面倒がらねば、分かるようにしてもらえらる。」

A1の中央値よりも易しい。「簡単な日常会話」という記述が困難度を押し下げている可能性がある。「分かるようにしてもらえらる」ための戦略はやや難しいかもしれないが、定型表現である「もう一度お願いします。」「ゆっくりお願いします。」を使えばよいということであれば、さほど難しくはないと判断されるだろう。

・ Can do 218 A2.2 : 「晩や週末にすることを論じることができる。」

A1の中央値よりも易しい。「論じる」はやや難しいことと思われるが、それを単に「述べる・話す」と同様の行為と捉えれば「晩や週末にすることを」について述べるのは易しいだろう。「晩や週末にすることを」について一般的に日本語で論じると言う言語活動の場面が想定しにくい。また、ここで言う論じるということは何を指すかも明確ではない。そのため、話すということなら「～(を)します」という基礎の文型のみで示すことができるため、易しいと判断されたのではないだろうか。

・ Can do 258 A2.2 : 「旅行、宿泊、食事、買い物のような毎日の生活での普通の状況に対処することができる。」

A1の中央値よりも易しい。「旅行、宿泊」はやや難しいかもしれないが、「食事、買い物」ではあまりやりとりを必要とせず事足りることもあるため、困難度が押し下げられた可能性がある。「対処」には「やりとり」であることが表れているが、それが困難度を上げることに貢献していないと思われる。

・ Can do 191 B1 : 「驚き、幸せ、悲しみ、興味、無関心などの感情を表現し、また相手の感情に反応することができる。」

A2の中央値よりも易しい。(ただし、記述の通り「やりとり」のA2の中央値が逆転していたので、A1の中央値とB1の中央値の平均の値をA2の中央値の代替として用いた結果)「感情の表現」が句やごく短い文程度であれば困難度が低いだろう。「相手の感情に反応する」のはやや難しいはずであるが、それが困難度を上げることに貢献していないと思われる。

・ Can do 243 B1.1 : 「言われたことはたいいてい理解でき、必要などときにはお互いの理解を確認するために、言われたことの一部を繰り返すことができる。」

A2 の中央値よりも易しい (A2 の中央値の代替値を使用した結果)。「たいいてい理解でき」るのはやや難しいはずであるが、それは「言われたこと」の内容・表現に拠っており、これが易しいことであれば、全体の困難度も下がるだろう。「言われたことの一部を繰り返す」も同様に、相手の言う内容・表現に従って困難度が変わるだろう。

・ Can do 167 B2.2 : 「一般的、学術的、職業上、もしくは余暇に関する幅広い話題について、流暢に、正確に、そして効果的に言葉を使うことができ、考えと考えの間の関係をはっきりとさせることができる。言いたいことが表現できない様子もまずなく、文法も正確で、その場にふさわしい丁寧さで、自然にコミュニケーションできる。」

C の中央値よりも難しい。記述が全体的に難しいのではないだろうか。詳しい条件が多くあるため、それらすべてを満たすと考えると困難度が上がるということだろう。

・ Can do 183 C2 : 「社会や個人生活全般にわたって、言語上の制限もなく、ゆとりをもって、適切に、自由に会話ができる。」

B2 の中央値よりも易しい。記述通りであれば難しいはずであるが、具体性に欠けるためか、記述通りの困難な活動であることがイメージできなかつたのかもしれない。

### 3. 7. 5 「話す(発表)」の逆的項目について

・ Can do 106 A2.1 : 「家族、住居環境、学歴、現在やごく最近までしていた仕事を述べることができる。」

A1 の中央値よりも易しい。「書く」の Can do 151 A2.1 「家族、生活環境、学歴、現在または最近の仕事について、簡単な句や文を連ねて書くことができる。」と同様に、「家族」「生活環境」(住んでいる場所についての簡単な表現に限るならば)について述べることは易しいかもしれないが、「学歴、現在または最近の仕事」であれば「家族」「生活環境」よりも難しいかもしれない。本項目が予想以上に易しい項目となっている理由は判然としないものの、例として1番目、2番目に挙げたものに判断が影響されるための可能性がある。もし、そうならば、Can do の記述文において学習者が判断しやすい例を挙げるとともに、その提示順の影響も考慮すべきかもしれない。

・ Can do 105 A2.2 : 「好きか嫌いかを述べることができる。」

A1 の中央値よりも易しい。「名詞+が好きです」「名詞+が嫌いです」という表現だけでよいのであれば、困難度は低く抑えられて当然であろう。「動詞+ことが好きです」「動詞+ことが嫌いです」という表現は少し難易度を上げるかもしれないが、それでもこれらの定型表現だけでよいのであれば、さほど難しくは感じられないだろう。いず

れにせよ、やりとりの場合、「私は、～が好きです」、「私は、～をすることが好きです」と言わなくても単に、「好き（です）」「嫌い（です）」でこと足りる。こういった日本語の特性である省略をしても相手に通じるため、難易度を下げたとは考えられないだろうか。

・ Can do 93 B1 : 「自分の関心事で、馴染みのあるさまざまな話題について、簡単に述べることができる。」

A2 の中央値よりも易しい。自分がよく知っている話題に限定されていることと、「簡単に」という条件が困難度を押し下げている可能性がある。

・ Can do 92 B2 : 「自分の関心のある分野に関連した広範囲な話題について、明確で詳しく述べることができる。」

B1 の中央値よりも易しい。前半の条件である「自分の関心のある分野」であれば難易度が下がっても不思議ではないが、後半の「広範囲な話題」と「明確で詳しく」という記述は困難度を上げるはずである。けれども、後半の条件は困難度を上げることには貢献していない。前半の条件の方が効いていると思われる。しかしながら、なぜ、易しいと判断されたかについての推察は難しく、回答者へのインタビュー等に依らなければ理由の解明は難しい。

・ Can do 126 B2.1 : 「一連の質問に、ある程度流暢に、自然に対応ができる。話を聞く、あるいは話をする際に聴衆にも自分にも余分な負荷をかけることはない。」

C の中央値よりも難しい。「一連の質問」がどの程度難しいと想像するかによって困難度が変わるのではないだろうか。これを「どのような質問」にも「自然に対応できる」と捉えて、困難度が高くなった可能性がある。

### 3. 7. 6 「書く」の逆転項目について

・ Can do 308 A1 : 「書面で個人的な具体的情報を求めたり、伝えることができる。」

A2 の中央値よりも難しい。「書面で」がどのようなものを指すのか判然としない。形式の整った手紙を想像すれば困難度は高くなるだろう。「個人的な具体的情報」が何を指すのか、またそれをどう表現するかがはっきりしない。この点も困難度を押し上げている原因とも考えられる。加えて、漢字、仮名、ローマ字という日本語の表記システムが困難度をあげたとも考えられる。

・ Can do 138 A2 : 「『そして』『しかし』『なぜなら』などの簡単な接続詞でつなげた簡単な表現や文を書くことができる。」

A1 の中央値よりも易しい。接続詞が具体的に示されていること、そしてその接続詞で

「つなげた簡単な表現や文を書く」こと以外のことが要求されていないので、それら接続詞を使うことさえできればよいと判断したとすれば、困難度が低くなることはあり得るだろう。

・ Can do 313 A2 : 「感謝と謝罪を表現するごく簡単な個人的な手紙を書くことができる。」

A1の中央値よりも易しい。「手紙」の形式に従うことはやや難しいことかもしれないが、それが「ごく簡単」でよいのであれば、あまり形式を気にすることはないと判断されたのかもしれない。また、「感謝と謝罪」であれば、「ありがとうございます。」「すみません。」のような具体的な表現がすぐに浮かぶはずである。上述のA2の中央値よりも難しいと判定されたCan do 308では、「個人的な具体的情報」という抽象的な表現となっているが、ここでは、「感謝と謝罪」に限定されており、Can do 308よりも易しいと判断されたのかもしれない。

・ Can do 151 A2.1 : 「家族、生活環境、学歴、現在または最近の仕事について、簡単な句や文を連ねて書くことができる。」

A1の中央値よりも易しい。「発表」のCan do 106と同様に「家族」「生活環境」（住んでいる場所についての簡単な表現に限るならば）について述べることは易しいかもしれないが、「学歴、現在または最近の仕事」であれば「家族」「生活環境」よりも難しいかもしれない。本項目が予想以上に易しい項目となっている理由は判然としないものの、例として1番目、2番目に挙げたものに判断が影響されるための可能性がある。もし、そうならば、Can doの記述文において学習者が判断しやすい例を挙げるとともに、その提示順の影響も考慮すべきかもしれない。

・ Can do 152 A2.1 : 「短く簡単な想像上の人物伝や、人物を題材にした簡単な詩を書くことができる。」

本項目は、隣接するB1の中央値のみならず、さらにB2の中央値よりも難しい項目となっており、予測に反して非常に難しい項目となっている。本項目はミスフィット項目でもあり(3.4節参照)、既に言及した通り、「人物伝」や「詩」を書くという一般的でない言語活動の判定を求めたため、適切な自己評価ができなかったことがミスフィットの原因である可能性を指摘した。今回の調査対象者(就労者、留学生等)が「人物伝」や「詩」を書くという場面に遭遇したり、教材等で学習することはほとんどないのではないだろうか。たとえそれが「短く」「簡単な」という条件が付いたとしても経験がない(あるいは極めて少ない)言語活動であることが、困難度を押し上げていると考えられる。



・ Can do 142 B2.2 : 「実際、もしくは想像上の出来事や経験について、複数の見解を相互に関連づけ、当該のジャンルの書記習慣に従って、明瞭かつ詳細に記述文を書くことができる。」

Cの中央値よりも難しい。「複数の見解を相互に関連づけ」および「明瞭かつ詳細に」という記述が困難度を押し上げたと考えられる。また、「書記習慣に従って」という記述が具体的にどのようなことを指すのか判然としないが、日本語では談話のジャンルによって書きぶりやスタイルに特徴を持つこと、日本語の話ことばと書き言葉の区別や漢語と和語の使い分けなどもあり、こういった点も評定に影響した可能性がある。

・ Can do 309 C1 : 「個人的な通信の中で、自分が伝えたいことをはっきりと正確に表現することができ、感情表現や、ほのめかしや、冗談を交えながら、柔軟で効果的な言葉遣いができる。」

B2の中央値よりも易しい。「個人的な通信」であることが、困難度を押し下げている可能性がある。また、個人的な通信であることから、相手や状況にあわせたことば遣いより、「自分が伝えたいことをはっきりと正確に表現すること」にフォーカスされた可能性もある。また、個人的な通信であれば、ビジネス文書等に見られるような形式や書式の約束事、語句の選択、敬語等も気にせず、内容に重点をおくことができ、言語面の負荷は軽減される。そのため、Cレベルより易しいと判断されたのかもしれない。「感情表現」はそれほどではないにしても「ほのめかしや、冗談」は困難度を上げるはずであるが、そのように機能していない。「柔軟で効果的な言葉遣い」という記述もCレベルらしいが、具体的にどのようなことなのか判然とせず、困難度を上げることに貢献していないと考えられる。言いまわしを「個人的な通信の中で、感情表現、ほのめかしや、冗談を交えながら、柔軟で効果的な言葉遣いをして、自分が伝えたいことを～」とすれば、判断は変わったかもしれない。

・ Can do 303 C1 : 「自分が述べたいことをはっきりと正確に表現することができ、相手に対して、柔軟に効果的に対応することができる。」

B2の中央値よりも易しい。「自分が述べたいこと」がどのようなレベルの話かによって、判断が異なるのではないだろうか。Can do 記述の中に特に難しいと思わせるものがなく、「柔軟に効果的に」という記述が困難度を上げることに貢献していないと思われる。この点は、Can do 309と同様である。

以上、本節では逆転項目についてその理由を簡単に考察したが、既述の通り、ここで述べた理由は今後も検証を続けていく必要がある。

### 3.8 代表項目

当該レベルの項目としてロジット値で示される困難度が適正であると判断される項目を当該レベルを代表するものとして代表項目と呼ぶことにする。代表項目の選定手順は以下の通りである。まず、前節で逆転項目認定した項目を除く。その上で残った項目（非逆転項目）を使って各言語活動の各レベルにおけるロジット値の平均値を求める。逆転項目を除いたので外れ値的な項目がないことから、ここでは中央値ではなく、平均値を用いている。このロジット平均値と隣接するレベルのロジット平均値のさらに平均値を閾値とし、この閾値の間に入る（同値を含む）ロジット値を持つ項目を代表項目とする。これらの値は以下の表の通りである。なお、後に述べるが、閾値は絶対的なものではなく、分析上の便宜的な目安に過ぎない。

表 13 各レベル・各言活動の非逆転項目平均値および閾値

	聞く	読む	やりとり	発表	書く
A1 非逆転平均値	-1.95	-1.55	-1.43	-1.74	-1.45
A1/A2 閾値	-1.66	-1.19	-1.18	-1.23	-1.01
A2 非逆転平均値	-1.37	-0.83	-0.94	-0.73	-0.56
A2/B1 閾値	-1.12	-0.45	-0.54	-0.23	-0.23
B1 非逆転平均値	-0.87	-0.08	-0.13	0.26	0.10
B1/B2 閾値	-0.42	0.19	0.39	0.56	0.50
B2 非逆転平均値	0.03	0.47	0.91	0.87	0.90
B2/C 閾値	0.46	0.73	1.20	1.08	1.18
C 非逆転平均値	0.90	1.00	1.48	1.30	1.46

例えば、「聞く」の A1 の非逆転項目の平均値は-1.95、A2 の非逆転項目の平均値は-1.37 である。ここから、A1 と A2 の閾値として、-1.95 と-1.37 の平均値である-1.66 が求められる。同様にして、A2 と B1 の閾値として-1.12 が求められる。これにより A1 と A2 の閾値-1.66 と A2 と B1 の閾値-1.12 の間にある、-1.66 以上で-1.12 以下の項目が A2 の代表項目として認定される。なお、A1 と A2 の閾値-1.66 未満 A1 項目が A1 の代表項目として認定される。

しかし、この方法によると、「聞く」の A2 の代表項目は1項目のみであった。これでは、今後の Can do の利用や検討には少なすぎると思われるので、上記の代表項目が3項目に達しない場合は、逆転項目ではない項目のうち、当該レベルの非逆転項目の平均値に近いものから順に準代表項目を選定し、代表項目と準代表項目を合わせて最少3項目を選定することとした。準代表項目は「聞く」の A2 で2項目、「話す（やりとり）」の A2 で1項目、「書く」の A1 で1項目を選定した。その他の言語活動およびレベルでは代表項目のみで3項目以上が確保できた。なお、「聞く」の A1 は調査項目自体が2項目しかなかったため、代表項目も2項目となっている。代表項目数の合計は118項目で、内訳は表14の通りである。なお、付録8に、逆転項目と代表項目とを合わせて Can do 記述文とともに示してある。

表 14 言語活動別・レベル代表項目数

	A1		A2		B1		B2		C		調査項目合計	代表項目合計
	調査項目数	代表項目数	調査項目数	代表項目数	調査項目数	代表項目数	調査項目数	代表項目数	調査項目数	代表項目数		
聞く	2	2	6	3	9	4	9	3	10	8	36	20
読む	5	3	9	3	8	3	8	4	6	3	36	16
やりとり	7	4	9	3	10	5	12	6	12	10	50	28
発表	3	3	12	8	10	5	11	5	10	8	46	29
書く	5	3	9	4	9	6	10	5	10	7	43	25
計	22	15	45	21	46	23	50	23	48	36	211	118

注：「代表項目数」には準代表項目を含む。「調査項目数」は逆転項目を除く前の数である。

以下に、代表項目（準代表項目を含む）のレベル別ロジット値の散布図を示す。

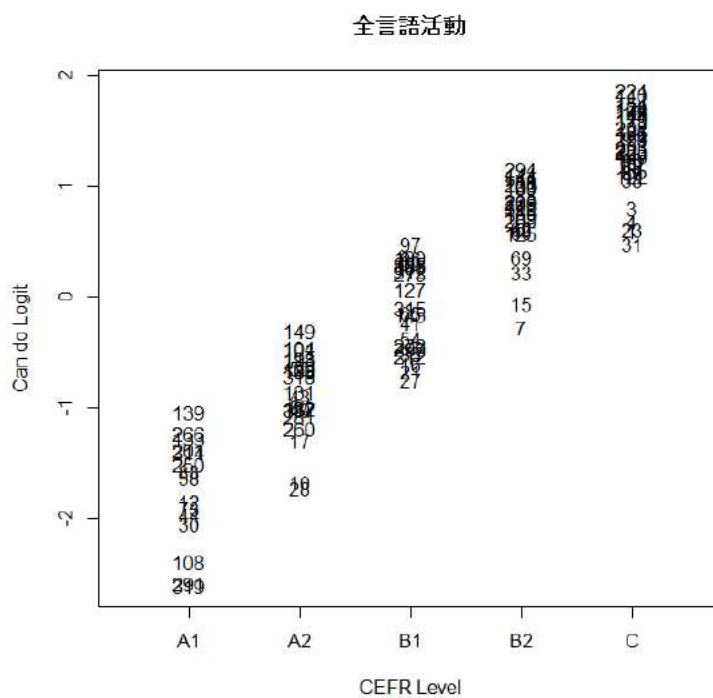


図 17 代表項目の Can do レベルとロジット値 (全言語活動)

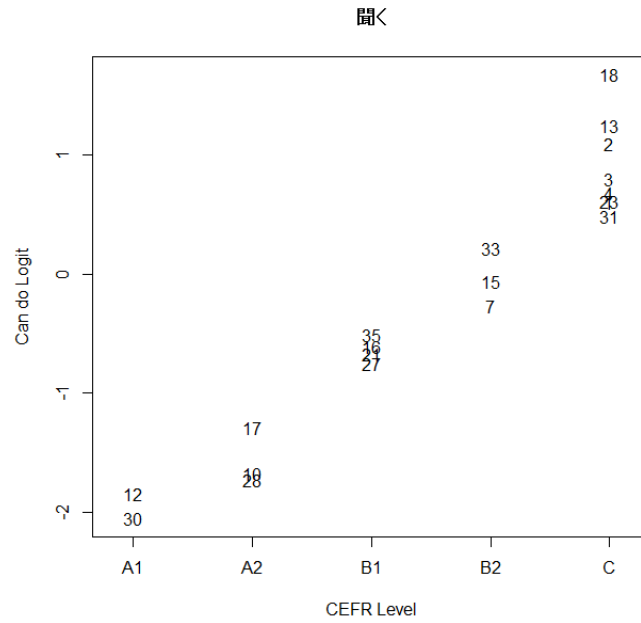


図 18 代表項目の Can do レベルとロジット値 (聞く)

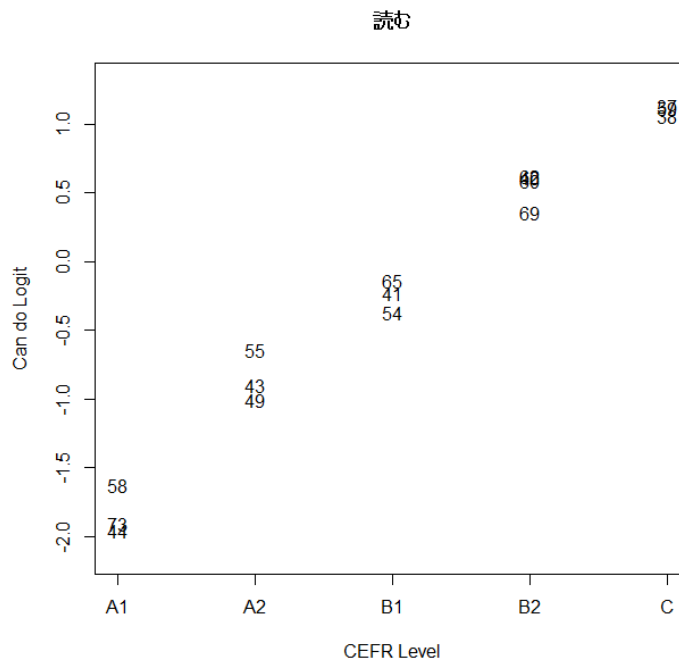


図 19 代表項目の Can do レベルとロジット値 (聞く)

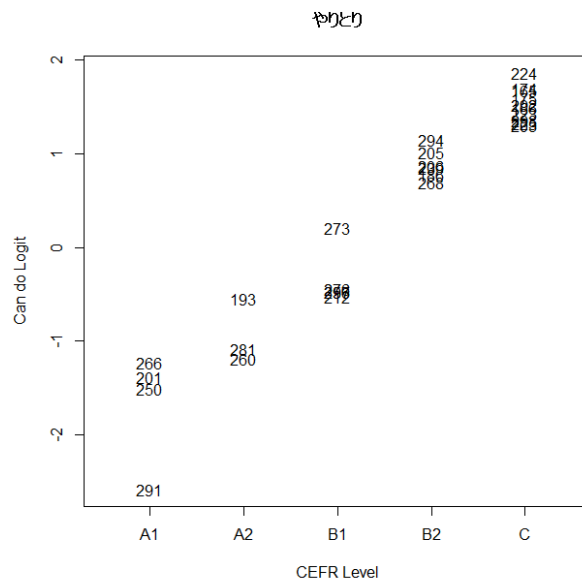


図 20 代表項目の Can do レベルとロジット値（やりとり）

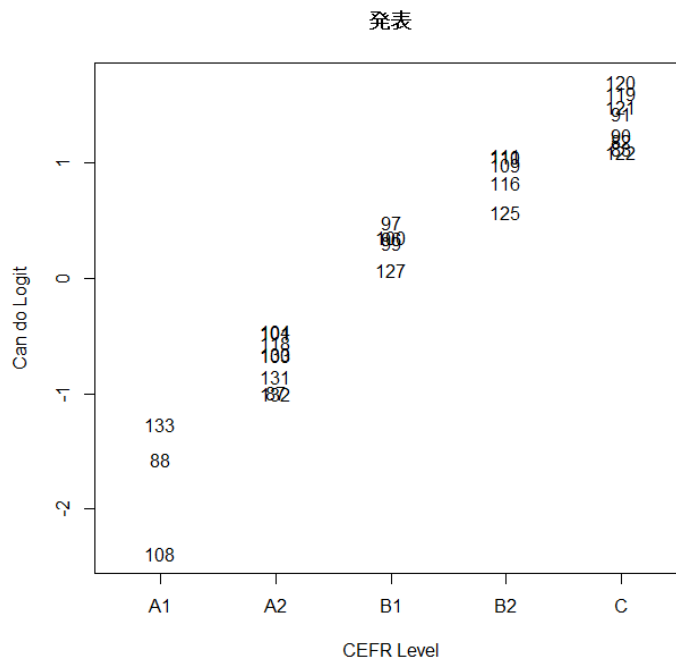


図 21 代表項目の Can do レベルとロジット値（発表）

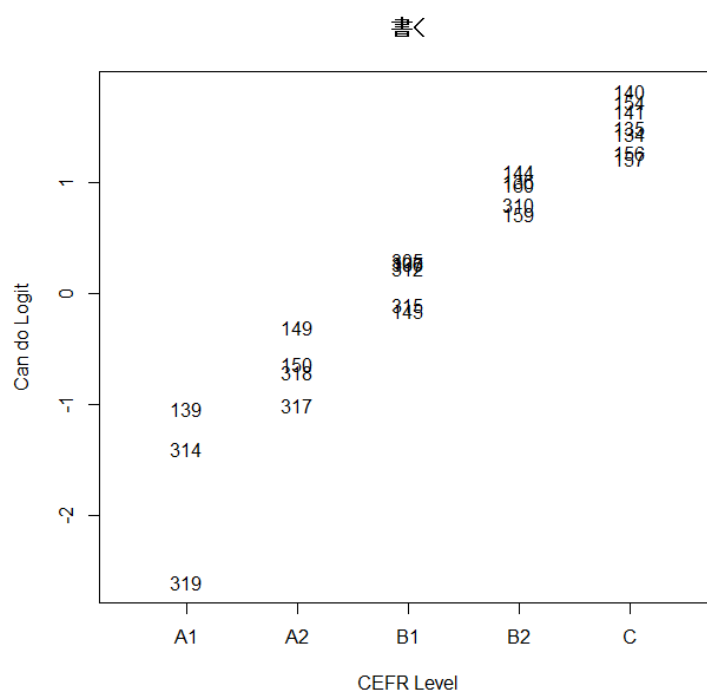


図 22 代表項目の Can do レベルとロジット値（発表）

言語活動別に見ると、異なるレベル間でロジット値が重なっている項目は1つもない。図ではほぼ同じロジット値のように見えるものでも、付録8のデータでは、重なりがないことが確認できる。

本節では、便宜的に閾値を求め、それに基づいて代表項目を提示した。ここではあくまでも機械的な振り分けを行ったに過ぎないが、まずは代表項目として認定されたものは日本語の能力記述文として妥当であると言える。では、ここで代表項目として認定されなかったものは日本語の Can do として不適切であるかと言うと決してそのようなことを意味しているわけではない。本報告書の代表項目は今後の質的な検討のための基礎資料に過ぎない。今後、CEFRに精通した専門家集団による、質的な検討が求められる。その際には、今回提示した基礎資料を参照しながらも、さらに Can do 記述文のレベルや活動内容を検討して、レベル内の項目数のバランスも考慮しながら、Can do 記述文の調整、レベルの調整などが行われることになるだろう。

#### 4. まとめ

##### ①「日本語教育の参照枠」Can do のレベル尺度の妥当性について

全体的に見ると、Can do レベルが上がると学習者の自己評価による困難度も上がっているため、学習者の自己評価を用いても Can do のレベル尺度の妥当性はある程度見込めるという結果になっている。

しかし、C1 と C2 レベルにおいては、必ずしもレベル尺度が自己評価を用いたロジット値（困難度）に反映されておらず、今回の分析では両レベルを統合することが妥当と判断した。その原因としては、C2 レベルの調査項目が他のレベルよりも少なめであったこと、C2 レベルの習熟度を持つ調査対象者が少なかったことの2点が考えられる。さらに、C2 というレベル設定がそもそも妥当であるのかといった議論の余地もあろうが、その考察までは本調査は踏み込めない。

また、個別の項目を見ると、ミスフィットとなっている項目やレベル間での重なりや逆転を起こしているものがあつた。これらについては逆転項目として指摘した。このような項目は尺度レベルを適正に反映していないと考えられる。ただし、今後の使用において、それらを排除すべきかどうかについては、なぜ日本語ではこのような逆転項目が現れるのかを、個別の項目ごとに、日本語という目標言語の特性・特質、日本語使用者の母語と日本語の言語間の距離（漢字圏は文字・表記において距離が近いと言え、韓国語の場合は語順の点で近いと言えるなど）、日本という目標言語の社会文化的な特徴、それに伴う相互行為や言語使用の特質（待遇表現や敬語など）、日本語使用者の有する社会文化的な特徴と彼らが実際に接触する可能性の高い社会文化的な特徴との同質性や差異性、外国語として日本語を使用する場合と目標言語社会で使用する場合の困難度への影響といった点から質的な検討を加えることや項目数の確保の要請など、他の要因も含めて慎重に議論すべきである。

Can do の記述文の例示に関して、提示順序、日本社会での遭遇頻度、漢字や仮名などの使用程度等を勘案する必要がある。例えば、「身近な漢字が使われていれば～」「ひらがなで書かれていれば～」といった表記にする条件の検討や、通信文書と言っても現在の日本ではどのようなものが代表的か（Fax、メール、SNSのアプリか、あるいは、いわゆる郵送によるビジネスレターかなど）といった社会文化的な状況の検討も必要であろう。

## ②今後行うべき調査について

まず、日本語の Can do の項目数をさらに増やすために今回の学習者の自己評価と同様の調査を継続することを提案する。また、CEFR に精通した専門家集団による、質的な検討が求められる。その際には、今回提示した基礎資料を参照しながらも、上述した逆転項目が現れる要因の検討を行い、日本語の Can do 記述文のレベルや活動内容を検討して、レベル内の項目数のバランスも考慮しながら、Can do 記述文の調整、代表項目の調整、レベルの調整などを行うべきである。

今回、教師評価を含めての多相ラッシュモデルでの分析がうまく実施できなかった。その原因の一つとして、学習者による評価は Can do の項目それぞれについて、「できる」程度についての評価であったのに対し、教師による評価は言語活動の 5 項目についてのレベル評価であった。両者の評価の方法が異なることから、両者を合わせた分析が機能しなかった可能性がある。できるならば、同じ方法でデータをとって分析することが望ましい。

また、両者がより安定して適切な評価が行えるようなトレーニングを重ねることも必要であろう。さらに、Cレベルの学習者が少なく、C2をC1と区別することができなくなっていたことも、今回の各分析において指摘した。以上のことから、学習者評価と教師評価の方法については再度検討した上で、そして（現実的に難しいことは予想できるが）C2レベルの対象者を増やして、改めて調査が行われることを期待したい。

加えて、漢字圏の学習者と非漢字圏の学習者においてDIF（Differential Item Functioning）が存在するかどうか今後、検討する必要がある。

最後に、今回、学習者の実際のパフォーマンスデータ（音声、作文）の収集も一部行ったがデータ数も少なかったことから分析対象としなかった。この種のデータをさらに収集すべきか、今後どのように活用するかについては検討を要する。

### <引用文献>

- 小泉利恵・アルク教育総合研究所（2017）『Telephone Standard Speaking Test (TSST) の妥当性検証』（アルク英語教育実態レポート, Vol. 10）. 東京：アルク教育総合研究所
- 国際交流基金（2020）「JF日本語教育スタンダードのCan doの量的検証について—産出、やりとりのCan doを中心として—」[https://jfstandard.jp/pdf/JFS\\_Can\\_do\\_Report\\_2020.pdf](https://jfstandard.jp/pdf/JFS_Can_do_Report_2020.pdf)（令和3年6月21日閲覧）
- 野口裕之・大隅敦子（2014）『テストニングの基礎理論』研究社
- 野口裕之・大隅敦子・熊谷龍一・島田めぐみ（2019）「CEFRの日本語への適用可能性—受容的能力の場合—」『日本テスト学会第17回大会発表論文抄録集』, 116-117
- 野口裕之・大隅敦子・熊谷龍一・島田めぐみ（2020）「CEFRの日本語への適用可能性—産出的言語活動および（言葉の）やりとりの場合—」『2020年度日本語教育学会春季大会予稿集』, 173-178
- Council of Europe（2001）*Common European Framework of Reference for Languages: Learning, teaching, assessment*. Cambridge University Press.（吉島茂・大橋理枝 編訳（2014）「外国語の教育Ⅱ 外国語の学習, 教授, 評価のためのヨーロッパ共通参照枠（追補版）」朝日出版社）<https://www.goethe.de/ins/jp/ja/spr/unt/kum/ger.html>（令和3年6月21日閲覧）
- Council of Europe（2020）*Common European Framework of Reference for Languages: Learning, teaching, assessment - Companion Volume*  
<https://rm.coe.int/common-european-framework-of-reference-for-languages-learning-teaching/16809ea0d4>（令和3年6月21日閲覧）
- Eckes, T.（2011）*Introduction to many-facet Rasch measurement: Analyzing and evaluating rater-mediated assessments*. Peter Lang.



- Engelhard, Jr. G. (2013) *Invariant measurement: Using Rasch models in the social, behavioral, and health sciences*. Routledge.
- Linacre, J. M. (1989) *Many-facet Rasch measurement*. MESA Press.
- Linacre, J. M. (2021) *A User's Guide to Facets: Rasch measurement computer programs*. Beaverton, Oregon: Winsteps.com
- Wright, B. D., Linacre, J. M., Gustafson, J.-E., & Martin-Löf, P. (1994) Reasonable mean-square fit values. *Rasch Measurement Transactions*, 8, 370.

<調査協力日本語教育機関(五十音順)>

アークアカデミー新宿校  
ARC東京日本語学校  
一般財団法人 日本国際協力センター  
一般社団法人グローバル人材サポート浜松  
インターカルト日本語学校  
学校法人新井学園赤門会日本語学校  
株式会社きぼう国際外語学院  
公益財団法人 浜松国際交流協会  
公益社団法人 国際日本語普及協会  
コミュニカ学院  
千駄ヶ谷日本語学校  
千駄ヶ谷日本語教育研究所附属日本語学校  
東京大学  
筑波大学  
名古屋YWCA学院日本語学校  
沼津日本語学院  
浜松日本語学院  
広島大学  
ヒューマンアカデミー日本語学校大阪校  
ヒューマンアカデミー日本語学校佐賀校  
ヒューマンアカデミー日本語学校東京校  
YAMASA言語文化学院  
早稲田大学

<付録>

付録1	調査項目	41
付録2	調査票	55
付録3	グループ1 記述統計	56
付録4	グループ2 記述統計	58
付録5	グループ3 記述統計	60
付録6	グループ4 記述統計	62
付録7	Can do ごとの記述統計	64
付録8	代表項目・準代表項目・逆転項目	68

## 付録1 調査項目

整番	レベル	言語活動	カテゴリー	Can-do本文（日本語）	本件調査グループ1	本件調査グループ2	本件調査グループ3	本件調査グループ4
CEFR001	C2	聞く	包括的な聴解	熟達した日本語話者にかなり速いスピードで話されても、生であれ、放送であれ、どんな種類の話し言葉も難無く理解できる。				○
CEFR002	C1	聞く	包括的な聴解	特に耳慣れない話し方をする話者の場合には、時々細部を確認しなければならない場合があるが、自分の専門外の抽象的で複雑な話題についての長い発話にも充分についていける。			○	○
CEFR003	C1	聞く	包括的な聴解	幅の広い慣用表現や口語体表現が理解できる。言語使用域の移行を正しく認識できる。			○	○
CEFR004	C1	聞く	包括的な聴解	構造がはっきりしていない場合、または内容の関係性が暗示されているだけで、明示的でない場合でも、長い発話を理解できる。				○
CEFR005	B2.2	聞く	包括的な聴解	生であれ、放送であれ、身近な話題でなくとも、個人間、社会、学問、職業の世界で通常出会う話題について、共通語で話されれば理解できる。周囲の極端な騒音、不適切な談話構成や慣用表現だけが理解を妨げる。			○	○
CEFR006	B2.1	聞く	包括的な聴解	自分の専門分野での技術的な議論を含めて、共通語で話されれば、抽象的な話題でも具体的な話題でも、内容的にも言語的にもかなり複雑な話の要点を理解できる。		○	○	○
CEFR007	B2.1	聞く	包括的な聴解	もし話題がそれなりに身近なもので、話の方向性が何らかの標識で明示的に示されていれば、長い話や複雑な議論の流れでも理解できる。			○	○
CEFR008	B1.2	聞く	包括的な聴解	毎日や普段の仕事上の話題について、簡単な事実関係の情報を理解できる。もし、大体が耳慣れた発音で、明瞭に話されていれば、一般的なメッセージも具体的な詳細も理解できる。	○		○	
CEFR009	B1.1	聞く	包括的な聴解	短い物語も含めて、仕事、学校、余暇などの場面で普段出会う、ごく身近な事柄について、共通語で明瞭に話されたものなら要点を理解できる。	○	○		
CEFR010	A2.2	聞く	包括的な聴解	もし、はっきりとゆっくりとした発音ならば、具体的な必要性を満たすことが可能な程度に理解できる。	○	○		
CEFR011	A2.1	聞く	包括的な聴解	もし、発話をはっきりとゆっくりとした発音ならば、最も直接的な優先事項の領域（例：ごく基本的な個人や家族の情報、買い物、その地域の地理、仕事・雇用）に関連した句や表現が理解できる。	○	○		
CEFR012	A1	聞く	包括的な聴解	意味がとれるように間を長くおきながら、非常にゆっくりと注意深く発音してもらえれば、発話を理解できる。	○			
CEFR013	C1	聞く	他の話者同士の対話の理解	抽象的で複雑、かつ未知の話題でも、グループ討議やディベートでの第三者間の複雑な話し合いを容易に理解できる。			○	○
CEFR014	B2.2	聞く	他の話者同士の対話の理解	熟達した日本語話者同士の活気に富んだ会話についていくことができる。		○		○
CEFR015	B2.1	聞く	他の話者同士の対話の理解	自分の話し方を全く変えない熟達した日本語話者との議論に上手に加われないかもしれないが、少し努力すれば、自分の周りで話されていることのほとんどを聞き取ることができる。		○	○	○
CEFR016	B1	聞く	他の話者同士の対話の理解	もし、話が共通語で、発音もはっきりしていれば、自分の周りで長い議論の要点を普通に理解できる。	○	○	○	
CEFR017	A2	聞く	他の話者同士の対話の理解	ゆっくりと、はっきりした議論なら、自分の周りで議論されている話題はおおた分かる。	○	○		
CEFR018	C2	聞く	聴衆の一人として生で聞くこと	口語表現や方言的な慣用表現、馴染みの薄い専門用語を利用した専門の講義やプレゼンテーションを理解できる。				○
CEFR019	C1	聞く	聴衆の一人として生で聞くこと	たいていの講義、議論、ディベートが比較的容易に理解できる。			○	○
CEFR020	B2	聞く	聴衆の一人として生で聞くこと	内容的にも言語的にも複雑な講義、話、報告、そのほかの学問的／専門的なプレゼンテーションの要点は理解できる。		○	○	○
CEFR021	B1.2	聞く	聴衆の一人として生で聞くこと	もし、ごく身近なテーマと内容で、プレゼンテーションが簡潔で明確な構成を持っているならば、自分の専門の範囲で講義や話を理解できる。	○	○	○	
CEFR022	B1.1	聞く	聴衆の一人として生で聞くこと	もし、はっきりと共通語で発音されるならば、ごく身近な話題についての簡単な短い話の要点を理解できる。	○	○	○	
CEFR023	C1	聞く	広報・アナウンスや指示を聞く事	例えば、駅やスポーツ・スタジアムのような所での、聞き取れないほど音質が悪い、歪みのあるアナウンスから、特定の情報を引き出すことができる。				○

整番	レベル	言語活動	カテゴリー	Can-do本文（日本語）	本件調査グループ1	本件調査グループ2	本件調査グループ3	本件調査グループ4
CEFR024	C1	聞く	広報・アナウンスや指示を聞く事	取扱説明や、ごく身近な製品説明やサービスについての、複雑な専門的情報が理解できる。			○	○
CEFR025	B2	聞く	広報・アナウンスや指示を聞く事	共通語で普通のスピードで話されていれば、具体的なことでも抽象的なことでも、アナウンスやメッセージを理解できる。			○	○
CEFR026	B1	聞く	広報・アナウンスや指示を聞く事	毎日使っている機器・設備の取扱説明のような、簡単な専門的情報を理解することができる。	○	○	○	
CEFR027	B1	聞く	広報・アナウンスや指示を聞く事	詳細な指示を理解できる。	○	○		
CEFR028	A2	聞く	広報・アナウンスや指示を聞く事	短い、はっきりとした、簡単なメッセージやアナウンスの要点は聞き取れる。	○	○		
CEFR029	A2	聞く	広報・アナウンスや指示を聞く事	徒歩や公共交通機関を使ってXからYまでどうやって行くのかという簡単な説明は理解できる。	○	○		
CEFR030	A1	聞く	広報・アナウンスや指示を聞く事	当人に向かって、丁寧にゆっくりと話された指示なら理解できる。短い簡単な説明なら理解できる。	○			
CEFR031	C1	聞く	音声メディアや録音を聞くこと	いくつかの共通語通りではない表現があっても、録音され、放送された広範囲な音声素材を理解できる。事柄に対する話し手の、言葉に表れない姿勢や、話し手の間の関係など、細かい点が聞き取れる。			○	○
CEFR032	B2.2	聞く	音声メディアや録音を聞くこと	社会、専門、学問の世界で普段出会うもので、共通語で録音されたものは理解できる。また、情報の内容だけでなく、話し手の視点や事柄に対する姿勢が聞き取れる。		○	○	○
CEFR033	B2.1	聞く	音声メディアや録音を聞くこと	共通語で話されているほとんどのラジオドキュメンタリーや、録音・放送された音声素材を理解できる。話し手の心情や調子などが聞き取れる。		○		○
CEFR034	B1.2	聞く	音声メディアや録音を聞くこと	はっきりとした共通語で話された、個人的に興味がある話題であれば、録音され、放送された音声素材の大部分の情報の内容を理解できる。	○	○	○	
CEFR035	B1.1	聞く	音声メディアや録音を聞くこと	比較的ゆっくりとはっきりと話された、ごく身近な話題に関するラジオの短いニュースや、比較的簡単な内容の録音された素材なら、主要な点は理解できる。	○	○	○	
CEFR036	A2	聞く	音声メディアや録音を聞くこと	ゆっくりとはっきりと話されれば、予測可能な日常の事柄に関する、短い録音の一節を理解し、必要な情報を取り出すことができる。	○	○		
CEFR037	C2	読む	包括的な読解	抽象的で構造的に複雑な、もしくは口語表現の非常に多い文学、および文学以外の書き物を含めて、書かれた言葉のあらゆる形式を実質的に理解して批判的に解釈できる。				○
CEFR038	C2	読む	包括的な読解	意味や文体の微妙な違いを味わい、明示的な意味と同時に暗示的な意味も味わいながら、幅広い分野にわたって、長い複雑なテキストを理解できる。				○
CEFR039	C1	読む	包括的な読解	長くて複雑なテキストでも、難しい節を繰り返して読めるのであれば、自分の専門に関係がなくても、中身を詳細に理解できる。			○	○
CEFR040	B2	読む	包括的な読解	適切な参考資料を選択して使いながら、さまざまな目的やテキストの種類に合わせて、読むスピード、読み方を変えながら、独力でかなりのところまで読み解ける。広汎な語彙力を持っているが、頻度の低い慣用語にはいくらか手こずることもある。		○	○	○
CEFR041	B1	読む	包括的な読解	簡潔な事実関係のテキストで、自分の専門分野や興味の範囲内のものであれば、十分に主題を理解できる。	○	○	○	
CEFR042	A2.2	読む	包括的な読解	非常によく用いられる、日常的、もしくは仕事関連の言葉で書かれた、具体的に身近な事柄なら、短い簡単なテキストが理解できる。	○	○		
CEFR043	A2.1	読む	包括的な読解	よく使われる語で書かれた、国際的共通語彙もかなり多い、短い簡単なテキストが理解できる。	○	○		
CEFR044	A1	読む	包括的な読解	非常に短い簡単なテキストを、身近な名前、単語や基本的な表現一つずつ取り上げて、必要であれば読み直したりしながら、一文一節ずつ理解することができる。	○			
CEFR045	C1	読む	手紙やメールを読む	辞書を時々使えば、どんな種類の通信文でも理解できる。			○	○
CEFR046	B2	読む	手紙やメールを読む	自分に興味のある分野に関連した通信文を読んで、すぐに主要点が把握できる。		○	○	○

整番	レベル	言語活動	カテゴリー	Can-do本文（日本語）	本件調査グループ1	本件調査グループ2	本件調査グループ3	本件調査グループ4
CEFR047	B1	読む	手紙やメールを読む	個人の手紙を読んで、出来事、感情、希望の表現を理解することができ、定期的にペンフレンドと文通できる。	○	○	○	
CEFR048	A2.2	読む	手紙やメールを読む	身近な話題についての日常の手紙やファックス（照会、注文、確認など）の基本的なタイプのものが理解できる。	○	○		
CEFR049	A2.1	読む	手紙やメールを読む	短い個人の手紙は理解できる。	○			
CEFR050	A1	読む	手紙やメールを読む	葉書の短い簡単なメッセージを理解することができる。	○			
CEFR051	B2	読む	必要な情報を探し出す	ざっと目を通しただけで、長い複雑なテキストの重要事項を見定めることができる。			○	○
CEFR052	B2	読む	必要な情報を探し出す	幅の広い専門的な話題についての情報や記事、レポートの内容やその重要度をすぐに見抜き、綿密な読解の価値があるかどうかを決めることができる。		○	○	○
CEFR053	B1.2	読む	必要な情報を探し出す	必要な情報を見つけるために長いテキストにざっと目を通し、テキストのさまざまな部分や別のテキストから、特定の課題遂行のための情報を収集できる。	○		○	
CEFR054	B1.1	読む	必要な情報を探し出す	手紙、パンフレット、短い公文書のような日常の資料の中から重要な情報を探し出し、理解できる。	○	○	○	
CEFR055	A2	読む	必要な情報を探し出す	広告、趣意書、メニュー、参考書目録、時刻表のような、簡単な日常の資料の中から予測可能な特定の情報を見つけることができる。	○	○		
CEFR056	A2	読む	必要な情報を探し出す	リストの中から特定の情報を見定めて、必要とされる情報を抜き出すことができる。（例えば、サービスや小売店を探すために「イエローページ」を使う。）				
CEFR057	A2	読む	必要な情報を探し出す	日常の看板や掲示を理解することができる。例えば、公の場所では、道路、レストラン、鉄道の駅などの看板、職場では説明、指示、危険警告などの掲示が理解できる。	○			
CEFR058	A1	読む	必要な情報を探し出す	日常のよくある状況下で、簡単な掲示の中から身近な名前や語、基本的な表現が分かる。	○			
CEFR059	C1	読む	情報や要点を読み取る	社会、専門、学問の分野で出合う可能性のある、ある程度長い、複雑なテキストを詳細な点まで理解できる。意見表明だけでなく、含意された意見や立場も含めて詳細な点まで理解できる。			○	○
CEFR060	B2.2	読む	情報や要点を読み取る	自分の専門分野の非常に専門的な資料から、情報、考え、意見を読み取ることができる。			○	○
CEFR061	B2.2	読む	情報や要点を読み取る	専門用語の意味を確認するために辞書を使うことができれば、自分の専門外であっても専門記事が理解できる。		○	○	○
CEFR062	B2.1	読む	情報や要点を読み取る	筆者が特別な立場や視点から取り上げた、現代の問題に関する記事やレポートを理解できる。		○	○	○
CEFR063	B1.2	読む	情報や要点を読み取る	主張のはっきりした論説的テキストの主要な結論を把握できる。	○	○	○	
CEFR064	B1.2	読む	情報や要点を読み取る	必ずしも詳しくはなくても、提示された問題への対応に関する議論の筋道が分かる。		○	○	
CEFR065	B1.1	読む	情報や要点を読み取る	身近な話題についての簡単な新聞記事から重点を取り出すことができる。	○	○	○	
CEFR066	A2	読む	情報や要点を読み取る	手紙、パンフレット、新聞の短い事件記事のような、簡潔なテキストの中から特定の情報を取り出すことができる。	○	○		
CEFR067	A1	読む	情報や要点を読み取る	簡単な情報文の内容や、簡潔な記述文の概要を把握することができる。特に視覚的な補助があれば、さらに容易に概要が把握できる。	○			
CEFR068	C1	読む	説明を読む	もし難しい箇所を読み返すことができれば、それが自分の専門分野に関連していなくても、新しい機械や使用手順についての長い複雑な説明を細かいところまで理解できる。			○	○
CEFR069	B2	読む	説明を読む	もし難しい箇所を読み返すことができれば、条件や警告の詳細までも含めて、自分の関係分野の長い複雑な説明を理解できる。		○	○	○

調査対象外

整番	レベル	言語活動	カテゴリー	Can-do本文（日本語）	本件調査グループ1	本件調査グループ2	本件調査グループ3	本件調査グループ4	
CEFR070	B1	読む	説明を読む	機器について、はっきりと書かれた簡潔な説明を理解できる。	○	○	○		
CEFR071	A2.2	読む	説明を読む	簡単な言語で表現されていれば、例えば、安全のためなどの規則が理解できる。	○	○			
CEFR072	A2.1	読む	説明を読む	公衆電話のような日常生活で見る機器についての簡潔な説明を理解できる。		○			
CEFR073	A1	読む	説明を読む	（例えば、XからYへ行くための）短い、簡潔に書かれた方向指示を理解できる。	○				
CEFR074	C1		テレビや映画を見ること	相当数の俗語や慣用表現のある映画が理解できる。					調査対象外
CEFR075	B2		テレビや映画を見ること	たいていのテレビのニュースや時事問題の番組が理解できる。					調査対象外
CEFR076	B2		テレビや映画を見ること	共通語による言葉遣いのドキュメンタリー、生のインタビュー、トークショー、演劇、大部分の映画を理解できる。					調査対象外
CEFR077	B1.2		テレビや映画を見ること	話し方が比較的ゆっくりと、はっきりとしていれば、インタビュー、短い講演、ニュースレポートなど本人の関心事である話題について、多くのテレビ番組の内容をおおいた理解できる。					調査対象外
CEFR078	B1.1		テレビや映画を見ること	映像と人の行動が話の大筋を伝え、はっきりとした簡潔な言語で話されていれば、かなりの映画が理解できる。					調査対象外
CEFR079	B1.1		テレビや映画を見ること	話し方が比較的ゆっくりとはっきりとしていれば、身近な話題についてのテレビ番組の要点をつかむことができる。					調査対象外
CEFR080	A2.2		テレビや映画を見ること	映像と実況説明がほとんど重なるならば、出来事や事故を伝えるテレビのニュース番組の要点が分かる。					調査対象外
CEFR081	A2.1		テレビや映画を見ること	事実報道のテレビニュースの話題が変われば、そのことに気がつき、内容を大まかに理解できる。					調査対象外
CEFR082	C2	発表	話すこと全般	聞き手が要点を記憶、あるいは後で思い出す際の足がかりになるような、論理的な構造を持った、流れのよい、構造のしっかりしたスピーチができる。				○	
CEFR083	C1	発表	話すこと全般	複雑な話題について、明瞭かつ詳細な記述やプレゼンテーションができる。下位テーマをまとめたり、一定の要点を展開しながら、適当な結論にもっていくことができる。			○	○	
CEFR084	B2.2	発表	話すこと全般	記述とプレゼンテーションを明確かつ体系的に展開できる。要点を見失わずに、関連する詳細情報を付け加えて、内容を補足できる。				○	
CEFR085	B2.1	発表	話すこと全般	自分の関心のある分野に関連した、広範囲な話題について、明瞭かつ詳細に記述、プレゼンテーションができる。事項を補足しながら、関連事例を挙げて、主張を強化、展開することができる。		○	○	○	
CEFR086	B1	発表	話すこと全般	自分の関心のあるさまざまな話題のうちのどれかについて、ほどほどの流暢さで、ある程度の長さの、簡単な記述やプレゼンテーションができる。その際、事柄の提示は直線的に並べるとどまる。		○			
CEFR087	A2	発表	話すこと全般	人物や生活・職場環境、日課、好き嫌いなどについて、単純な記述やプレゼンテーションができる。その際簡単な字句や文を並べる。		○			
CEFR088	A1	発表	話すこと全般	人物や場所について、単純な字句を並べて、述べるができる。	○				
CEFR089	C2	発表	長く一人で話す：経験談	明瞭で滞りなく、詳しく、多くは記憶に残るような経験談ができる。				○	
CEFR090	C1	発表	長く一人で話す：経験談	複雑な内容を明瞭かつ詳細に述べるができる。			○	○	
CEFR091	C1	発表	長く一人で話す：経験談	洗練された記述と語りができる。そして、下位テーマをまとめ、要点の一つを展開して、適切な結論で終わらせることができる。			○	○	
CEFR092	B2	発表	長く一人で話す：経験談	自分の関心のある分野に関連した広範囲な話題について、明確で詳しく述べるができる。		○	○	○	

整番	レベル	言語活動	カテゴリー	Can-do本文（日本語）	本件調査グループ1	本件調査グループ2	本件調査グループ3	本件調査グループ4	
CEFR093	B1	発表	長く一人で話す：経験談	自分の関心事で、馴染みのあるさまざまな話題について、簡単に述べるができる。	○		○		
CEFR094	B1	発表	長く一人で話す：経験談	事柄を直線的に並べていって、比較的流暢に、簡単な語り、記述ができる。					調査対象外
CEFR095	B1	発表	長く一人で話す：経験談	自分の感情や反応を記述しながら、経験を詳細に述べるができる。	○	○	○		
CEFR096	B1	発表	長く一人で話す：経験談	予測不能の出来事（例えば事故など）を、順序だてて詳細に述べるができる。	○	○			
CEFR097	B1	発表	長く一人で話す：経験談	本や映画の筋を順序だてて話し、それに対する自分の考えを述べるができる。	○	○	○		
CEFR098	B1	発表	長く一人で話す：経験談	夢や希望、野心を述べるができる。					調査対象外
CEFR099	B1	発表	長く一人で話す：経験談	現実や想像上の出来事を述べるができる。	○	○	○		
CEFR100	B1	発表	長く一人で話す：経験談	物語を語るができる。	○	○	○		
CEFR101	A2.2	発表	長く一人で話す：経験談	事柄を列挙して簡単に述べたり、物語るができる。自分の周りの環境、例えば、人や場所、仕事、学習経験などの日常を述べるができる。	○	○			
CEFR102	A2.2	発表	長く一人で話す：経験談	出来事や活動の要点を短く述べるができる。					調査対象外
CEFR103	A2.2	発表	長く一人で話す：経験談	計画、準備、習慣、日課、過去の活動や個人の経験を述べるができる。	○				
CEFR104	A2.2	発表	長く一人で話す：経験談	簡単な、記述的な言葉を用いて、事物や所有物について短く述べたり、それらを比較できる。	○	○			
CEFR105	A2.2	発表	長く一人で話す：経験談	好きか嫌いかを述べるができる。	○	○			
CEFR106	A2.1	発表	長く一人で話す：経験談	家族、住居環境、学歴、現在やごく最近までしていた仕事を述べるができる。	○	○			
CEFR107	A2.1	発表	長く一人で話す：経験談	簡単な言葉で人や場所、所有物を述べるができる。	○				
CEFR108	A1	発表	長く一人で話す：経験談	自分について、自分が何をしているか、自分が住んでいる場所を、述べるができる。	○				
CEFR109	B2.2	発表	論述する	適切に要点を強調し、重要な関連のある補足事項を詳しく取り上げて、整然と論拠を展開できる。		○	○	○	
CEFR110	B2.1	発表	論述する	はっきりとした議論を展開できる。補助的観点や関連事例を詳細に補足し、自分の見解を展開し、話を続けることができる。			○	○	
CEFR111	B2.1	発表	論述する	理路整然と論拠を並べ挙げるができる。		○			
CEFR112	B2.1	発表	論述する	いくつかの選択肢の利点と不利な点を挙げて、話題となる問題の視点を説明できる。		○	○	○	
CEFR113	B1.2	発表	論述する	ほとんどの場合、明確な議論が構築でき、他人がついていくのに苦労しない。			○		
CEFR114	B1.1	発表	論述する	意見、計画、行動について短い理由や説明ができる。	○	○	○		
CEFR115	C1	発表	公共アナウンスをする	細かいニュアンスを正確に伝えるために強調、イントネーションをつけて、楽々と、かつ流暢にアナウンスができる。			○	○	

整番	レベル	言語活動	カテゴリー	Can-do本文（日本語）	本件調査グループ1	本件調査グループ2	本件調査グループ3	本件調査グループ4		
CEFR116	B2	発表	公共アナウンスをする	聞き手になんのストレスも不快さも与えることなく、一般的な話題のほとんどについて、明快地、流暢に、ごく自然にアナウンスができる。					○	
CEFR117	B1	発表	公共アナウンスをする	自分の分野に関連する話題について、練習しておけば短いアナウンスができる。アクセントとイントネーションには、かなり外国語なまりの部分もあるが、それでもはっきりと分かりやすい。						調査対象外
CEFR118	A2	発表	公共アナウンスをする	聞き手が集中して聞いてくれれば、練習した上で、予測可能で身近な内容の事柄について、短いアナウンスができる。	○					
CEFR119	C2	発表	聴衆の前での講演	話題について知識のない聴衆に対しても、自信を持ってはっきりと複雑な内容を口頭発表できる。聴衆の必要性に合わせて柔軟に話を構造化し、変えていくことができる。						○
CEFR120	C2	発表	聴衆の前での講演	難しい、あるいは敬意すら感じられる質問に対処することができる。						○
CEFR121	C1	発表	聴衆の前での講演	複雑な話題について、明確なきちんとした構造を持ったプレゼンテーションができる。補助事項、理由、関連事例を詳しく説明し、論点を展開し、立証できる。				○	○	
CEFR122	C1	発表	聴衆の前での講演	聴衆からの不意の発言にも対応することができる。ほとんど苦勞せずに自然に反応できる。				○	○	
CEFR123	B2.2	発表	聴衆の前での講演	はっきりとした、体系的に展開したプレゼンテーションができる。その際重要な要点や、関連する詳細事項を補足的に強調することができる。			○	○	○	
CEFR124	B2.2	発表	聴衆の前での講演	予め用意されたテキストから自然に離れて、聴衆が喚起した興味ある事柄に対応できる。そこで非常に流暢に、楽に表現ができる。						調査対象外
CEFR125	B2.1	発表	聴衆の前での講演	事前に用意されたプレゼンテーションをはっきりと行うことができる。ある見方に賛成、反対の理由を挙げて、いくつかの選択肢の利点と不利な点を示すことができる。						○
CEFR126	B2.1	発表	聴衆の前での講演	一連の質問に、ある程度流暢に、自然に対応ができる。話を聞く、あるいは話をする際に聴衆にも自分にも余分な負荷をかけることはない。				○	○	
CEFR127	B1	発表	聴衆の前での講演	自分の専門でよく知っている話題について、事前に用意された簡単なプレゼンテーションができる。ほとんどの場合、聴衆が難なく話についていける程度に、はっきりとしたプレゼンテーションをすることができ、また要点をそこそこ正確に述べるることができる。	○					
CEFR128	B1	発表	聴衆の前での講演	質問には対応できるが、そのスピードが遅い場合は、もう一度繰り返すことを頼むこともある。						調査対象外
CEFR129	A2.2	発表	聴衆の前での講演	自分の毎日の生活に直接関連のある話題については、リハーサルして、短いプレゼンテーションができる。意見、計画、行動に対して、理由を挙げて、短く述べるることができる。			○			
CEFR130	A2.2	発表	聴衆の前での講演	話し終えた後、限られた数の簡単な質問に対処することができる。	○					
CEFR131	A2.1	発表	聴衆の前での講演	身近な話題について、リハーサルをして、短い基本的なプレゼンテーションができる。			○			
CEFR132	A2.1	発表	聴衆の前での講演	質問を繰り返し言ってもらい、回答するのに何らかの助け船を出してくれる人がいるなら、話し終えた後から出される簡単な質問に答えることができる。	○					
CEFR133	A1	発表	聴衆の前での講演	非常に短い、準備して練習した言葉を読み上げることができる。例えば、話し手の紹介や乾杯の発声など。	○					
CEFR134	C2	書く	書くこと全般	適切で印象的な文体と論理的な構成を用いて、明瞭に調子よく、複雑なテキストを書くことができる。読者に重要な点がわかるようになっている。						○
CEFR135	C1	書く	書くこと全般	複雑な話題について、明瞭にきちんとした構造を持ったテキストを書くことができる。関連性のある重要点を強調して、補助的事項、理由、関連する詳細な事例を付け加えて、論点を展開し、それを維持していくことができる。最後に、適切な結論で終わることができる。				○	○	
CEFR136	B2	書く	書くこと全般	いろいろな情報や議論をまとめて評価した上で、自分の関心がある専門分野の多様な話題について明瞭で詳細なテキストを書くことができる。				○	○	
CEFR137	B1	書く	書くこと全般	一連の短い別々になっている要素を一つの流れに結びつけることによって、自分の関心が及ぶ身近な話題について結束性のある簡単なテキストを書くことができる。			○			
CEFR138	A2	書く	書くこと全般	「そして」「しかし」「なぜなら」などの簡単な接続詞でつなげた簡単な表現や文を書くことができる。	○					



整番	レベル	言語活動	カテゴリー	Can-do本文（日本語）	本件調査グループ1	本件調査グループ2	本件調査グループ3	本件調査グループ4
CEFR139	A1	書く	書くこと全般	簡単な表現や文を単独に書くことができる。	○			
CEFR140	C2	書く	創作	明瞭ですらすらと流れるように、そのジャンルに適切な文体で書き、読み手を完全に引き込むことができる。				○
CEFR141	C1	書く	創作	読者として想定した相手にふさわしい、自分の、しかも自然な文体で、自信を持って、明瞭かつ詳細な、的確な構成と展開を持つ記述文や創造文が書ける。			○	○
CEFR142	B2.2	書く	創作	実際、もしくは想像上の出来事や経験について、複数の見解を相互に関連づけ、当該ジャンルの書記習慣に従って、明瞭かつ詳細に記述文を書くことができる。			○	○
CEFR143	B2.1	書く	創作	自分が関心を持つさまざまな話題について、明瞭、詳細に書くことができる。		○	○	○
CEFR144	B2.1	書く	創作	映画や本、演劇の評を書くことができる。			○	○
CEFR145	B1	書く	創作	自分が関心を持つ身近な話題について、複雑でないが、詳しく記述することができる。	○	○	○	
CEFR146	B1	書く	創作	単純につなぎあわせたテキストで感情や反応を記述し、経験したことを書くことができる。	○	○	○	
CEFR147	B1	書く	創作	現実のことであれ想像上であれ、最近行った旅行や出来事を記述できる。				
CEFR148	B1	書く	創作	物語を書くことができる。				
CEFR149	A2.2	書く	創作	自分の周りにある日々のいろいろな側面、例えば、人物、場所、仕事や学習体験などについて、つながりのある文を書くことができる。	○	○		
CEFR150	A2.2	書く	創作	出来事、過去の活動、個人的な経験の記述を短い文で書くことができる。	○	○		
CEFR151	A2.1	書く	創作	家族、生活環境、学歴、現在または最近の仕事について、簡単な句や文を連ねて書くことができる。	○	○		
CEFR152	A2.1	書く	創作	短く簡単な想像上の人物伝や、人物を題材にした簡単な詩を書くことができる。		○		
CEFR153	A1	書く	創作	自分自身や想像上の人々について、どこに住んでいるか、何をやる人なのかについて、簡単な句や文を書くことができる。	○			
CEFR154	C2	書く	レポートやエッセイ	明瞭で流れるような、複雑なレポート、記事、エッセイを書き、事例を説明したり、提案や文学作品の批評文を書くことができる。				○
CEFR155	C2	書く	レポートやエッセイ	読者に重点が分かるように、適切で効果的に論理を構成することができる。				○
CEFR156	C1	書く	レポートやエッセイ	複雑な話題について、明瞭な構造で、きちんと記述し、重要な関連事項を強調しながら、書くことができる。			○	○
CEFR157	C1	書く	レポートやエッセイ	補助的な観点、理由、関連する事例を詳細に加えて、特定の視点からの論を展開し、ある程度の長さの文が書ける。			○	○
CEFR158	B2.2	書く	レポートやエッセイ	論拠、論点を整然と展開して、エッセイやレポートを書くことができる。重要な点や関連する補足事項の詳細を、適切に強調することができる。		○	○	○
CEFR159	B2.2	書く	レポートやエッセイ	いろいろな考えや問題の解決法を評価することができる。				○
CEFR160	B2.1	書く	レポートやエッセイ	エッセイやレポートを書く時に、根拠を提示しながら、ある視点に賛成や反対の理由を挙げ、さまざまな選択肢の利点と不利な点を説明できる。		○		○
CEFR161	B2.1	書く	レポートやエッセイ	いろいろなところから集めた情報や議論をまとめることができる。		○	○	○

調査対象外  
調査対象外

整番	レベル	言語活動	カテゴリー	Can-do本文 (日本語)	本件調査 グループ1	本件調査 グループ2	本件調査 グループ3	本件調査 グループ4	
CEFR162	B1.2	書く	レポートや エッセイ	関心を持つ話題についての短い、簡単なエッセイを書くことができる。		○	○		
CEFR163	B1.2	書く	レポートや エッセイ	自分の専門範囲の日常的もしくは非日常的な事柄について、集めた事実情報をもとに、総括し、報告できる。また、それに対し、ある程度の自信を持って自分の意見を提示することができる。					調査対象外
CEFR164	B1.1	書く	レポートや エッセイ	日常的な事実を述べ、行動の理由を説明するために、きわめて短い報告文を標準的な常用形式に沿って書くことができる。					調査対象外
CEFR165	C2	やりとり	口頭でのやり とり全般	慣用的な表現や口語表現をかなり使いこなすことができ、コノテーションまで気がつく。かなりの確に修飾を加えることによって正確に細かいニュアンスまで伝えることができる。表現しにくいところを上手に回避して発話を再構成できるし、対話の相手は修復がなされたことにはほとんど気がつかない。				○	
CEFR166	C1	やりとり	口頭でのやり とり全般	ほとんど努力する必要がないくらい、らくらくと流暢に、自然に言いたいことを表現できる。幅の広い語彙が使いこなせ、間接的な表現を使って即座に対話の隙間を埋めることができる。見て分かるような表現探しや、回避の方略はほとんどない。概念的に難しい話題だけが自然でスムーズな言葉の流れを邪魔する。			○	○	
CEFR167	B2.2	やりとり	口頭でのやり とり全般	一般的、学術的、職業上、もしくは余暇に関する幅広い話題について、流暢に、正確に、そして効果的に言葉を使うことができ、考えと考えの間の関係をはっきりとさせることができる。言いたいことが表現できない様子もまずなく、文法も正確で、その場にふさわしい丁寧さで、自然にコミュニケーションできる。		○			
CEFR168	B2.1	やりとり	口頭でのやり とり全般	熟達した日本語話者を相手に、お互いにストレスを感じさせることなく、普通の対話や関係が維持できる程度に、流暢に自然に対話できる。個人的に重要な出来事や経験を強調して、関連説明をし、根拠を示して自分の見方をはっきりと説明し、主張・維持できる。					調査対象外
CEFR169	B1.2	やりとり	口頭でのやり とり全般	自分の関心や専門分野に関連した、身近な日常のおよび非日常的な問題について、自信を持って話し合いをすることができる。情報を交換、チェックし、確認できる。あまり日常的でない状況にも対処し、問題の在処を説明できる。映画、書籍、音楽などの抽象的な文化的話題について、自分の考えを表現できる。			○		
CEFR170	B1.1	やりとり	口頭でのやり とり全般	単純な形だが幅広く言葉を使い、旅行中に遭遇する可能性のあるほとんどの状況に対処できる。身近な話題の会話に準備なしでも加わることができる。身近で個人的関心のある事柄、または日常生活に関連する話題（例えば、家族、趣味、仕事、旅行、時事問題）について個人的な意見を表明したり、情報を交換したりできる。					調査対象外
CEFR171	A2.2	やりとり	口頭でのやり とり全般	もし必要がある場合に相手が助けてくれれば、予め決まっているような状況、短い会話でなら、比較的容易に対話ができる。余り苦勞なくとも日常での簡単なやり取りができる。予測可能な日常の状況ならば、身近な話題についての考えや情報を交換し、質問に答えることができる。					調査対象外
CEFR172	A2.1	やりとり	口頭でのやり とり全般	仕事や自由時間に関わる身近な日々の事柄について、直接的で簡単な情報交換を必要とする通常の課題ならコミュニケーションできる。非常に短い社交的なやり取りには対応できるが、自分から会話を進められるほどの理解はない。					調査対象外
CEFR173	A1	やりとり	口頭でのやり とり全般	簡単な方法でやり取りができるが、ゆっくりとした繰り返し、言い換え、修正に全般的に頼ってコミュニケーションすることになる。簡単な質疑応答はできる。すぐに回答が必要な事柄やごく身近な話題についてなら、話も始められ、応答もできる。	○				
CEFR174	C2	やりとり	対話相手の理解	なじみのない言い方に慣れる機会があれば、自分の専門分野を超えた専門家の抽象的な複雑な話題でも、話し相手が言ったことを理解できる。				○	
CEFR175	C1	やりとり	対話相手の理解	自分の専門分野外の話題についての専門家による抽象的な、複雑な話を詳しく理解できる。ただ、馴染みのない話し方の場合は特に、時々詳細を確認する必要がある。			○	○	
CEFR176	B2	やりとり	対話相手の理解	騒音のある環境でも共通語による話し言葉で自分に言われたことを詳細に理解できる。					調査対象外
CEFR177	B1	やりとり	対話相手の理解	時には特定の単語や表現の繰り返しを求めることもあるが、日常的会話で自分に向けられたはっきりと発音された話は理解できる。					調査対象外
CEFR178	A2.2	やりとり	対話相手の理解	あまり苦勞せずに簡単な日常のやり取りを何とかできるぐらいの理解はできる。					調査対象外
CEFR179	A2.2	やりとり	対話相手の理解	時々繰り返しや言い換えを求めることが許されるなら、自分に向けられた、身近な事柄について、はっきりとした、共通語での話はいたい理解できる。					調査対象外
CEFR180	A2.1	やりとり	対話相手の理解	簡単な日常会話で、自分に対してははっきりとゆっくりと、直接言われたことを理解できる。もし、話し手の方が面倒がらねば、分かるようにしてもらえらる。	○	○			
CEFR181	A1	やりとり	対話相手の理解	こちらの事情を理解してくれるような話し相手から、はっきりとゆっくりと、繰り返しを交えながら、直接自分に向けられた話ならば、具体的に単純な必要性を満たすための日常の表現を理解できる。	○				
CEFR182	A1	やりとり	対話相手の理解	自分に向けられた、注意深く、ゆっくり表現された質問や指示を理解できる。短い簡単な指示を理解できる。					調査対象外
CEFR183	C2	やりとり	会話	社会や個人生活全般にわたって、言語上の制限もなく、ゆとりをもって、適切に、自由に会話ができる。				○	
CEFR184	C1	やりとり	会話	感情表現、間接的な示唆、冗談などを交えて、社交上の目的に沿って、柔軟に、効果的に言葉を使うことができる。			○	○	

整番	レベル	言語活動	カテゴリー	Can-do本文（日本語）	本件調査グループ1	本件調査グループ2	本件調査グループ3	本件調査グループ4	
CEFR185	B2	やりとり	会話	騒音の多い環境でも、たいいてい話題について長い会話に参加できる。					調査対象外
CEFR186	B2	やりとり	会話	熟達した日本語話者との対話でも、相手を不用意にいらつかせたり、おかしがらせたりすることなく、相手が熟達した日本語話者同士で会話している時とは別の振る舞いをしなくてすむくらいに、互いの関係を維持できる。		○	○	○	
CEFR187	B2	やりとり	会話	気持ちのありようを伝え、出来事や経験の持つ個人的重要性を強調することができる。		○	○	○	
CEFR188	B1	やりとり	会話	身近な話題についての会話なら準備なしに参加できる。					調査対象外
CEFR189	B1	やりとり	会話	時には特定の単語や表現の繰り返しを求めることもあるが、日常的会話で自分に向けられたはっきりと発音された話は理解できる。					調査対象外
CEFR190	B1	やりとり	会話	時には言いたいことが言えない場合もあるが、会話や議論を続けることができる。					調査対象外
CEFR191	B1	やりとり	会話	驚き、幸せ、悲しみ、興味、無関心などの感情を表現し、また相手の感情に反応することができる。	○	○	○		
CEFR192	A2.2	やりとり	会話	挨拶、別れ、紹介、感謝などの社会的関係を確立することができる。					調査対象外
CEFR193	A2.2	やりとり	会話	時々繰り返しや言い換えを求めることが許されるなら、自分に向けられた、身近な事柄について、はっきりとした、共通語での話はたいいてい理解できる。	○	○			
CEFR194	A2.2	やりとり	会話	興味のある話題の日常的なことなら短い会話に参加できる。					調査対象外
CEFR195	A2.2	やりとり	会話	簡単な言葉で自分の感情を表現することができるし、感謝も表現できる。					調査対象外
CEFR196	A2.1	やりとり	会話	非常に短い社会的なやり取りには対応できるが、自分から会話を進められるほどには理解できていない場合が多い。それでも、相手の方が面倒がらねば、分かるようにしてもらえらる。					調査対象外
CEFR197	A2.1	やりとり	会話	挨拶をするのに簡単な日常の丁寧な形式を使うことができる。					調査対象外
CEFR198	A2.1	やりとり	会話	招待や提案、謝罪をすることができ、またそれらに応じることができる。					調査対象外
CEFR199	A2.1	やりとり	会話	好き嫌いを言うことができる。					調査対象外
CEFR200	A1	やりとり	会話	紹介や基本的な挨拶、いとまごいの表現を使うことができる。					調査対象外
CEFR201	A1	やりとり	会話	人が元気かどうかを聞き、近況を聞いて、反応することができる。	○				
CEFR202	A1	やりとり	会話	こちらの事情を理解してくれるような話し相手から、はっきりとゆっくりと、繰り返しを交えながら、直接自分に話に向けられれば、具体的で単純な、必要性を満たすための日常的な表現を理解できる。					調査対象外
CEFR203	C1	やりとり	非公式の議論(友人との)	抽象的で複雑でよく知らない話題でも、グループ討議では第三者間の複雑な対話を容易に理解し、そこに加わることができる。			○	○	
CEFR204	B2.2	やりとり	非公式の議論(友人との)	熟達した日本語話者同士の活発な議論についていくことができる。					調査対象外
CEFR205	B2.2	やりとり	非公式の議論(友人との)	正確に自分の考えや意見を表現できる。また、説得力をもって議論の複雑な道筋を提示し、それに反応できる。				○	
CEFR206	B2.1	やりとり	非公式の議論(友人との)	身近な状況での非公式の議論に積極的に参加し、コメントすること、視点をはっきり示すこと、代替案を評価すること、仮説を立て、また他の仮説に対応することができる。		○	○		
CEFR207	B2.1	やりとり	非公式の議論(友人との)	話し方を普段と全く変えない複数の熟達した日本語話者との議論に加わるのは難しいかもしれないが、多少の努力をすれば議論の中で言われていることが大部分理解できる。					調査対象外

整番	レベル	言語活動	カテゴリー	Can-do本文 (日本語)	本件調査グループ1	本件調査グループ2	本件調査グループ3	本件調査グループ4	
CEFR208	B2.1	やりとり	非公式の議論 (友人との)	関連説明、論拠、コメントを述べることによって、議論で自分の意見を説明したり、維持したりできる。					調査対象外
CEFR209	B1.2	やりとり	非公式の議論 (友人との)	もし対話者が、非常に慣用的な語法を避け、はっきりと発音してくれれば、一般的な話題について自分の周りで言われていることのほとんどを理解できる。					調査対象外
CEFR210	B1.2	やりとり	非公式の議論 (友人との)	音楽や映画などの抽象的または文化的話題についての自分の考えが表現できる。問題の在処を説明できる。					調査対象外
CEFR211	B1.2	やりとり	非公式の議論 (友人との)	他人の見方に対して簡単なコメントができる。					調査対象外
CEFR212	B1.2	やりとり	非公式の議論 (友人との)	何をしたいか、どこに行きたいか、誰を選ばよいか、またはどちらを選ばよいか、などを議論し、代案を比較対照できる。		○	○		
CEFR213	B1.1	やりとり	非公式の議論 (友人との)	もし、共通語による言葉遣いではっきりと発音された話であれば、友人との非公式の議論の要点をおおた理解できる。					調査対象外
CEFR214	B1.1	やりとり	非公式の議論 (友人との)	興味ある話題について議論する際に、自分の個人的見方や意見を示したり、尋ねたりすることができる。					調査対象外
CEFR215	B1.1	やりとり	非公式の議論 (友人との)	どこに行くか、何をしたいか、イベントをどのように準備するか (例：外出) などの、実際的な問題や問いの解決に関して、自分の意見や反応を相手に理解させることができる。		○			
CEFR216	B1.1	やりとり	非公式の議論 (友人との)	信念、意見、賛成、反対を丁寧に表現できる。					調査対象外
CEFR217	A2.2	やりとり	非公式の議論 (友人との)	ゆっくりと、はっきりした議論なら、通常自分の周りで議論されている話題はおおた分かる。					調査対象外
CEFR218	A2.2	やりとり	非公式の議論 (友人との)	晩や週末にすることを論じることができる。	○	○			
CEFR219	A2.2	やりとり	非公式の議論 (友人との)	提案を行ったり、出された提案に対して反応できる。					調査対象外
CEFR220	A2.2	やりとり	非公式の議論 (友人との)	他の人の意見に賛成や反対ができる。					調査対象外
CEFR221	A2.1	やりとり	非公式の議論 (友人との)	はっきり、ゆっくりと、自分に直接向けられた発話ならば、日常的で実際的な問題を簡単に論じることができる。					調査対象外
CEFR222	A2.1	やりとり	非公式の議論 (友人との)	何をしたいか、どこへ行くのかを話して、会う約束をすることができる。					調査対象外
CEFR223	C2	やりとり	公式の議論とミーティング	複雑な論題についての議論で自己主張できる。他の話者と比べても引けをとらず、明確で説得力のある議論ができる。				○	
CEFR224	C1	やりとり	公式の議論とミーティング	抽象的かつ複雑で身近でない話題でも、ディベートに容易についていくことができる。				○	
CEFR225	C1	やりとり	公式の議論とミーティング	説得力をもって公式に主張を展開でき、質問やコメントに応じ、複雑な筋立ての対抗意見にも、流暢に自然に適切に応えることができる。			○	○	
CEFR226	B2.2	やりとり	公式の議論とミーティング	活発な議論についていき、支持側と反対側の論理的確を把握できる。					調査対象外
CEFR227	B2.2	やりとり	公式の議論とミーティング	自分の考えや意見を正確に表現できる。また、複雑な筋立ての議論に対し、説得力をもって見解を提示し、対応できる。				○	
CEFR228	B2.1	やりとり	公式の議論とミーティング	日常・非日常的な公式の議論に積極的に参加できる。					調査対象外
CEFR229	B2.1	やりとり	公式の議論とミーティング	自分の専門分野に関連した事柄なら、議論を理解し、話し手が強調した点を詳しく理解できる。					調査対象外
CEFR230	B2.1	やりとり	公式の議論とミーティング	自分の意見を述べ、説明し、維持することができる。代案を評価し、仮説を立て、また他人が立てた仮説に対応できる。					調査対象外

整番	レベル	言語活動	カテゴリー	Can-do本文（日本語）	本件調査グループ1	本件調査グループ2	本件調査グループ3	本件調査グループ4	
CEFR231	B1	やりとり	公式の議論とミーティング	もし対話相手が、非常に慣用的な言葉遣いを避け、はっきりと発音してくれば、自分の専門分野に関連した話の概略を理解できる。					調査対象外
CEFR232	B1	やりとり	公式の議論とミーティング	ディベートに参加するのは難しいが、視点ははっきりと示すことができる。					調査対象外
CEFR233	B1	やりとり	公式の議論とミーティング	共通語による言葉遣いではっきりとした発音であれば、事実に関する情報をやり取りしたり、指示を受けたり、実際的な問題の解決策を論じたりする、定例の公式の議論に参加することができる。			○		
CEFR234	A2.2	やりとり	公式の議論とミーティング	議論がゆっくりとはっきりなされれば、自分の専門分野に関連した公式の議論での話題の動き・変化をおおた理解できる。					調査対象外
CEFR235	A2.2	やりとり	公式の議論とミーティング	直接自分に向けられた質問ならば、実際の問題についての関連情報をやり取りし、自分の意見を示すことができるが、自分の意見を述べる際には、人の助けを借り、必要に応じて鍵となるポイントを繰り返してもらわねばならない。					調査対象外
CEFR236	A2.1	やりとり	公式の議論とミーティング	もし必要な場合に鍵となるポイントを繰り返してもらえらば、公的な会合で直接自分に向けられた質問に対して自分の考えを言うことができる。					調査対象外
CEFR237	B2	やりとり	共同作業中 やりとりをする	詳細な使用説明を確実に理解できる。				○	
CEFR238	B2	やりとり	共同作業中 やりとりをする	他人に仲間に入るように誘ったり、意見を述べるように促したりすることによって、作業を先に進めることに貢献できる。					調査対象外
CEFR239	B2	やりとり	共同作業中 やりとりをする	原因や結果を推測し、異なるアプローチの利点と不利な点を比較考量しながら、論点や問題の概略をはっきりと述べるができる。			○		
CEFR240	B1.2	やりとり	共同作業中 やりとりをする	相手の話し方が速かったり長い場合には、繰り返しや説明を求めることもあるが、言われたことは理解できる。					調査対象外
CEFR241	B1.2	やりとり	共同作業中 やりとりをする	問題の在処を説明し、次に何をすべきか検討し、代案を比較対照できる。					調査対象外
CEFR242	B1.2	やりとり	共同作業中 やりとりをする	他人の見方に対して簡単なコメントができる。					調査対象外
CEFR243	B1.1	やりとり	共同作業中 やりとりをする	言われたことはたいいて理解でき、必要なときにはお互いの理解を確認するために、言われたことの一部を繰り返すことができる。	○	○			
CEFR244	B1.1	やりとり	共同作業中 やりとりをする	自分の意見や反応を、次にすべきことや問題解決との関連で、簡単に理由を挙げて説明して、理解させることができる。					調査対象外
CEFR245	B1.1	やりとり	共同作業中 やりとりをする	仕事の進め方についての意見を言うよう他人を促すことができる。					調査対象外
CEFR246	A2.2	やりとり	共同作業中 やりとりをする	理解できない場合は、単に繰り返しを求めるだけで、あまり苦勞せずに簡単な日常の課題にうまく対処できる程度に理解できる。					調査対象外
CEFR247	A2.2	やりとり	共同作業中 やりとりをする	提案したり、出された提案に応じたり、指示を求めたり出したりしながら、次にすることを検討できる。					調査対象外
CEFR248	A2.1	やりとり	共同作業中 やりとりをする	話についていっていることを分らせることができる。もし話し相手が面倒がらなければ、必要なことを分かるようにしてもらえらる。					調査対象外
CEFR249	A2.1	やりとり	共同作業中 やりとりをする	簡単な表現を使って日常の課題に関するやり取りができ、物を要求したり、与えたり、簡単な情報を得たり、次にすることを話し合うことができる。					調査対象外
CEFR250	A1	やりとり	共同作業中 やりとりをする	注意深く、ゆっくりと表現された質問や説明なら理解できる。短い簡潔な指示を理解できる。	○				
CEFR251	A1	やりとり	共同作業中 やりとりをする	人に物事を要求したり、与えることができる。					調査対象外
CEFR252	B2.2	やりとり	製品やサービスを得るための取引	交通違反の不当な呼び出し状、アパートでの損害に対する金銭的責任、事故に関する責任のような争いの解決のためにうまく交渉の話し合いができる。		○	○	○	
CEFR253	B2.2	やりとり	製品やサービスを得るための取引	補償案件の概観を述べ、満足が得られるような説得力のある言葉遣いでき、こちらの譲歩の限界をはっきりと表明することができる。					調査対象外

整番	レベル	言語活動	カテゴリー	Can-do本文（日本語）	本件調査グループ1	本件調査グループ2	本件調査グループ3	本件調査グループ4	
CEFR254	B2.1	やりとり	製品やサービスの得るための取引	問題が起きたことを説明し、業者や客の方が譲歩の義務があることをはっきりとさせることができる。				○	
CEFR255	B1	やりとり	製品やサービスの得るための取引	旅行中に起きそうなたいいのこと、旅行の打ち合わせなどのやり取りに対処することができる。外国を訪問中に関係当局と対応できる。					調査対象外
CEFR256	B1	やりとり	製品やサービスの得るための取引	店や郵便局、銀行で、例えば、気に入らなかった品を返品するなどの、あまり日常では起きない状況に対処することができる。苦情を言うことができる。					調査対象外
CEFR257	B1	やりとり	製品やサービスの得るための取引	例えば、知らない目的地に行くのに降りる駅を乗客に尋ねるなど、実際の旅行中や、旅行代理店で旅行の手配に際して起きるたいいの状況に対処することができる。	○	○	○		
CEFR258	A2.2	やりとり	製品やサービスの得るための取引	旅行、宿泊、食事、買い物のような毎日の生活での普通の状況に対処することができる。	○	○			
CEFR259	A2.2	やりとり	製品やサービスの得るための取引	簡単に特別専門的でない普通の内容であれば、旅行会社から必要な情報を入手できる。					調査対象外
CEFR260	A2.1	やりとり	製品やサービスの得るための取引	日用品やサービスを求めたり、提供したりできる。	○				
CEFR261	A2.1	やりとり	製品やサービスの得るための取引	旅行や、バス、列車、タクシーなどの公共交通機関についての簡単な情報を得ることができる。行き方を聞いたり、教えてたりすることができる。切符を買うことができる。					調査対象外
CEFR262	A2.1	やりとり	製品やサービスの得るための取引	疑問点を質問し、店、郵便局、銀行で簡単な用を済ますことができる。					調査対象外
CEFR263	A2.1	やりとり	製品やサービスの得るための取引	量や数、値段などの情報を与えたり、取得することができる。	○				
CEFR264	A2.1	やりとり	製品やサービスの得るための取引	欲しいものを言い、値段を聞いて簡単な買い物ができる。					調査対象外
CEFR265	A2.1	やりとり	製品やサービスの得るための取引	食事を注文することができる。		○			
CEFR266	A1	やりとり	製品やサービスの得るための取引	人に物事を要求したり、与えることができる。	○				
CEFR267	A1	やりとり	製品やサービスの得るための取引	数や量、費用、時間を扱うことができる。					調査対象外
CEFR268	B2.2	やりとり	情報交換する	自分の職業上の役割に関するどのような事柄についても、複雑な情報や助言を理解・交換することができる。			○	○	
CEFR269	B2.1	やりとり	情報交換する	信頼を得られる程度に情報を詳しく伝えることができる。					調査対象外
CEFR270	B2.1	やりとり	情報交換する	どのような手順で遂行するか、明確な細かい指示を与えることができる。					調査対象外
CEFR271	B2.1	やりとり	情報交換する	多くの情報源からの情報と論拠を統合して報告できる。					調査対象外
CEFR272	B1.2	やりとり	情報交換する	ある程度の自信を持って、自分の専門分野の身近な日常、また非日常的な事柄について、集めた事実情報を、交換、チェックし、確認できる。					調査対象外
CEFR273	B1.2	やりとり	情報交換する	細かい指示をしながら、やり方を説明することができる。	○	○	○		
CEFR274	B1.2	やりとり	情報交換する	短い物語、記事、スピーチ、討議、インタビュー、ドキュメンタリーをまとめ、自分の意見を示すことができる。またさらに細部に関する質問に答えることができる。					調査対象外
CEFR275	B1.1	やりとり	情報交換する	事実に基づく簡単な情報を見つけ出し、人に伝えることができる。					調査対象外
CEFR276	B1.1	やりとり	情報交換する	詳細な説明を求め、理解できる。	○	○	○		

整番	レベル	言語活動	カテゴリー	Can-do本文（日本語）	本件調査グループ1	本件調査グループ2	本件調査グループ3	本件調査グループ4	
CEFR277	B1.1	やりとり	情報交換する	さらに細かい情報を得ることができる。					調査対象外
CEFR278	A2.2	やりとり	情報交換する	あまり苦勞しないで簡単な日常の対話をこなしていくだけの理解はできる。					調査対象外
CEFR279	A2.2	やりとり	情報交換する	毎日の実際的な要求に対処できる。事実に基づく簡単な情報を見つけ出し、人に伝えることができる。					調査対象外
CEFR280	A2.2	やりとり	情報交換する	習慣や日常の仕事について質問をし、答えることができる。					調査対象外
CEFR281	A2.2	やりとり	情報交換する	娯楽や過去の活動について質問をし、答えることができる。		○			
CEFR282	A2.2	やりとり	情報交換する	簡単な説明や指示を与えたり、理解することができる。例：どこかへの行き方を説明する。					調査対象外
CEFR283	A2.1	やりとり	情報交換する	直接的な情報交換を求めたり、日常の簡単な課題についてやり取りができる。					調査対象外
CEFR284	A2.1	やりとり	情報交換する	身近な日常的作業について情報のある程度まで交換できる。					調査対象外
CEFR285	A2.1	やりとり	情報交換する	仕事中や自由時間にすることについて質問をしたり、答えたりすることができる。					調査対象外
CEFR286	A2.1	やりとり	情報交換する	地図や図面を参照しながら目的地を聞いたり、答えたりすることができる。					調査対象外
CEFR287	A2.1	やりとり	情報交換する	個人的な情報を求めたり、提供したりできる。	○	○			
CEFR288	A1	やりとり	情報交換する	自分に向けられた、注意深く、ゆっくり表現された質問や説明が理解できる。短い簡潔な指示を理解できる。					調査対象外
CEFR289	A1	やりとり	情報交換する	簡単な質問を聞いたり、答えたりすることができる。直接必要なこと、もしくはごく身近な話題についての簡単なことを、自分から言ったり、相手の言ったことに反応できる。					調査対象外
CEFR290	A1	やりとり	情報交換する	自分自身や他人の住まい、知人、所有物などについて質問を受けたり、答えたりすることができる。					調査対象外
CEFR291	A1	やりとり	情報交換する	「来週、前の金曜日、11月には、3時」などの表現を用いて時を知らせることができる。	○				
CEFR292	C2	やりとり	インタビューする／受ける	きわめて上手に対話の一方を務めることができる。他の話者と比べても引けをとらず、インタビューする人かインタビューを受ける人として、堂々と、非常に流暢に話や対話を組み立てることができる。					○
CEFR293	C1	やりとり	インタビューする／受ける	インタビューする人としてもインタビューを受ける側としても、インタビューに完全に参加することができる。助け船を出さなくとも、なめらかに議論点を発展させることができ、間投詞やあいづちもうまく使える。			○	○	
CEFR294	B2.2	やりとり	インタビューする／受ける	インタビューをなめらかに効果的に行うことができる。相手の興味深い返答を取り上げ、用意した質問を自発的に変えるなどして、さらに興味深い答えを引き出すことができる。		○	○		
CEFR295	B2.1	やりとり	インタビューする／受ける	インタビューを受けるとき、相手に助けてもらったり、水を向けてもらわなくても、イニシアティブをとってアイデアを伸長、伸展させることができる。					調査対象外
CEFR296	B1.2	やりとり	インタビューする／受ける	インタビューや診察（例：医者に症状を説明する）で正確さは限られるものの、必要とされる具体的な情報を提供することはできる。	○				
CEFR297	B1.2	やりとり	インタビューする／受ける	もし相手が答えを早口で言ったり、長かったりすると、時には繰り返しを求めることもあるが、情報をチェックし、確認しながら用意されたインタビューをやり遂げることができる。					調査対象外
CEFR298	B1.1	やりとり	インタビューする／受ける	インタビューや協議（例：新しい話題を始める）で、対話の相手に頼るところが大きいものの、いくらかイニシアティブをとることができる。					調査対象外
CEFR299	B1.1	やりとり	インタビューする／受ける	組み立てられたインタビューをやり遂げるために、あらかじめ用意した質問用紙を使うことができ、相手の答えを受けてそれに続くような質問をいくつかは出すことができる。					調査対象外

整番	レベル	言語活動	カテゴリー	Can-do本文（日本語）	本件調査グループ1	本件調査グループ2	本件調査グループ3	本件調査グループ4	
CEFR300	A2.2	やりとり	インタビューする／受ける	もし時々説明を求めたり、自分が言いたいことを表現する手助けが得られれば、インタビューで自分の言いたいことを相手に理解させられるし、身近な話題についての考えや情報を伝えることができる。					調査対象外
CEFR301	A2.1	やりとり	インタビューする／受ける	インタビューで簡単な質問に答えたり、簡単な意見表明ができる。					調査対象外
CEFR302	A1	やりとり	インタビューする／受ける	個人的なことについて、慣用句的な言葉遣いもなく、ごくゆっくりとはっきりと話してもらえるなら、簡単かつ直接的な質問に答えることができる。	○				
CEFR303	C1	書く	文書でのやりとり全般	自分が述べたいことをはっきりと正確に表現することができ、相手に対して、柔軟に効果的に対応することができる。			○	○	
CEFR304	B2	書く	文書でのやりとり全般	ニュースや視点を効果的に書き表し、他の人の書いたものにも関連づけることができる。		○	○	○	
CEFR305	B1	書く	文書でのやりとり全般	具体的な話題だけでなく、抽象的な話題についても情報や意見を伝えることができる。情報をチェックし、問題について適度の詳しさを尋ねたり、説明できる。	○				
CEFR306	B1	書く	文書でのやりとり全般	直接的に関連のある簡単な情報を求めたり伝えたりする個人的な手紙、覚書を書くことができ、自分が重要だと思う点を相手に理解させることができる。	○	○	○		
CEFR307	A2	書く	文書でのやりとり全般	直接必要な分野の事柄について、決まり文句を用いて、短い簡単な覚書を書くことができる。	○	○			
CEFR308	A1	書く	文書でのやりとり全般	書面で個人的な具体的情報を求めたり、伝えることができる。	○				
CEFR309	C1	書く	手紙やメールのやりとりをする	個人的な通信の中で、自分が伝えたいことをはっきりと正確に表現することができ、感情表現や、ほのめかしや、冗談を交えながら、柔軟で効果的な言葉遣いができる。			○	○	
CEFR310	B2	書く	手紙やメールのやりとりをする	感情の度合いを伝え、出来事や経験を持つ個人的な重要性を強調しながら、相手の近況や考え方などに言及する手紙を書くことができる。		○		○	
CEFR311	B1.2	書く	手紙やメールのやりとりをする	出来事を伝え、音楽や映画のような抽象的、文化的話題についても、自分の意見を表現する個人的な手紙を書くことができる。	○	○	○		
CEFR312	B1.1	書く	手紙やメールのやりとりをする	経験、感情や出来事を多少詳細に記した個人的な手紙を書くことができる。	○	○	○		
CEFR313	A2	書く	手紙やメールのやりとりをする	感謝と謝罪を表現するごく簡単な個人的な手紙を書くことができる。	○	○			
CEFR314	A1	書く	手紙やメールのやりとりをする	短い簡単な覚書を書くことができる。	○				
CEFR315	B1.2	書く	記録、メッセージ、書式	問い合わせや、問題を説明したメッセージを記録できる。	○		○		
CEFR316	B1.1	書く	記録、メッセージ、書式	自分の日常生活の中で重要な役割を果たす友人たち、サービス関係者、教師や他の人々に、直接伝える情報を簡単なメモに書き、重要と考える点を分けるよう伝えることができる。					調査対象外
CEFR317	A2	書く	記録、メッセージ、書式	もし、繰り返しや言い直しを求めることが可能なら、短い、簡単なメッセージを受け取ることができる。	○	○			
CEFR318	A2	書く	記録、メッセージ、書式	直接必要なことの要件についての短い、簡単なメモやメッセージを書くことができる。	○				
CEFR319	A1	書く	記録、メッセージ、書式	ホテルの予約用紙などに、数、日付、自分の名前、国籍、住所、年、生年月日、入国日などを書くことができる。	○				



## 付録2 調査票

### 文化庁国語課 言語能力記述文に関するアンケート調査 日本語でどんなことができますか？

このアンケート調査は、文化庁国語課が言語能力記述文の正確さを調査するために行うものです。現在、日本語であなたができることについて、質問に答えてください。あなたの日本語能力をテストしたり、成績をつけたりするために行うものではありません。ご協力をお願いいたします。

学校、日本語教室の名前 ( )

名前 ( )

出身国 ( )

母語 ( )

#### 1. あなたの日本語能力などについて

(1) 今、あなたが持っている日本語の資格(JLPT N3など)と取得年月日を書いてください。

① 資格名 ( )

② レベル、点数 ( )

③ 取得年月日 ( )

(2) 日本語学習歴 ( )年( )か月

(3) 日本在住歴 ( )年( )か月

#### 2. 言語能力記述文についてのアンケート調査について

(1) 記入方法

次の言語能力記述文を読んで「1. できない」、「2. あまりできない」、「3 難しいがなんとかできる」、「4 できる」の選択肢の中で、最もふさわしいものを選んでください。

(2) 注意

- ① それぞれの言語能力記述文について、**日本語でできるかどうか**について答えてください。
- ② それぞれの言語能力記述文で記されている言語活動について、実際に経験がない場合はもし、その場面に会ったらできるかどうかについて、想像して回答してください。
- ③ このアンケートは途中でセーブができません。回答を始めたら、途中でやめずに全ての質問に答えてください。その後、一番最後の「送信する」を押してください。

	言語能力記述文 (日本語)	言語能力記述文 (OO語)	日本語でできますか 1 できない 2 あまりできない 3 難しいがなんとかできる 4 できる
1			1 2 3 4
~			
100			1 2 3 4

送信する

調査は以上です。ご協力ありがとうございました。ページを閉じる前に「送信する」を押してください。

付録3 グループ1 記述統計

GI	Cando	サンプル数	平均値	標準偏差	中央値	最小値	最大値	レンジ	標準誤差	選択肢1	選択肢2	選択肢3	選択肢4	選択率%	選択率%	選択率%	選択率%
Q1	CFR008	524	3.10	0.74	3	1	4	3	0.03	11	84	268	161	2.10	16.03	51.15	30.73
Q2	CFR009	524	3.09	0.77	3	1	4	3	0.03	13	94	250	167	2.48	17.94	47.71	31.87
Q3	CFR010	524	3.20	0.78	3	1	4	3	0.03	10	89	212	213	1.91	16.98	40.46	40.65
Q4	CFR011	524	3.35	0.72	3	1	4	3	0.03	10	47	218	249	1.91	8.97	41.60	47.52
Q5	CFR012	524	3.31	0.76	3	1	4	3	0.03	9	66	201	248	1.72	12.60	38.36	47.33
Q6	CFR016	524	2.88	0.82	3	1	4	3	0.04	24	137	241	122	4.58	26.15	45.99	23.28
Q7	CFR017	524	3.09	0.77	3	1	4	3	0.03	13	93	252	166	2.48	17.75	48.09	31.68
Q8	CFR021	524	2.89	0.92	3	1	4	3	0.04	47	113	217	147	8.97	21.56	41.41	28.05
Q9	CFR022	524	3.11	0.82	3	1	4	3	0.04	19	95	219	191	3.63	18.13	41.79	36.45
Q10	CFR026	524	3.14	0.87	3	1	4	3	0.04	32	70	216	206	6.11	13.36	41.22	39.31
Q11	CFR027	524	2.97	0.87	3	1	4	3	0.04	35	100	237	152	6.68	19.08	45.23	29.01
Q12	CFR028	524	3.24	0.80	3	1	4	3	0.03	14	76	206	228	2.67	14.50	39.31	43.51
Q13	CFR029	524	3.44	0.72	4	1	4	3	0.03	9	43	181	291	1.72	8.21	34.54	55.53
Q14	CFR030	524	3.37	0.71	3	1	4	3	0.03	10	41	216	257	1.91	7.82	41.22	49.05
Q15	CFR034	524	2.73	0.84	3	1	4	3	0.04	41	153	237	93	7.82	29.20	45.23	17.75
Q16	CFR035	524	2.69	0.89	3	1	4	3	0.04	50	162	212	100	9.54	30.92	40.46	19.08
Q17	CFR036	524	2.89	0.85	3	1	4	3	0.04	33	120	242	129	6.30	22.90	46.18	24.62
Q18	CFR041	524	2.71	0.86	3	1	4	3	0.04	49	148	235	92	9.35	28.24	44.85	17.56
Q19	CFR042	524	3.07	0.82	3	1	4	3	0.04	21	93	236	174	4.01	17.75	45.04	33.21
Q20	CFR043	524	3.03	0.84	3	1	4	3	0.04	28	92	241	163	5.34	17.56	45.99	31.11
Q21	CFR044	524	3.35	0.70	3	1	4	3	0.03	6	51	221	246	1.15	9.73	42.18	46.95
Q22	CFR047	524	2.81	0.89	3	1	4	3	0.04	43	136	223	122	8.21	25.95	42.56	23.28
Q23	CFR048	524	2.72	0.91	3	1	4	3	0.04	58	134	227	105	11.07	25.57	43.32	20.04
Q24	CFR049	524	3.04	0.92	3	1	4	3	0.04	37	100	192	195	7.06	19.08	36.64	37.21
Q25	CFR050	524	3.10	0.83	3	1	4	3	0.04	19	101	215	189	3.63	19.27	41.03	36.07
Q26	CFR053	524	2.59	0.88	3	1	4	3	0.04	66	154	232	72	12.60	29.39	44.27	13.74
Q27	CFR054	524	2.70	0.87	3	1	4	3	0.04	47	159	220	98	8.97	30.34	41.98	18.70
Q28	CFR055	524	2.86	0.88	3	1	4	3	0.04	36	135	218	135	6.87	25.76	41.60	25.76
Q29	CFR057	524	3.29	0.78	3	1	4	3	0.03	12	68	200	244	2.29	12.98	38.17	46.56
Q30	CFR058	524	3.25	0.78	3	1	4	3	0.03	11	77	207	229	2.10	14.69	39.50	43.70
Q31	CFR063	524	2.55	0.93	3	1	4	3	0.04	79	161	203	81	15.08	30.73	38.74	15.46
Q32	CFR065	524	2.56	0.95	3	1	4	3	0.04	82	160	191	91	15.65	30.53	36.45	17.37
Q33	CFR066	524	2.70	0.90	3	1	4	3	0.04	54	153	215	102	10.31	29.20	41.03	19.47
Q34	CFR067	524	3.06	0.85	3	1	4	3	0.04	30	82	236	176	5.73	15.65	45.04	33.59
Q35	CFR070	524	2.91	0.86	3	1	4	3	0.04	37	108	242	137	7.06	20.61	46.18	26.15
Q36	CFR071	524	3.23	0.80	3	1	4	3	0.03	17	70	212	225	3.24	13.36	40.46	42.94
Q37	CFR073	524	3.33	0.78	3	1	4	3	0.03	15	56	192	261	2.86	10.69	36.64	49.81
Q38	CFR088	524	3.23	0.82	3	1	4	3	0.04	16	81	194	233	3.05	15.46	37.02	44.47
Q39	CFR093	524	2.99	0.87	3	1	4	3	0.04	31	107	220	166	5.92	20.42	41.98	31.68
Q40	CFR095	524	2.80	0.86	3	1	4	3	0.04	43	125	248	108	8.21	23.85	47.33	20.61
Q41	CFR096	524	2.54	0.87	3	1	4	3	0.04	62	186	207	69	11.83	35.50	39.50	13.17
Q42	CFR097	524	2.46	0.88	3	1	4	3	0.04	80	181	207	56	15.27	34.54	39.50	10.69
Q43	CFR099	524	2.55	0.91	3	1	4	3	0.04	74	166	204	80	14.12	31.68	38.93	15.27
Q44	CFR100	524	2.42	0.95	2	1	4	3	0.04	105	158	196	65	20.04	30.15	37.40	12.40
Q45	CFR101	524	2.82	0.85	3	1	4	3	0.04	41	121	251	111	7.82	23.09	47.90	21.18
Q46	CFR103	524	2.91	0.89	3	1	4	3	0.04	40	111	227	146	7.63	21.18	43.32	27.86
Q47	CFR104	524	2.82	0.89	3	1	4	3	0.04	47	122	231	124	8.97	23.28	44.08	23.66
Q48	CFR105	524	3.46	0.72	4	1	4	3	0.03	8	48	165	303	1.53	9.16	31.49	57.82
Q49	CFR106	524	3.28	0.78	3	1	4	3	0.03	14	65	203	222	2.67	12.40	38.74	46.18
Q50	CFR107	524	3.19	0.85	3	1	4	3	0.04	26	73	203	242	4.96	13.93	38.74	42.37
Q51	CFR108	524	3.47	0.72	4	1	4	3	0.03	8	45	165	306	1.53	8.59	31.49	58.40
Q52	CFR114	524	2.95	0.87	3	1	4	3	0.04	36	104	235	149	6.87	19.85	44.85	28.44

G1	Cando	サンプル数	平均値	標準偏差	中央値	最小値	最大値	レンジ	標準誤差	選択肢1	選択肢2	選択肢3	選択肢4	選択率%	選択率%	選択率%	選択率%
Q53	CEFR118	524	2.87	0.85	3	1	4	3	0.04	33	126	239	126	6.30	24.05	45.61	24.05
Q54	CEFR127	524	2.63	0.90	3	1	4	3	0.04	62	159	214	89	11.83	30.34	40.84	16.98
Q55	CEFR130	524	2.91	0.85	3	1	4	3	0.04	30	122	236	136	5.73	23.28	45.04	25.95
Q56	CEFR132	524	3.04	0.82	3	1	4	3	0.04	22	99	241	162	4.20	18.89	45.99	30.92
Q57	CEFR133	524	3.13	0.87	3	1	4	3	0.04	29	81	207	207	5.53	15.46	39.50	39.50
Q58	CEFR138	524	3.21	0.85	3	1	4	3	0.04	21	81	187	235	4.01	15.46	35.69	44.85
Q59	CEFR139	524	3.05	0.87	3	1	4	3	0.04	26	110	201	187	4.96	20.99	38.36	35.69
Q60	CEFR145	524	2.79	0.89	3	1	4	3	0.04	47	133	229	115	8.97	25.38	43.70	21.95
Q61	CEFR146	524	2.75	0.94	3	1	4	3	0.04	59	134	210	121	11.26	25.57	40.08	23.09
Q62	CEFR149	524	2.80	0.90	3	1	4	3	0.04	46	139	215	124	8.78	26.53	41.03	23.66
Q63	CEFR150	524	2.89	0.87	3	1	4	3	0.04	34	129	222	139	6.49	24.62	42.37	26.53
Q64	CEFR151	524	3.04	0.85	3	1	4	3	0.04	27	99	222	176	5.15	18.89	42.37	33.59
Q65	CEFR153	524	2.94	0.90	3	1	4	3	0.04	35	122	204	163	6.68	23.28	38.93	31.11
Q66	CEFR173	524	3.07	0.81	3	1	4	3	0.04	18	102	231	173	3.44	19.47	44.08	33.02
Q67	CEFR180	524	3.16	0.78	3	1	4	3	0.03	14	81	238	191	2.67	15.46	45.42	36.45
Q68	CEFR181	524	3.06	0.82	3	1	4	3	0.04	21	100	230	173	4.01	19.08	43.89	33.02
Q69	CEFR191	524	3.27	0.81	3	1	4	3	0.04	14	76	187	247	2.67	14.50	35.69	47.14
Q70	CEFR193	524	2.95	0.82	3	1	4	3	0.04	24	118	244	138	4.58	22.52	46.56	26.34
Q71	CEFR201	524	3.17	0.83	3	1	4	3	0.04	20	83	211	210	3.82	15.84	40.27	40.08
Q72	CEFR218	524	3.32	0.77	3	1	4	3	0.03	13	58	199	254	2.48	11.07	37.98	48.47
Q73	CEFR243	524	3.09	0.81	3	1	4	3	0.04	16	102	225	181	3.05	19.47	42.94	34.54
Q74	CEFR250	524	3.21	0.72	3	1	4	3	0.03	8	70	251	195	1.53	13.36	47.90	37.21
Q75	CEFR257	524	2.91	0.89	3	1	4	3	0.04	39	118	219	148	7.44	22.52	41.79	28.24
Q76	CEFR258	524	3.23	0.82	3	1	4	3	0.04	20	71	203	230	3.82	13.55	38.74	43.89
Q77	CEFR260	524	3.10	0.88	3	1	4	3	0.04	28	93	201	202	5.34	17.75	38.36	38.55
Q78	CEFR263	524	3.26	0.80	3	1	4	3	0.03	15	71	203	235	2.86	13.55	38.74	44.85
Q79	CEFR266	524	3.11	0.78	3	1	4	3	0.03	12	97	234	181	2.29	18.51	44.66	34.54
Q80	CEFR273	524	2.71	0.89	3	1	4	3	0.04	56	138	234	96	10.69	26.34	44.66	18.32
Q81	CEFR276	524	2.89	0.87	3	1	4	3	0.04	42	107	243	132	8.02	20.42	46.37	25.19
Q82	CEFR287	524	3.23	0.80	3	1	4	3	0.04	18	68	211	227	3.44	12.98	40.27	43.32
Q83	CEFR291	524	3.52	0.71	4	1	4	3	0.03	8	43	144	329	1.53	8.21	27.48	62.79
Q84	CEFR296	524	2.84	0.86	3	1	4	3	0.04	42	115	252	115	8.02	21.95	48.09	21.95
Q85	CEFR302	524	3.08	0.84	3	1	4	3	0.04	24	91	227	182	4.58	17.37	43.32	34.73
Q86	CEFR305	524	2.54	0.88	3	1	4	3	0.04	71	166	221	66	13.55	31.68	42.18	12.60
Q87	CEFR306	524	2.57	0.91	3	1	4	3	0.04	73	158	212	81	13.93	30.15	40.46	15.46
Q88	CEFR307	524	2.79	0.88	3	1	4	3	0.04	44	139	225	116	8.40	26.53	42.94	22.14
Q89	CEFR308	524	2.80	0.89	3	1	4	3	0.04	47	128	232	117	8.97	24.43	44.27	22.33
Q90	CEFR311	524	2.41	0.92	2	1	4	3	0.04	97	172	196	59	18.51	32.82	37.40	11.26
Q91	CEFR312	524	2.54	0.93	3	1	4	3	0.04	82	153	212	77	15.65	29.20	40.46	14.69
Q92	CEFR313	524	3.10	0.88	3	1	4	3	0.04	32	84	209	199	6.11	16.03	39.89	37.98
Q93	CEFR314	524	3.17	0.88	3	1	4	3	0.04	30	75	194	225	5.73	14.31	37.02	42.94
Q94	CEFR315	524	2.76	0.89	3	1	4	3	0.04	50	139	224	111	9.54	26.53	42.75	21.18
Q95	CEFR317	524	3.02	0.82	3	1	4	3	0.04	26	91	251	156	4.96	17.37	47.90	29.77
Q96	CEFR318	524	2.93	0.90	3	1	4	3	0.04	43	102	228	151	8.21	19.47	43.51	28.82
Q97	CEFR319	524	3.52	0.70	4	1	4	3	0.03	9	37	149	329	1.72	7.06	28.44	62.79

付録4 グループ2 記述統計

G2	Gando	サンプル数	平均値	標準偏差	中央値	最小値	最大値	レンジ	標準偏差	選択肢1	選択肢2	選択肢3	選択肢4	選択率%	選択率%	選択率%	選択率%
Q1	CEFR006	327	2.59	0.79	3	1	4	3	0.04	32	101	164	30	9.79	30.89	50.15	9.17
Q2	CEFR009	327	3.46	0.68	4	1	4	3	0.04	7	13	129	178	2.14	3.98	39.45	54.43
Q3	CEFR010	327	3.65	0.59	4	1	4	3	0.03	3	11	82	231	0.92	3.36	25.08	70.64
Q4	CEFR011	327	3.64	0.58	4	1	4	3	0.03	3	9	91	224	0.92	2.75	27.83	68.50
Q5	CEFR014	327	2.77	0.82	3	1	4	3	0.05	23	87	160	57	7.03	26.61	48.93	17.43
Q6	CEFR015	327	3.04	0.82	3	1	4	3	0.05	12	67	143	105	3.67	20.49	43.73	32.11
Q7	CEFR016	327	3.14	0.76	3	1	4	3	0.04	7	53	153	114	2.14	16.21	46.79	34.86
Q8	CEFR017	327	3.53	0.63	4	1	4	3	0.03	3	15	114	195	0.92	4.59	34.86	59.63
Q9	CEFR020	327	2.53	0.87	3	1	4	3	0.05	45	103	141	38	13.76	31.50	43.12	11.62
Q10	CEFR021	327	3.28	0.80	3	1	4	3	0.04	11	37	128	151	3.36	11.31	39.14	46.18
Q11	CEFR022	327	3.59	0.65	4	1	4	3	0.04	5	14	90	218	1.53	4.28	27.52	66.67
Q12	CEFR026	327	3.38	0.73	4	1	4	3	0.04	6	30	126	165	1.83	9.17	38.53	50.46
Q13	CEFR027	327	3.26	0.75	3	1	4	3	0.04	10	31	150	136	3.06	9.48	45.87	41.59
Q14	CEFR028	327	3.63	0.59	4	1	4	3	0.03	1	15	88	223	0.31	4.59	26.91	68.20
Q15	CEFR029	327	3.66	0.59	4	1	4	3	0.03	3	11	79	234	0.92	3.36	24.16	71.56
Q16	CEFR032	327	2.86	0.82	3	1	4	3	0.05	17	85	151	74	5.20	25.99	46.18	22.63
Q17	CEFR033	327	2.86	0.88	3	1	4	3	0.05	29	65	156	77	8.87	19.88	47.71	23.55
Q18	CEFR034	327	3.04	0.83	3	1	4	3	0.05	13	66	142	106	3.98	20.18	43.43	32.42
Q19	CEFR035	327	3.29	0.81	3	1	4	3	0.04	11	40	120	156	3.36	12.23	36.70	47.71
Q20	CEFR036	327	3.44	0.69	4	1	4	3	0.04	5	23	123	176	1.53	7.03	37.61	53.82
Q21	CEFR040	327	2.75	0.87	3	1	4	3	0.05	30	83	152	62	9.17	25.38	46.48	18.96
Q22	CEFR041	327	3.04	0.83	3	1	4	3	0.05	13	66	143	105	3.98	20.18	43.73	32.11
Q23	CEFR042	327	3.46	0.69	4	1	4	3	0.04	4	25	113	185	1.22	7.65	34.56	56.57
Q24	CEFR043	327	3.30	0.77	3	1	4	3	0.04	7	41	127	152	2.14	12.54	38.84	46.48
Q25	CEFR046	327	3.21	0.77	3	1	4	3	0.04	6	52	137	132	1.83	15.90	41.90	40.37
Q26	CEFR047	327	3.28	0.79	3	1	4	3	0.04	10	40	127	150	3.06	12.23	38.84	45.87
Q27	CEFR048	327	3.31	0.80	3	1	4	3	0.04	9	42	116	160	2.75	12.84	35.47	48.93
Q28	CEFR052	327	2.77	0.88	3	1	4	3	0.05	30	83	146	68	9.17	25.38	44.65	20.80
Q29	CEFR054	327	3.14	0.84	3	1	4	3	0.05	15	50	135	127	4.59	15.29	41.28	38.84
Q30	CEFR055	327	3.32	0.77	3	1	4	3	0.04	8	37	123	159	2.45	11.31	37.61	48.62
Q31	CEFR061	327	3.10	0.86	3	1	4	3	0.05	19	49	140	119	5.81	14.98	42.81	36.39
Q32	CEFR062	327	2.72	0.89	3	1	4	3	0.05	34	86	145	62	10.40	26.30	44.34	18.96
Q33	CEFR063	327	2.77	0.93	3	1	4	3	0.05	39	68	148	72	11.93	20.80	45.26	22.02
Q34	CEFR064	327	2.79	0.86	3	1	4	3	0.05	31	70	164	62	9.48	21.41	50.15	18.96
Q35	CEFR065	327	3.09	0.88	3	1	4	3	0.05	20	54	131	122	6.12	16.51	40.06	37.31
Q36	CEFR066	327	3.26	0.81	3	1	4	3	0.04	11	43	124	149	3.36	13.15	37.92	45.57
Q37	CEFR069	327	2.77	0.90	3	1	4	3	0.05	35	74	150	68	10.70	22.63	45.87	20.80
Q38	CEFR070	327	3.19	0.83	3	1	4	3	0.05	14	44	134	135	4.28	13.46	40.98	41.28
Q39	CEFR071	327	3.59	0.60	4	1	4	3	0.03	1	17	97	212	0.31	5.20	29.66	64.83
Q40	CEFR072	327	3.49	0.68	4	1	4	3	0.04	2	29	103	193	0.61	8.87	31.50	59.02
Q41	CEFR085	327	2.77	0.87	3	1	4	3	0.05	34	67	165	61	10.40	20.49	50.46	18.65
Q42	CEFR086	327	2.80	0.90	3	1	4	3	0.05	31	78	144	74	9.48	23.85	44.04	22.63
Q43	CEFR087	327	3.37	0.72	3	1	4	3	0.04	7	26	133	161	2.14	7.95	40.67	49.24
Q44	CEFR092	327	2.99	0.78	3	1	4	3	0.04	14	59	169	85	4.28	18.04	51.68	25.99
Q45	CEFR095	327	3.09	0.79	3	1	4	3	0.04	13	50	158	106	3.98	15.29	48.32	32.42
Q46	CEFR096	327	2.88	0.81	3	1	4	3	0.04	19	72	166	70	5.81	22.02	50.76	21.41
Q47	CEFR097	327	2.84	0.87	3	1	4	3	0.05	25	77	149	76	7.65	23.55	45.57	23.24
Q48	CEFR099	327	2.85	0.84	3	1	4	3	0.05	26	66	167	68	7.95	20.18	51.07	20.80
Q49	CEFR100	327	2.93	0.86	3	1	4	3	0.05	23	64	153	87	7.03	19.57	46.79	26.61
Q50	CEFR101	327	3.24	0.76	3	1	4	3	0.04	8	41	144	134	2.45	12.54	44.04	40.98
Q51	CEFR104	327	3.22	0.77	3	1	4	3	0.04	10	38	150	129	3.06	11.62	45.87	39.45

G2	Cando	サンプル数	平均値	標準偏差	中央値	最小値	最大値	レンジ	標準誤差	選択肢1	選択肢2	選択肢3	選択肢4	選択率%	選択率%	選択率%	選択率%
052	CEFR105	327	3.69	0.59	4	1	4	3	0.03	3	13	67	244	0.92	3.98	20.49	74.62
053	CEFR106	327	3.61	0.66	4	1	4	3	0.04	5	16	81	225	1.53	4.89	24.77	68.81
054	CEFR109	327	2.74	0.88	3	1	4	3	0.05	32	84	147	64	9.79	25.69	44.95	19.57
055	CEFR111	327	2.63	0.84	3	1	4	3	0.05	36	89	161	41	11.01	27.22	49.24	12.54
056	CEFR112	327	2.85	0.86	3	1	4	3	0.05	24	76	153	74	7.34	23.24	46.79	22.63
057	CEFR114	327	3.08	0.83	3	1	4	3	0.05	14	57	145	111	4.28	17.43	44.34	33.94
058	CEFR123	327	2.67	0.88	3	1	4	3	0.05	37	85	153	52	11.31	25.99	46.79	15.90
059	CEFR129	327	3.10	0.81	3	1	4	3	0.04	13	54	147	113	3.98	16.51	44.95	34.56
060	CEFR131	327	3.33	0.78	3	1	4	3	0.04	11	29	129	158	3.36	8.87	39.45	48.32
061	CEFR137	327	2.94	0.86	3	1	4	3	0.05	21	69	145	92	6.42	21.10	44.34	28.13
062	CEFR143	327	2.89	0.82	3	1	4	3	0.05	21	66	167	73	6.42	20.18	51.07	22.32
063	CEFR145	327	3.07	0.86	3	1	4	3	0.05	19	53	142	113	5.81	16.21	43.43	34.56
064	CEFR146	327	3.16	0.85	3	1	4	3	0.05	17	45	134	131	5.20	13.76	40.98	40.06
065	CEFR149	327	3.13	0.82	3	1	4	3	0.05	17	42	151	117	5.20	12.84	46.18	35.78
066	CEFR150	327	3.28	0.80	3	1	4	3	0.04	12	34	131	150	3.67	10.40	40.06	45.87
067	CEFR151	327	3.43	0.67	4	1	4	3	0.04	3	23	130	171	0.92	7.03	39.76	52.29
068	CEFR152	327	2.60	0.95	3	1	4	3	0.05	49	93	125	60	14.98	28.44	38.23	18.35
069	CEFR158	327	2.47	0.94	3	1	4	3	0.05	63	88	135	41	19.27	26.91	41.28	12.54
070	CEFR160	327	2.59	0.90	3	1	4	3	0.05	45	91	145	46	13.76	27.83	44.34	14.07
071	CEFR161	327	2.85	0.90	3	1	4	3	0.05	33	60	156	78	10.09	18.35	47.71	23.85
072	CEFR162	327	3.14	0.87	3	1	4	3	0.05	17	53	125	132	5.20	16.21	38.23	40.37
073	CEFR167	327	2.43	0.91	3	1	4	3	0.05	60	101	131	35	18.35	30.89	40.06	10.70
074	CEFR180	327	3.40	0.79	4	1	4	3	0.04	12	26	108	181	3.67	7.95	33.03	55.35
075	CEFR186	327	2.91	0.84	3	1	4	3	0.05	19	74	153	81	5.81	22.63	46.79	24.77
076	CEFR187	327	2.97	0.81	3	1	4	3	0.04	18	58	166	85	5.50	17.74	50.76	25.99
077	CEFR191	327	3.35	0.79	4	1	4	3	0.04	13	25	123	166	3.98	7.65	37.61	50.76
078	CEFR193	327	3.11	0.77	3	1	4	3	0.04	12	44	166	105	3.67	13.46	50.76	32.11
079	CEFR206	327	2.78	0.82	3	1	4	3	0.05	24	81	166	56	7.34	24.77	50.76	17.13
080	CEFR212	327	3.32	0.75	3	1	4	3	0.04	10	26	139	152	3.06	7.95	42.51	46.48
081	CEFR215	327	3.32	0.75	3	1	4	3	0.04	9	29	138	151	2.75	8.87	42.20	46.18
082	CEFR218	327	3.55	0.63	4	1	4	3	0.04	3	16	107	201	0.92	4.89	32.72	61.47
083	CEFR243	327	3.37	0.73	3	1	4	3	0.04	6	30	129	162	1.83	9.17	39.45	49.54
084	CEFR252	327	2.59	0.90	3	1	4	3	0.05	42	101	132	52	12.84	30.89	40.37	15.90
085	CEFR257	327	3.17	0.84	3	1	4	3	0.05	14	50	128	135	4.28	15.29	39.14	41.28
086	CEFR258	327	3.61	0.62	4	1	4	3	0.03	3	14	91	219	0.92	4.28	27.83	66.97
087	CEFR265	327	3.70	0.52	4	1	4	3	0.03	1	7	80	239	0.31	2.14	24.46	73.09
088	CEFR273	327	3.06	0.80	3	1	4	3	0.04	15	51	160	101	4.59	15.60	48.93	30.89
089	CEFR276	327	3.29	0.74	3	1	4	3	0.04	6	37	139	145	1.83	11.31	42.51	44.34
090	CEFR281	327	3.40	0.70	4	1	4	3	0.04	5	25	132	165	1.53	7.65	40.37	50.46
091	CEFR287	327	3.61	0.59	4	1	4	3	0.03	1	15	96	215	0.31	4.59	29.36	65.75
092	CEFR294	327	2.77	0.91	3	1	4	3	0.05	34	80	141	72	10.40	24.46	43.12	22.02
093	CEFR304	327	2.56	0.89	3	1	4	3	0.05	45	98	141	43	13.76	29.97	43.12	13.15
094	CEFR306	327	2.88	0.87	3	1	4	3	0.05	29	58	164	76	8.87	17.74	50.15	23.24
095	CEFR307	327	2.98	0.87	3	1	4	3	0.05	22	59	148	98	6.73	18.04	45.26	29.97
096	CEFR310	327	2.78	0.86	3	1	4	3	0.05	29	77	157	64	8.87	23.55	48.01	19.57
097	CEFR311	327	2.71	0.86	3	1	4	3	0.05	34	79	161	53	10.40	24.16	49.24	16.21
098	CEFR312	327	2.94	0.89	3	1	4	3	0.05	27	57	151	92	8.26	17.43	46.18	28.13
099	CEFR313	327	3.39	0.74	4	1	4	3	0.04	9	23	126	169	2.75	7.03	38.53	51.68
0100	CEFR317	327	3.39	0.73	4	1	4	3	0.04	9	22	127	169	2.75	6.73	38.84	51.68

付録5 グループ3 記述統計

Q3	Cando	サンプル数	平均値	標準偏差	中央値	最小値	最大値	レンジ	標準誤差	選択肢1	選択肢2	選択肢3	選択肢4	選択率%	選択率%	選択率%	
Q1	CEFR002	548	2.75	0.71	3	1	4	3	0.03	30	132	331	55	5.47	24.09	60.40	10.04
Q2	CEFR003	548	2.86	0.75	3	1	4	3	0.03	20	137	288	103	3.65	25.00	52.55	18.80
Q3	CEFR005	548	3.00	0.78	3	1	4	3	0.03	15	122	260	151	2.74	22.26	47.45	27.55
Q4	CEFR006	548	2.78	0.75	3	1	4	3	0.03	25	153	288	82	4.56	27.92	52.55	14.96
Q5	CEFR007	548	3.20	0.76	3	1	4	3	0.03	15	67	257	209	2.74	12.23	46.90	38.14
Q6	CEFR008	548	3.57	0.60	4	1	4	3	0.03	4	20	182	342	0.73	3.65	33.21	62.41
Q7	CEFR013	548	2.67	0.77	3	1	4	3	0.03	34	179	267	68	6.20	32.66	48.72	12.41
Q8	CEFR015	548	3.15	0.74	3	1	4	3	0.03	9	88	263	188	1.64	16.06	47.99	34.31
Q9	CEFR016	548	3.40	0.71	4	1	4	3	0.03	8	47	212	281	1.46	8.58	38.69	51.28
Q10	CEFR019	548	2.97	0.78	3	1	4	3	0.03	17	122	267	142	3.10	22.26	48.72	25.91
Q11	CEFR020	548	2.59	0.80	3	1	4	3	0.03	48	192	246	62	8.76	35.04	44.89	11.31
Q12	CEFR021	548	3.36	0.72	3	1	4	3	0.03	11	47	224	266	2.01	8.58	40.88	48.54
Q13	CEFR022	548	3.57	0.67	4	1	4	3	0.03	6	36	147	359	1.09	6.57	26.82	65.51
Q14	CEFR024	548	3.14	0.79	3	1	4	3	0.03	19	80	252	197	3.47	14.60	45.99	35.95
Q15	CEFR025	548	3.32	0.70	3	1	4	3	0.03	8	50	247	243	1.46	9.12	45.07	44.34
Q16	CEFR026	548	3.45	0.71	4	1	4	3	0.03	8	48	183	309	1.46	8.76	33.39	56.39
Q17	CEFR031	548	2.93	0.80	3	1	4	3	0.03	27	117	273	131	4.93	21.35	49.82	23.91
Q18	CEFR032	548	2.93	0.78	3	1	4	3	0.03	23	118	284	123	4.20	21.53	51.82	22.45
Q19	CEFR034	548	3.22	0.77	3	1	4	3	0.03	15	72	238	223	2.74	13.14	43.43	40.69
Q20	CEFR035	548	3.41	0.71	4	1	4	3	0.03	8	48	206	286	1.46	8.76	37.59	52.19
Q21	CEFR039	548	2.82	0.83	3	1	4	3	0.04	41	126	272	109	7.48	22.99	49.64	19.89
Q22	CEFR040	548	2.88	0.83	3	1	4	3	0.04	29	140	248	131	5.29	25.55	45.26	23.91
Q23	CEFR041	548	3.29	0.75	3	1	4	3	0.03	9	71	221	247	1.64	12.96	40.33	45.07
Q24	CEFR045	548	3.37	0.78	4	1	4	3	0.03	11	68	177	292	2.01	12.41	32.30	53.28
Q25	CEFR046	548	3.36	0.72	3	1	4	3	0.03	8	56	212	272	1.46	10.22	38.69	49.64
Q26	CEFR047	548	3.35	0.73	3	1	4	3	0.03	9	55	220	264	1.64	10.04	40.15	48.18
Q27	CEFR051	548	2.73	0.86	3	1	4	3	0.04	53	136	263	96	9.67	24.82	47.99	17.52
Q28	CEFR052	548	2.80	0.78	3	1	4	3	0.03	33	135	291	89	6.02	24.64	53.10	16.24
Q29	CEFR053	548	2.91	0.77	3	1	4	3	0.03	24	118	289	117	4.38	21.53	52.74	21.35
Q30	CEFR054	548	3.35	0.75	3	1	4	3	0.03	13	54	209	272	2.37	9.85	38.14	49.64
Q31	CEFR059	548	2.65	0.81	3	1	4	3	0.03	50	162	267	69	9.12	29.56	48.72	12.59
Q32	CEFR060	548	2.83	0.82	3	1	4	3	0.04	35	134	267	112	6.39	24.45	48.72	20.44
Q33	CEFR061	548	3.06	0.78	3	1	4	3	0.03	19	92	272	165	3.47	16.79	49.64	30.11
Q34	CEFR062	548	2.88	0.81	3	1	4	3	0.03	31	124	272	121	5.66	22.63	49.64	22.08
Q35	CEFR063	548	3.01	0.80	3	1	4	3	0.03	22	107	265	154	4.01	19.53	48.36	28.10
Q36	CEFR064	548	2.96	0.79	3	1	4	3	0.03	22	116	272	138	4.01	21.17	49.64	25.18
Q37	CEFR065	548	3.32	0.74	3	1	4	3	0.03	10	62	221	255	1.82	11.31	40.33	46.53
Q38	CEFR068	548	2.88	0.82	3	1	4	3	0.04	32	126	266	124	5.84	22.99	48.54	22.63
Q39	CEFR069	548	2.98	0.80	3	1	4	3	0.03	26	104	274	144	4.74	18.98	50.00	26.28
Q40	CEFR070	548	3.32	0.75	3	1	4	3	0.03	13	55	226	254	2.37	10.04	41.24	46.35
Q41	CEFR083	548	2.70	0.80	3	1	4	3	0.03	39	163	267	79	7.12	29.74	48.72	14.42
Q42	CEFR085	548	2.91	0.79	3	1	4	3	0.03	29	113	285	121	5.29	20.62	52.01	22.08
Q43	CEFR090	548	2.63	0.82	3	1	4	3	0.03	51	169	260	68	9.31	30.84	47.45	12.41
Q44	CEFR091	548	2.55	0.83	3	1	4	3	0.04	66	167	262	53	12.04	30.47	47.81	9.67
Q45	CEFR092	548	3.01	0.77	3	1	4	3	0.03	20	99	285	144	3.65	18.07	52.01	26.28
Q46	CEFR093	548	3.33	0.73	3	1	4	3	0.03	11	53	227	257	2.01	9.67	41.42	46.90
Q47	CEFR095	548	3.17	0.75	3	1	4	3	0.03	10	85	257	196	1.82	15.51	46.90	35.77
Q48	CEFR097	548	2.96	0.79	3	1	4	3	0.03	21	120	265	142	3.83	21.90	48.36	25.91
Q49	CEFR099	548	3.03	0.79	3	1	4	3	0.03	19	107	261	161	3.47	19.53	47.63	29.38
Q50	CEFR100	548	3.06	0.81	3	1	4	3	0.03	19	105	246	178	3.47	19.16	44.89	32.48
Q51	CEFR109	548	2.72	0.81	3	1	4	3	0.03	40	157	269	82	7.30	28.65	49.09	14.96

G3	Cando	サンプル数	平均値	標準偏差	中央値	最小値	最大値	レンジ	標準誤差	選択肢1	選択肢2	選択肢3	選択肢4	選択率%	選択率%	選択率%	選択率%
052	CEFR110	548	2.71	0.81	3	1	4	3	0.03	37	168	258	85	6.75	30.66	47.08	15.51
053	CEFR112	548	2.96	0.79	3	1	4	3	0.03	22	116	272	138	4.01	21.17	49.64	25.18
054	CEFR113	548	2.85	0.80	3	1	4	3	0.03	29	138	269	112	5.29	25.18	49.09	20.44
055	CEFR114	548	3.15	0.77	3	1	4	3	0.03	13	90	247	198	2.37	16.42	45.07	36.13
056	CEFR115	548	2.72	0.85	3	1	4	3	0.04	47	151	256	94	8.58	27.55	46.72	17.15
057	CEFR121	548	2.54	0.83	3	1	4	3	0.04	65	178	248	57	11.86	32.48	45.26	10.40
058	CEFR122	548	2.76	0.84	3	1	4	3	0.04	42	150	254	102	7.66	27.37	46.35	18.61
059	CEFR123	548	2.67	0.78	3	1	4	3	0.03	41	164	277	66	7.48	29.93	50.55	12.04
060	CEFR126	548	2.63	0.83	3	1	4	3	0.04	53	166	259	70	9.67	30.29	47.26	12.77
061	CEFR135	548	2.51	0.78	3	1	4	3	0.03	59	191	257	41	10.77	34.85	46.90	7.48
062	CEFR136	548	2.71	0.79	3	1	4	3	0.03	37	160	274	77	6.75	29.20	50.00	14.05
063	CEFR141	548	2.50	0.81	3	1	4	3	0.03	63	194	243	48	11.50	35.40	44.34	8.76
064	CEFR142	548	2.57	0.82	3	1	4	3	0.03	51	201	231	65	9.31	36.68	42.15	11.86
065	CEFR143	548	2.99	0.79	3	1	4	3	0.03	24	102	277	145	4.38	18.61	50.55	26.46
066	CEFR144	548	2.71	0.84	3	1	4	3	0.04	52	142	269	85	9.49	25.91	49.09	15.51
067	CEFR145	548	3.12	0.77	3	1	4	3	0.03	17	82	265	184	3.10	14.96	48.36	33.58
068	CEFR146	548	3.25	0.78	3	1	4	3	0.03	13	76	221	238	2.37	13.87	40.33	43.43
069	CEFR156	548	2.65	0.78	3	1	4	3	0.03	42	168	278	60	7.66	30.66	50.73	10.95
070	CEFR157	548	2.67	0.79	3	1	4	3	0.03	43	165	272	68	7.85	30.11	49.64	12.41
071	CEFR158	548	2.61	0.83	3	1	4	3	0.04	59	160	265	64	10.77	29.20	48.36	11.68
072	CEFR161	548	2.94	0.81	3	1	4	3	0.03	27	117	265	139	4.93	21.35	48.36	25.36
073	CEFR162	548	3.21	0.79	3	1	4	3	0.03	17	72	237	222	3.10	13.14	43.25	40.51
074	CEFR166	548	2.61	0.86	3	1	4	3	0.04	59	173	239	77	10.77	31.57	43.61	14.05
075	CEFR169	548	2.81	0.85	3	1	4	3	0.04	47	119	272	110	8.58	21.72	49.64	20.07
076	CEFR175	548	2.48	0.85	3	1	4	3	0.04	77	182	236	53	14.05	33.21	43.07	9.67
077	CEFR184	548	2.73	0.86	3	1	4	3	0.04	52	143	255	98	9.49	26.09	46.53	17.88
078	CEFR186	548	2.79	0.85	3	1	4	3	0.04	38	152	246	112	6.93	27.74	44.89	20.44
079	CEFR187	548	3.00	0.79	3	1	4	3	0.03	19	114	263	152	3.47	20.80	47.99	27.74
080	CEFR191	548	3.24	0.76	3	1	4	3	0.03	14	68	239	227	2.55	12.41	43.61	41.42
081	CEFR203	548	2.65	0.77	3	1	4	3	0.03	39	176	273	60	7.12	32.12	49.82	10.95
082	CEFR206	548	2.75	0.82	3	1	4	3	0.03	36	160	257	95	6.57	29.20	46.90	17.34
083	CEFR212	548	3.23	0.76	3	1	4	3	0.03	12	72	240	224	2.19	13.14	43.80	40.88
084	CEFR225	548	2.67	0.84	3	1	4	3	0.04	50	160	257	81	9.12	29.20	46.90	14.78
085	CEFR233	548	2.87	0.83	3	1	4	3	0.04	39	110	280	119	7.12	20.07	51.09	21.72
086	CEFR239	548	2.80	0.78	3	1	4	3	0.03	32	137	289	90	5.84	25.00	52.74	16.42
087	CEFR252	548	2.59	0.86	3	1	4	3	0.04	64	166	247	71	11.68	30.29	45.07	12.96
088	CEFR257	548	3.23	0.83	3	1	4	3	0.04	20	79	203	246	3.65	14.42	37.04	44.89
089	CEFR268	548	2.93	0.77	3	1	4	3	0.03	23	113	290	122	4.20	20.62	52.92	22.26
090	CEFR273	548	2.86	0.77	3	1	4	3	0.03	25	132	287	104	4.56	24.09	52.37	18.98
091	CEFR276	548	3.15	0.75	3	1	4	3	0.03	14	78	269	187	2.55	14.23	49.09	34.12
092	CEFR293	548	2.62	0.82	3	1	4	3	0.04	55	164	265	64	10.04	29.93	48.36	11.68
093	CEFR294	548	2.57	0.83	3	1	4	3	0.04	60	176	250	62	10.95	32.12	45.62	11.31
094	CEFR303	548	2.81	0.80	3	1	4	3	0.03	32	141	276	99	5.84	25.73	50.36	18.07
095	CEFR304	548	2.60	0.81	3	1	4	3	0.03	53	174	261	60	9.67	31.75	47.63	10.95
096	CEFR306	548	3.03	0.80	3	1	4	3	0.03	23	98	264	163	4.20	17.88	48.18	29.74
097	CEFR309	548	2.89	0.79	3	1	4	3	0.03	23	135	270	120	4.20	24.64	49.27	21.90
098	CEFR311	548	2.85	0.80	3	1	4	3	0.03	30	132	274	112	5.47	24.09	50.00	20.44
099	CEFR312	548	3.07	0.80	3	1	4	3	0.03	24	84	271	169	4.38	15.33	49.45	30.84
0100	CEFR315	548	3.10	0.79	3	1	4	3	0.03	18	91	259	180	3.28	16.61	47.26	32.85

付録6 グループ4 記述統計

G4	Gando	サンプル数	平均値	標準偏差	中央値	最小値	最大値	レンジ	標準誤差	選択肢1	選択肢2	選択肢3	選択肢4	選択率%	選択率%	選択率%	選択率%
Q1	CEFR001	284	3.05	0.71	3	1	4	3	0.04	8	42	163	71	2.82	14.79	57.39	25.00
Q2	CEFR002	284	2.77	0.79	3	1	4	3	0.05	18	74	148	44	6.34	26.06	52.11	15.49
Q3	CEFR003	284	2.87	0.78	3	1	4	3	0.05	12	71	142	59	4.23	25.00	50.00	20.77
Q4	CEFR004	284	3.01	0.78	3	1	4	3	0.05	7	64	131	82	2.46	22.54	46.13	28.87
Q5	CEFR005	284	2.97	0.77	3	1	4	3	0.05	9	62	141	72	3.17	21.83	49.65	25.35
Q6	CEFR006	284	2.92	0.79	3	1	4	3	0.05	13	62	144	65	4.58	21.83	50.70	22.89
Q7	CEFR007	284	3.35	0.70	3	1	4	3	0.04	3	28	121	132	1.06	9.86	42.61	46.48
Q8	CEFR013	284	2.74	0.76	3	1	4	3	0.05	16	81	149	38	5.63	28.52	52.46	13.38
Q9	CEFR014	284	3.00	0.77	3	1	4	3	0.05	7	63	138	76	2.46	22.18	48.59	26.76
Q10	CEFR015	284	3.27	0.69	3	1	4	3	0.04	5	24	143	112	1.76	8.45	50.35	39.44
Q11	CEFR018	284	2.63	0.80	3	1	4	3	0.05	23	94	133	34	8.10	33.10	46.83	11.97
Q12	CEFR019	284	3.08	0.72	3	1	4	3	0.04	6	45	152	81	2.11	15.85	53.52	28.52
Q13	CEFR020	284	2.88	0.74	3	1	4	3	0.04	11	65	156	52	3.87	22.89	54.93	18.31
Q14	CEFR023	284	3.04	0.80	3	1	4	3	0.05	10	55	132	87	3.52	19.37	46.48	30.63
Q15	CEFR024	284	3.38	0.71	3	1	4	3	0.04	4	25	114	141	1.41	8.80	40.14	49.65
Q16	CEFR025	284	3.48	0.67	4	1	4	3	0.04	4	17	103	160	1.41	5.99	36.27	56.34
Q17	CEFR031	284	3.11	0.71	3	1	4	3	0.04	4	45	150	85	1.41	15.85	52.82	29.93
Q18	CEFR032	284	3.13	0.70	3	1	4	3	0.04	3	44	149	88	1.06	15.49	52.46	30.99
Q19	CEFR033	284	3.30	0.70	3	1	4	3	0.04	4	27	134	119	1.41	9.51	47.18	41.90
Q20	CEFR037	284	2.84	0.79	3	1	4	3	0.05	12	78	137	57	4.23	27.46	48.24	20.07
Q21	CEFR038	284	2.87	0.73	3	1	4	3	0.04	6	79	145	54	2.11	27.82	51.06	19.01
Q22	CEFR039	284	3.11	0.71	3	1	4	3	0.04	4	45	152	83	1.41	15.85	53.52	29.23
Q23	CEFR040	284	3.13	0.75	3	1	4	3	0.04	6	45	139	94	2.11	15.85	48.94	33.10
Q24	CEFR045	284	3.44	0.66	4	1	4	3	0.04	3	18	114	149	1.06	6.34	40.14	52.46
Q25	CEFR046	284	3.55	0.60	4	1	4	3	0.04	1	12	100	171	0.35	4.23	35.21	60.21
Q26	CEFR051	284	3.04	0.76	3	1	4	3	0.04	9	49	148	78	3.17	17.25	52.11	27.46
Q27	CEFR052	284	3.07	0.74	3	1	4	3	0.04	7	47	150	80	2.46	16.55	52.82	28.17
Q28	CEFR059	284	2.93	0.73	3	1	4	3	0.04	8	63	154	59	2.82	22.18	54.23	20.77
Q29	CEFR060	284	3.17	0.71	3	1	4	3	0.04	3	42	142	97	1.06	14.79	50.00	34.15
Q30	CEFR061	284	3.26	0.68	3	1	4	3	0.04	2	33	139	110	0.70	11.62	48.94	38.73
Q31	CEFR062	284	3.15	0.71	3	1	4	3	0.04	3	44	144	93	1.06	15.49	50.70	32.75
Q32	CEFR068	284	3.17	0.75	3	1	4	3	0.04	5	44	132	103	1.76	15.49	46.48	36.27
Q33	CEFR069	284	3.30	0.68	3	1	4	3	0.04	3	27	136	118	1.06	9.51	47.89	41.55
Q34	CEFR082	284	2.82	0.77	3	1	4	3	0.05	14	72	149	49	4.93	25.35	52.46	17.25
Q35	CEFR083	284	2.81	0.75	3	1	4	3	0.04	12	76	149	47	4.23	26.76	52.46	16.55
Q36	CEFR084	284	2.81	0.74	3	1	4	3	0.04	9	82	147	46	3.17	28.87	51.76	16.20
Q37	CEFR085	284	3.12	0.71	3	1	4	3	0.04	5	40	154	85	1.76	14.08	54.23	29.93
Q38	CEFR089	284	2.87	0.75	3	1	4	3	0.04	10	71	150	53	3.52	25.00	52.82	18.66
Q39	CEFR090	284	2.81	0.72	3	1	4	3	0.04	10	74	159	41	3.52	26.06	55.99	14.44
Q40	CEFR091	284	2.75	0.75	3	1	4	3	0.04	13	86	145	40	4.58	30.28	51.06	14.08
Q41	CEFR092	284	3.18	0.68	3	1	4	3	0.04	4	33	155	92	1.41	11.62	54.58	32.39
Q42	CEFR109	284	2.85	0.73	3	1	4	3	0.04	11	68	159	46	3.87	23.94	55.99	16.20
Q43	CEFR110	284	2.88	0.72	3	1	4	3	0.04	9	66	160	49	3.17	23.24	56.34	17.25
Q44	CEFR112	284	3.13	0.71	3	1	4	3	0.04	5	39	153	87	1.76	13.73	53.87	30.63
Q45	CEFR115	284	2.85	0.79	3	1	4	3	0.05	13	75	139	57	4.58	26.41	48.94	20.07
Q46	CEFR116	284	2.96	0.78	3	1	4	3	0.05	13	53	151	67	4.58	18.66	53.17	23.59
Q47	CEFR119	284	2.65	0.84	3	1	4	3	0.05	27	85	132	40	9.51	29.93	46.48	14.08
Q48	CEFR120	284	2.61	0.81	3	1	4	3	0.05	24	96	130	34	8.45	33.80	45.77	11.97
Q49	CEFR121	284	2.69	0.78	3	1	4	3	0.05	15	98	131	40	5.28	34.51	46.13	14.08
Q50	CEFR122	284	2.75	0.79	3	1	4	3	0.05	15	89	133	47	5.28	31.34	46.83	16.55
Q51	CEFR123	284	2.82	0.78	3	1	4	3	0.05	14	73	146	51	4.93	25.70	51.41	17.96



G4	Cando	サンプル数	平均値	標準偏差	中央値	最小値	最大値	レンジ	標準偏差	選択肢1	選択肢2	選択肢3	選択肢4	選択率%	選択率%	選択率%	選択率%
Q52	CEFR125	284	3.06	0.76	3	1	4	3	0.05	10	44	150	80	3.52	15.49	52.82	28.17
Q53	CEFR126	284	2.77	0.78	3	1	4	3	0.05	16	79	144	45	5.63	27.82	50.70	15.85
Q54	CEFR134	284	2.72	0.78	3	1	4	3	0.05	18	83	144	39	6.34	29.23	50.70	13.73
Q55	CEFR135	284	2.75	0.78	3	1	4	3	0.05	17	78	147	42	5.99	27.46	51.76	14.79
Q56	CEFR136	284	2.93	0.74	3	1	4	3	0.04	8	64	153	59	2.82	22.54	53.87	20.77
Q57	CEFR140	284	2.56	0.81	3	1	4	3	0.05	28	99	126	31	9.86	34.86	44.37	10.92
Q58	CEFR141	284	2.57	0.82	3	1	4	3	0.05	26	103	121	34	9.15	36.27	42.61	11.97
Q59	CEFR142	284	2.69	0.79	3	1	4	3	0.05	23	77	148	36	8.10	27.11	52.11	12.68
Q60	CEFR143	284	3.09	0.73	3	1	4	3	0.04	12	28	167	77	4.23	9.86	58.80	27.11
Q61	CEFR144	284	2.84	0.88	3	1	4	3	0.05	26	58	135	65	9.15	20.42	47.54	22.89
Q62	CEFR154	284	2.60	0.81	3	1	4	3	0.05	29	86	139	30	10.21	30.28	48.94	10.56
Q63	CEFR155	284	2.87	0.74	3	1	4	3	0.04	13	58	165	48	4.58	20.42	58.10	16.90
Q64	CEFR156	284	2.74	0.79	3	1	4	3	0.05	19	78	145	42	6.69	27.46	51.06	14.79
Q65	CEFR157	284	2.78	0.75	3	1	4	3	0.04	15	73	156	40	5.28	25.70	54.93	14.08
Q66	CEFR158	284	2.79	0.70	3	1	4	3	0.04	12	68	171	33	4.23	23.94	60.21	11.62
Q67	CEFR159	284	3.00	0.75	3	1	4	3	0.04	11	46	159	68	3.87	16.20	55.99	23.94
Q68	CEFR160	284	2.99	0.74	3	1	4	3	0.04	12	43	164	65	4.23	15.14	57.75	22.89
Q69	CEFR161	284	3.13	0.73	3	1	4	3	0.04	5	43	145	91	1.76	15.14	51.06	32.04
Q70	CEFR165	284	2.63	0.83	3	1	4	3	0.05	25	96	123	40	8.80	33.80	43.31	14.08
Q71	CEFR166	284	2.56	0.83	3	1	4	3	0.05	28	103	118	35	9.86	36.27	41.55	12.32
Q72	CEFR174	284	2.62	0.80	3	1	4	3	0.05	29	79	148	28	10.21	27.82	52.11	9.86
Q73	CEFR175	284	2.68	0.80	3	1	4	3	0.05	25	76	148	35	8.80	26.76	52.11	12.32
Q74	CEFR183	284	3.00	0.76	3	1	4	3	0.05	9	55	148	72	3.17	19.37	52.11	25.35
Q75	CEFR184	284	2.86	0.80	3	1	4	3	0.05	13	75	135	61	4.58	26.41	47.54	21.48
Q76	CEFR186	284	2.88	0.82	3	1	4	3	0.05	15	70	134	65	5.28	24.65	47.18	22.89
Q77	CEFR187	284	3.07	0.73	3	1	4	3	0.04	7	46	151	80	2.46	16.20	53.17	28.17
Q78	CEFR203	284	2.71	0.77	3	1	4	3	0.05	17	86	142	39	5.99	30.28	50.00	13.73
Q79	CEFR205	284	2.89	0.72	3	1	4	3	0.04	12	54	171	47	4.23	19.01	60.21	16.55
Q80	CEFR223	284	2.73	0.79	3	1	4	3	0.05	18	83	142	41	6.34	29.23	50.00	14.44
Q81	CEFR224	284	2.55	0.78	3	1	4	3	0.05	23	111	122	28	8.10	39.08	42.96	9.86
Q82	CEFR225	284	2.64	0.76	3	1	4	3	0.04	14	109	127	34	4.93	38.38	44.72	11.97
Q83	CEFR227	284	2.74	0.79	3	1	4	3	0.05	18	81	141	44	6.34	28.52	49.65	15.49
Q84	CEFR237	284	3.14	0.74	3	1	4	3	0.04	8	35	149	92	2.82	12.32	52.46	32.39
Q85	CEFR252	284	2.78	0.76	3	1	4	3	0.05	18	67	159	40	6.34	23.59	55.99	14.08
Q86	CEFR254	284	2.74	0.79	3	1	4	3	0.05	21	73	150	40	7.39	25.70	52.82	14.08
Q87	CEFR268	284	2.87	0.76	3	1	4	3	0.05	13	63	155	53	4.58	22.18	54.58	18.66
Q88	CEFR292	284	2.69	0.84	3	1	4	3	0.05	28	74	141	41	9.86	26.06	49.65	14.44
Q89	CEFR293	284	2.72	0.84	3	1	4	3	0.05	25	76	137	46	8.80	26.76	48.24	16.20
Q90	CEFR303	284	2.92	0.72	3	1	4	3	0.04	10	55	167	52	3.52	19.37	58.80	18.31
Q91	CEFR304	284	2.73	0.81	3	1	4	3	0.05	22	76	144	42	7.75	26.76	50.70	14.79
Q92	CEFR309	284	2.93	0.74	3	1	4	3	0.04	12	51	165	56	4.23	17.96	58.10	19.72
Q93	CEFR310	284	2.92	0.78	3	1	4	3	0.05	10	70	138	66	3.52	24.65	48.59	23.24

付録7 Can doごとの記述統計

Can do	サンプル数	平均値	標準偏差	中央値	最小値	最大値	レンジ	標準誤差	選択肢1	選択肢2	選択肢3	選択肢4	選択率%	選択率%	選択率%	選択率%
CEFR001	284	3.05	0.71	3	1	4	3	0.04	8	42	163	71	2.82	14.79	57.39	25.00
CEFR002	832	2.76	0.73	3	1	4	3	0.03	48	206	479	99	5.77	24.76	57.57	11.90
CEFR003	832	2.87	0.76	3	1	4	3	0.03	32	208	430	162	3.85	25.00	51.68	19.47
CEFR004	284	3.01	0.78	3	1	4	3	0.05	7	64	131	82	2.46	22.54	46.13	28.87
CEFR005	832	2.99	0.78	3	1	4	3	0.03	24	184	401	223	2.88	22.12	48.20	26.80
CEFR006	1159	2.76	0.78	3	1	4	3	0.02	70	316	596	177	6.04	27.26	51.42	15.27
CEFR007	832	3.25	0.74	3	1	4	3	0.03	18	95	378	341	2.16	11.42	45.43	40.99
CEFR008	1072	3.34	0.71	3	1	4	3	0.02	15	104	450	503	1.40	9.70	41.98	46.92
CEFR009	851	3.23	0.76	3	1	4	3	0.03	20	107	379	345	2.35	12.57	44.54	40.54
CEFR010	851	3.37	0.75	4	1	4	3	0.03	13	100	294	444	1.53	11.75	34.55	52.17
CEFR011	851	3.46	0.69	4	1	4	3	0.02	13	56	309	473	1.53	6.58	36.31	55.58
CEFR012	524	3.31	0.76	3	1	4	3	0.03	9	66	201	248	1.72	12.60	38.36	47.33
CEFR013	832	2.69	0.77	3	1	4	3	0.03	50	260	416	106	6.01	31.25	50.00	12.74
CEFR014	611	2.87	0.80	3	1	4	3	0.03	30	150	298	133	4.91	24.55	48.77	21.77
CEFR015	1159	3.15	0.76	3	1	4	3	0.02	26	179	549	405	2.24	15.44	47.37	34.94
CEFR016	1399	3.14	0.79	3	1	4	3	0.02	39	237	606	517	2.79	16.94	43.32	36.95
CEFR017	851	3.26	0.75	3	1	4	3	0.03	16	108	366	361	1.88	12.69	43.01	42.42
CEFR018	284	2.63	0.80	3	1	4	3	0.05	23	94	133	34	8.10	33.10	46.83	11.97
CEFR019	832	3.01	0.76	3	1	4	3	0.03	23	167	419	223	2.76	20.07	50.36	26.80
CEFR020	1159	2.64	0.82	3	1	4	3	0.02	104	360	543	152	8.97	31.06	46.85	13.11
CEFR021	1399	3.16	0.85	3	1	4	3	0.02	69	197	569	564	4.93	14.08	40.67	40.31
CEFR022	1399	3.40	0.76	4	1	4	3	0.02	30	145	456	768	2.14	10.36	32.59	54.90
CEFR023	284	3.04	0.80	3	1	4	3	0.05	10	55	132	87	3.52	19.37	46.48	30.63
CEFR024	832	3.22	0.77	3	1	4	3	0.03	23	105	366	338	2.76	12.62	43.99	40.63
CEFR025	832	3.38	0.69	3	1	4	3	0.02	12	67	350	403	1.44	8.05	42.07	48.44
CEFR026	1399	3.31	0.79	3	1	4	3	0.02	46	148	525	680	3.29	10.58	37.53	48.61
CEFR027	851	3.08	0.84	3	1	4	3	0.03	45	131	387	288	5.29	15.39	45.48	33.84
CEFR028	851	3.39	0.75	4	1	4	3	0.03	15	91	294	451	1.76	10.69	34.55	53.00
CEFR029	851	3.53	0.68	4	1	4	3	0.02	12	54	260	525	1.41	6.35	30.55	61.69
CEFR030	524	3.37	0.71	3	1	4	3	0.03	10	41	216	257	1.91	7.82	41.22	49.05
CEFR031	832	2.99	0.78	3	1	4	3	0.03	31	162	423	216	3.73	19.47	50.84	25.96
CEFR032	1159	2.96	0.78	3	1	4	3	0.02	43	247	584	285	3.71	21.31	50.39	24.59
CEFR033	611	3.06	0.83	3	1	4	3	0.03	33	92	290	196	5.40	15.06	47.46	32.08
CEFR034	1399	2.99	0.84	3	1	4	3	0.02	69	291	617	422	4.93	20.80	44.10	30.16
CEFR035	1399	3.11	0.87	3	1	4	3	0.02	69	250	538	542	4.93	17.87	38.46	38.74
CEFR036	851	3.10	0.83	3	1	4	3	0.03	38	143	365	305	4.47	16.80	42.89	35.84
CEFR037	284	2.84	0.79	3	1	4	3	0.05	12	78	137	57	4.23	27.46	48.24	20.07
CEFR038	284	2.87	0.73	3	1	4	3	0.04	6	79	145	54	2.11	27.82	51.06	19.01
CEFR039	832	2.92	0.80	3	1	4	3	0.03	45	171	424	192	5.41	20.55	50.96	23.08
CEFR040	1159	2.90	0.83	3	1	4	3	0.02	65	268	539	287	5.61	23.12	46.51	24.76
CEFR041	1399	3.01	0.85	3	1	4	3	0.02	71	285	599	444	5.08	20.37	42.82	31.74
CEFR042	851	3.22	0.79	3	1	4	3	0.03	25	133	349	359	2.94	13.87	41.01	42.19
CEFR043	851	3.13	0.82	3	1	4	3	0.03	35	133	368	315	4.11	15.63	43.24	37.02
CEFR044	524	3.35	0.70	3	1	4	3	0.03	6	51	221	246	1.15	9.73	42.18	46.95
CEFR045	832	3.39	0.74	4	1	4	3	0.03	14	86	291	441	1.68	10.34	34.98	53.00
CEFR046	1159	3.37	0.72	3	1	4	3	0.02	15	120	449	575	1.29	10.35	38.74	49.61
CEFR047	1399	3.13	0.84	3	1	4	3	0.02	62	231	570	536	4.43	16.51	40.74	38.31
CEFR048	851	2.95	0.91	3	1	4	3	0.03	67	176	343	265	7.87	20.68	40.31	31.14
CEFR049	524	3.04	0.92	3	1	4	3	0.04	37	100	192	195	7.06	19.08	36.64	37.21
CEFR050	524	3.10	0.83	3	1	4	3	0.04	19	101	215	189	3.63	19.27	41.03	36.07
CEFR051	832	2.84	0.84	3	1	4	3	0.03	62	185	411	174	7.45	22.24	49.40	20.91

Can-do	サンプル数	平均値	標準偏差	中央値	最小値	最大値	レンジ	標準偏差	選択肢1	選択肢2	選択肢3	選択肢4	選択率%	選択率%	選択率%	選択率%
CEFR052	1159	2.86	0.81	3	1	4	3	0.02	70	265	587	237	6.04	22.86	50.65	20.45
CEFR053	1072	2.75	0.84	3	1	4	3	0.03	90	272	521	189	8.40	25.37	48.60	17.63
CEFR054	1399	3.06	0.87	3	1	4	3	0.02	75	263	564	497	5.36	18.80	40.31	35.53
CEFR055	851	3.04	0.87	3	1	4	3	0.03	44	172	341	294	5.17	20.21	40.07	34.55
CEFR057	524	3.29	0.78	3	1	4	3	0.03	12	68	200	244	2.29	12.98	38.17	46.56
CEFR058	524	3.25	0.78	3	1	4	3	0.03	11	77	207	229	2.10	14.69	39.50	43.70
CEFR059	832	2.74	0.80	3	1	4	3	0.03	58	225	421	128	6.97	27.04	50.60	15.38
CEFR060	832	2.95	0.80	3	1	4	3	0.03	38	176	409	209	4.57	21.15	49.16	25.12
CEFR061	1159	3.12	0.78	3	1	4	3	0.02	40	174	551	394	3.45	15.01	47.54	33.99
CEFR062	1159	2.90	0.83	3	1	4	3	0.02	68	254	561	276	5.87	21.92	48.40	23.81
CEFR063	1399	2.78	0.90	3	1	4	3	0.02	140	336	616	307	10.01	24.02	44.03	21.94
CEFR064	875	2.89	0.82	3	1	4	3	0.03	53	186	436	200	6.06	21.26	49.83	22.86
CEFR065	1399	2.98	0.92	3	1	4	3	0.02	112	276	543	468	8.01	19.73	38.81	33.45
CEFR066	851	2.91	0.91	3	1	4	3	0.03	65	196	339	251	7.64	23.03	39.84	29.49
CEFR067	524	3.06	0.85	3	1	4	3	0.04	30	82	236	176	5.73	15.65	45.04	33.59
CEFR068	832	2.98	0.81	3	1	4	3	0.03	37	170	398	227	4.45	20.43	47.84	27.28
CEFR069	1159	3.00	0.83	3	1	4	3	0.02	64	205	560	330	5.52	17.69	48.32	28.47
CEFR070	1399	3.14	0.83	3	1	4	3	0.02	64	207	602	526	4.57	14.80	43.03	37.60
CEFR071	851	3.37	0.75	4	1	4	3	0.03	18	87	309	437	2.12	10.22	36.31	51.35
CEFR072	327	3.49	0.68	4	1	4	3	0.04	2	29	103	193	0.61	8.87	31.50	59.02
CEFR073	524	3.33	0.78	3	1	4	3	0.03	15	56	192	261	2.86	10.69	36.64	49.81
CEFR082	284	2.82	0.77	3	1	4	3	0.05	14	72	149	49	4.93	25.35	52.46	17.25
CEFR083	832	2.74	0.79	3	1	4	3	0.03	51	239	416	126	6.13	28.73	50.00	15.14
CEFR084	284	2.81	0.74	3	1	4	3	0.04	9	82	147	46	3.17	28.87	51.76	16.20
CEFR085	1159	2.92	0.81	3	1	4	3	0.02	68	220	604	267	5.87	18.98	52.11	23.04
CEFR086	327	2.80	0.90	3	1	4	3	0.05	31	78	144	74	9.48	23.85	44.04	22.63
CEFR087	327	3.37	0.72	3	1	4	3	0.04	7	26	133	161	2.14	7.95	40.67	49.24
CEFR088	524	3.23	0.82	3	1	4	3	0.04	16	81	194	233	3.05	15.46	37.02	44.47
CEFR089	284	2.87	0.75	3	1	4	3	0.04	10	71	150	53	3.52	25.00	52.82	18.66
CEFR090	832	2.69	0.79	3	1	4	3	0.03	61	243	419	109	7.33	29.21	50.36	13.10
CEFR091	832	2.62	0.81	3	1	4	3	0.03	79	253	407	93	9.50	30.41	48.92	11.18
CEFR092	1159	3.05	0.76	3	1	4	3	0.02	38	191	609	321	3.28	16.48	52.55	27.70
CEFR093	1072	3.17	0.82	3	1	4	3	0.03	42	160	447	423	3.92	14.93	41.70	39.46
CEFR095	1399	3.01	0.82	3	1	4	3	0.02	66	260	663	410	4.72	18.58	47.39	29.31
CEFR096	851	2.67	0.86	3	1	4	3	0.03	81	258	373	139	9.52	30.32	43.83	16.33
CEFR097	1399	2.75	0.87	3	1	4	3	0.02	126	378	621	274	9.01	27.02	44.39	19.59
CEFR099	1399	2.81	0.88	3	1	4	3	0.02	119	339	632	309	8.51	24.23	45.18	22.09
CEFR100	1399	2.79	0.92	3	1	4	3	0.02	147	327	595	330	10.51	23.37	42.53	23.59
CEFR101	851	2.98	0.84	3	1	4	3	0.03	49	162	395	245	5.76	19.04	46.42	28.79
CEFR103	524	2.91	0.89	3	1	4	3	0.04	40	111	227	146	7.63	21.18	43.32	27.86
CEFR104	851	2.98	0.87	3	1	4	3	0.03	57	160	381	253	6.70	18.80	44.77	29.73
CEFR105	851	3.55	0.69	4	1	4	3	0.02	11	61	232	547	1.29	7.17	27.26	64.28
CEFR106	851	3.41	0.75	4	1	4	3	0.03	19	81	284	467	2.23	9.52	33.37	54.88
CEFR107	524	3.19	0.85	3	1	4	3	0.04	26	73	203	222	4.96	13.93	38.74	42.37
CEFR108	524	3.47	0.72	4	1	4	3	0.03	8	45	165	306	1.53	8.59	31.49	58.40
CEFR109	1159	2.76	0.81	3	1	4	3	0.02	83	309	575	192	7.16	26.66	49.61	16.57
CEFR110	832	2.77	0.78	3	1	4	3	0.03	46	234	418	134	5.53	28.13	50.24	16.11
CEFR111	327	2.63	0.84	3	1	4	3	0.05	36	89	161	41	11.01	27.22	49.24	12.54
CEFR112	1159	2.97	0.80	3	1	4	3	0.02	51	231	578	299	4.40	19.93	49.87	25.80
CEFR113	548	2.85	0.80	3	1	4	3	0.03	29	138	269	112	5.29	25.18	49.09	20.44
CEFR114	1399	3.06	0.83	3	1	4	3	0.02	63	251	627	458	4.50	17.94	44.82	32.74
CEFR115	832	2.77	0.83	3	1	4	3	0.03	60	226	395	151	7.21	27.16	47.48	18.15
CEFR116	284	2.96	0.78	3	1	4	3	0.05	13	53	151	67	4.58	18.66	53.17	23.59
CEFR118	524	2.87	0.85	3	1	4	3	0.04	33	126	239	126	6.30	24.05	45.61	24.05

Condo	サンプル数	平均値	標準偏差	中央値	最小値	最大値	レンジ	標準誤差	選択肢1	選択肢2	選択肢3	選択肢4	選択率%	選択率%	選択率%	選択率%
CEFR119	284	2.65	0.84	3	1	4	3	0.05	27	85	132	40	9.51	29.93	46.48	14.08
CEFR120	284	2.61	0.81	3	1	4	3	0.05	24	96	130	34	8.45	33.80	45.77	11.97
CEFR121	832	2.59	0.82	3	1	4	3	0.03	80	276	379	97	9.62	33.17	45.55	11.66
CEFR122	832	2.75	0.83	3	1	4	3	0.03	57	239	387	149	6.85	28.73	46.51	17.91
CEFR123	1159	2.71	0.81	3	1	4	3	0.02	92	322	576	169	7.94	27.78	49.70	14.58
CEFR125	284	3.06	0.76	3	1	4	3	0.05	10	44	150	80	3.52	15.49	52.82	28.17
CEFR126	832	2.68	0.81	3	1	4	3	0.03	69	245	403	115	8.29	29.45	48.44	13.82
CEFR127	524	2.63	0.90	3	1	4	3	0.04	62	159	214	89	11.83	30.34	40.84	16.98
CEFR129	327	3.10	0.81	3	1	4	3	0.04	13	54	147	113	3.98	16.51	44.95	34.56
CEFR130	524	2.91	0.85	3	1	4	3	0.04	30	122	236	136	5.73	23.28	45.04	25.95
CEFR131	327	3.33	0.78	3	1	4	3	0.04	11	29	129	158	3.36	8.87	39.45	48.32
CEFR132	524	3.04	0.82	3	1	4	3	0.04	22	99	241	162	4.20	18.89	45.99	30.92
CEFR133	524	3.13	0.87	3	1	4	3	0.04	29	81	207	207	5.53	15.46	39.50	39.50
CEFR134	832	2.72	0.78	3	1	4	3	0.05	18	83	144	39	6.34	29.23	50.70	13.73
CEFR135	832	2.59	0.79	3	1	4	3	0.03	76	269	404	83	9.13	32.33	48.56	9.98
CEFR136	832	2.79	0.78	3	1	4	3	0.03	45	224	427	136	5.41	26.92	51.32	16.35
CEFR137	327	2.94	0.86	3	1	4	3	0.05	21	69	145	92	6.42	21.10	44.34	28.13
CEFR138	524	3.21	0.85	3	1	4	3	0.04	21	81	187	235	4.01	15.46	35.69	44.85
CEFR139	524	3.05	0.87	3	1	4	3	0.04	26	110	201	187	4.96	20.99	38.36	35.69
CEFR140	284	2.56	0.81	3	1	4	3	0.05	28	99	126	31	9.86	34.86	44.37	10.92
CEFR141	832	2.53	0.81	3	1	4	3	0.03	89	297	364	82	10.70	35.70	43.75	9.86
CEFR142	832	2.61	0.81	3	1	4	3	0.03	74	278	379	101	8.89	33.41	45.55	12.14
CEFR143	1159	2.99	0.79	3	1	4	3	0.02	57	196	611	295	4.92	16.91	52.72	25.45
CEFR144	832	2.75	0.86	3	1	4	3	0.03	78	200	404	150	9.38	24.04	48.56	18.03
CEFR145	1399	2.98	0.85	3	1	4	3	0.02	83	268	636	412	5.93	19.16	45.46	29.45
CEFR146	1399	3.04	0.89	3	1	4	3	0.02	89	255	565	490	6.36	18.23	40.39	35.03
CEFR149	851	2.92	0.89	3	1	4	3	0.03	63	181	366	241	7.40	21.27	43.01	28.32
CEFR150	851	3.04	0.86	3	1	4	3	0.03	46	163	353	289	5.41	19.15	41.48	33.96
CEFR151	851	3.19	0.81	3	1	4	3	0.03	30	122	352	347	3.53	14.34	41.36	40.78
CEFR152	327	2.60	0.95	3	1	4	3	0.05	49	93	125	60	14.98	28.44	38.23	18.35
CEFR153	524	2.94	0.90	3	1	4	3	0.04	35	122	204	163	6.68	23.28	38.93	31.11
CEFR154	284	2.60	0.81	3	1	4	3	0.05	29	86	139	30	10.21	30.28	48.94	10.56
CEFR155	284	2.87	0.74	3	1	4	3	0.04	13	58	165	48	4.58	20.42	58.10	16.90
CEFR156	832	2.68	0.78	3	1	4	3	0.03	61	246	423	102	7.33	29.57	50.84	12.26
CEFR157	832	2.70	0.78	3	1	4	3	0.02	58	238	428	108	6.97	28.61	51.44	12.98
CEFR158	1159	2.62	0.84	3	1	4	3	0.02	134	316	571	138	11.56	27.26	49.27	11.91
CEFR159	284	3.00	0.75	3	1	4	3	0.04	11	46	159	68	3.87	16.20	55.99	23.94
CEFR160	611	2.78	0.85	3	1	4	3	0.03	57	134	309	111	9.33	21.93	50.57	18.17
CEFR161	1159	2.96	0.82	3	1	4	3	0.02	65	220	566	308	5.61	18.98	48.84	26.57
CEFR162	875	3.18	0.82	3	1	4	3	0.03	34	125	362	354	3.89	14.29	41.37	40.46
CEFR165	284	2.63	0.83	3	1	4	3	0.05	25	96	123	40	8.80	33.80	43.31	14.08
CEFR166	832	2.59	0.85	3	1	4	3	0.03	87	276	357	112	10.46	33.17	42.91	13.46
CEFR167	327	2.43	0.91	3	1	4	3	0.05	60	101	131	35	18.35	30.89	40.06	10.70
CEFR169	548	2.81	0.85	3	1	4	3	0.04	47	119	272	110	8.58	21.72	49.64	20.07
CEFR173	524	3.07	0.81	3	1	4	3	0.04	18	102	231	173	3.44	19.47	44.08	33.02
CEFR174	284	2.62	0.80	3	1	4	3	0.05	29	79	148	28	10.21	27.82	52.11	9.86
CEFR175	832	2.55	0.84	3	1	4	3	0.03	102	258	384	88	12.26	31.01	46.15	10.58
CEFR180	851	3.25	0.79	3	1	4	3	0.03	26	107	346	372	3.06	12.57	40.66	43.71
CEFR181	524	3.06	0.82	3	1	4	3	0.04	21	100	230	173	4.01	19.08	43.89	33.02
CEFR183	284	3.00	0.76	3	1	4	3	0.05	9	55	148	72	3.17	19.37	52.11	25.35
CEFR184	832	2.77	0.85	3	1	4	3	0.03	65	218	390	159	7.81	26.20	46.88	19.11
CEFR186	1159	2.84	0.84	3	1	4	3	0.02	72	296	533	258	6.21	25.54	45.99	22.26
CEFR187	1159	3.01	0.78	3	1	4	3	0.02	44	218	580	317	3.80	18.81	50.04	27.35
CEFR191	1399	3.28	0.79	3	1	4	3	0.02	41	169	549	640	2.93	12.08	39.24	45.75

Cando	サンプル数	平均値	標準偏差	中央値	最小値	最大値	レンジ	標準誤差	選択肢1	選択肢2	選択肢3	選択肢4	選択率%	選択率%	選択率%	選択率%
CEFR193	851	3.01	0.80	3	1	4	3	0.03	36	162	410	243	4.23	19.04	48.18	28.55
CEFR201	524	3.17	0.83	3	1	4	3	0.04	20	83	211	210	3.82	15.84	40.27	40.08
CEFR203	832	2.67	0.77	3	1	4	3	0.03	56	262	415	99	6.73	31.49	49.88	11.90
CEFR205	284	2.89	0.72	3	1	4	3	0.04	12	54	171	47	4.23	19.01	60.21	16.55
CEFR206	875	2.76	0.82	3	1	4	3	0.03	60	241	423	151	6.86	27.54	48.34	17.26
CEFR212	875	3.27	0.76	3	1	4	3	0.03	22	98	379	376	2.51	11.20	43.31	42.97
CEFR215	327	3.32	0.75	3	1	4	3	0.04	9	29	138	151	2.75	8.87	42.20	46.18
CEFR218	851	3.41	0.73	4	1	4	3	0.02	16	74	306	455	1.88	8.70	35.96	53.47
CEFR223	284	2.73	0.79	3	1	4	3	0.05	18	83	142	41	6.34	29.23	50.00	14.44
CEFR224	284	2.55	0.78	3	1	4	3	0.05	23	111	122	28	8.10	39.08	42.96	9.86
CEFR225	832	2.66	0.81	3	1	4	3	0.03	64	269	384	115	7.69	32.33	46.15	13.82
CEFR227	284	2.74	0.79	3	1	4	3	0.05	18	81	141	44	6.34	28.52	49.65	15.49
CEFR233	548	2.87	0.83	3	1	4	3	0.04	39	110	280	119	7.12	20.07	51.09	21.72
CEFR237	284	3.14	0.74	3	1	4	3	0.04	8	35	149	92	2.82	12.32	52.46	32.39
CEFR239	548	2.80	0.78	3	1	4	3	0.03	32	137	289	90	5.84	25.00	52.74	16.42
CEFR243	851	3.20	0.79	3	1	4	3	0.03	22	132	354	343	2.59	15.51	41.60	40.31
CEFR250	524	3.21	0.72	3	1	4	3	0.03	8	70	251	195	1.53	13.36	47.90	37.21
CEFR252	1159	2.64	0.85	3	1	4	3	0.03	124	334	538	163	10.70	28.82	46.42	14.06
CEFR254	284	2.74	0.79	3	1	4	3	0.05	21	73	150	40	7.39	25.70	52.82	14.08
CEFR257	1399	3.10	0.87	3	1	4	3	0.02	73	247	550	529	5.22	17.66	39.31	37.81
CEFR258	851	3.37	0.77	4	1	4	3	0.03	23	85	294	449	2.70	9.99	34.55	52.76
CEFR260	524	3.10	0.88	3	1	4	3	0.04	28	93	201	202	5.34	17.75	38.36	38.55
CEFR263	524	3.26	0.80	3	1	4	3	0.03	15	71	203	235	2.86	13.55	38.74	44.85
CEFR265	327	3.70	0.52	4	1	4	3	0.03	1	7	80	239	0.31	2.14	24.46	73.09
CEFR266	524	3.11	0.78	3	1	4	3	0.03	12	97	234	181	2.29	18.51	44.66	34.54
CEFR268	832	2.91	0.77	3	1	4	3	0.03	36	176	445	175	4.33	21.15	53.49	21.03
CEFR273	1399	2.85	0.83	3	1	4	3	0.02	96	321	681	301	6.86	22.94	48.68	21.52
CEFR276	1399	3.08	0.81	3	1	4	3	0.02	62	222	651	464	4.43	15.87	46.53	33.17
CEFR281	327	3.40	0.70	4	1	4	3	0.04	5	25	132	165	1.53	7.65	40.37	50.46
CEFR287	851	3.38	0.75	4	1	4	3	0.03	19	83	307	442	2.23	9.75	36.08	51.94
CEFR291	524	3.52	0.71	4	1	4	3	0.03	8	43	144	329	1.53	8.21	27.48	62.79
CEFR292	284	2.69	0.84	3	1	4	3	0.05	28	74	141	41	9.86	26.06	49.65	14.44
CEFR293	832	2.65	0.83	3	1	4	3	0.03	80	240	402	110	9.62	28.85	48.32	13.22
CEFR294	875	2.65	0.87	3	1	4	3	0.03	94	256	391	134	10.74	29.26	44.69	15.31
CEFR296	524	2.84	0.86	3	1	4	3	0.04	42	115	252	115	8.02	21.95	48.09	21.95
CEFR302	524	3.08	0.84	3	1	4	3	0.04	24	91	227	182	4.58	17.37	43.32	34.73
CEFR303	832	2.84	0.77	3	1	4	3	0.03	42	196	443	151	5.05	23.56	53.25	18.15
CEFR304	1159	2.62	0.83	3	1	4	3	0.02	120	348	546	145	10.35	30.03	47.11	12.51
CEFR305	524	2.54	0.88	3	1	4	3	0.04	71	166	221	66	13.55	31.68	42.18	12.60
CEFR306	1399	2.83	0.88	3	1	4	3	0.02	125	314	640	320	8.93	22.44	45.75	22.87
CEFR307	851	2.86	0.88	3	1	4	3	0.03	66	198	373	214	7.76	23.27	43.83	25.15
CEFR308	524	2.80	0.89	3	1	4	3	0.04	47	128	232	117	8.97	24.43	44.27	22.33
CEFR309	832	2.90	0.77	3	1	4	3	0.03	35	186	435	176	4.21	22.36	52.28	21.15
CEFR310	611	2.84	0.83	3	1	4	3	0.03	39	147	295	130	6.38	24.06	48.28	21.28
CEFR311	1399	2.66	0.88	3	1	4	3	0.02	161	383	631	224	11.51	27.38	45.10	16.01
CEFR312	1399	2.84	0.90	3	1	4	3	0.02	133	294	634	338	9.51	21.02	45.32	24.16
CEFR313	851	3.21	0.84	3	1	4	3	0.03	41	107	335	368	4.82	12.57	39.37	43.24
CEFR314	524	3.17	0.88	3	1	4	3	0.04	30	75	194	225	5.73	14.31	37.02	42.94
CEFR315	1072	2.93	0.86	3	1	4	3	0.03	68	230	483	291	6.34	21.46	45.06	27.15
CEFR317	851	3.17	0.81	3	1	4	3	0.03	35	113	378	325	4.11	13.28	44.42	38.19
CEFR318	524	2.93	0.90	3	1	4	3	0.04	43	102	228	151	8.21	19.47	43.51	28.82
CEFR319	524	3.52	0.70	4	1	4	3	0.03	9	37	149	329	1.72	7.06	28.44	62.79

## 付録8 代表項目・準代表項目・逆転項目

注：A列「Can do番号」の青色は代表項目、薄い青色は準代表項目、赤色は逆転項目、白色は逆転項目でも代表項目でもない項目を示す

Can do 番号	Logit	言語 活動	レベル	Can do
1	0.6	1.聞く	C2	熟達した日本語話者にかなり速いスピードで話されても、生であれ、放送であれ、どんな種類の話し言葉も難無く理解できる。
2	1.09	1.聞く	C1	特に耳慣れない話し方をする話者の場合には、時々細部を確認しなければならない場合があるが、自分の専門外の抽象的で複雑な話題についての長い発話にも充分についていける。
3	0.8	1.聞く	C1	幅の広い慣用表現や口語体表現が理解できる。言語使用域の移行を正しく認識できる。
4	0.68	1.聞く	C1	構造がはっきりしていない場合、または内容の関係性が暗示されているだけで、明示的でない場合でも、長い発話を理解できる。
5	0.48	1.聞く	B2.2	生であれ、放送であれ、身近な話題でなくとも、個人間、社会、学問、職業の世界で通常出合う話題について、共通語で話されれば理解できる。周囲の極端な騒音、不適切な談話構成や慣用表現だけが理解を妨げる。
6	0.98	1.聞く	B2.1	自分の専門分野での技術的な議論を含めて、共通語で話されれば、抽象的な話題でも具体的な話題でも、内容的にも言語的にもかなり複雑な話の要点を理解できる。
7	-0.27	1.聞く	B2.1	もし話題がそれなりに身近なもので、話の方向性が何らかの標識で明示的に示されていれば、長い話や複雑な議論の流れでも理解できる。
8	-1.34	1.聞く	B1.2	毎日や普段の仕事上の話題について、簡単な事実関係の情報を理解できる。もし、大体が耳慣れた発音で、明瞭に話されていれば、一般的なメッセージも具体的な詳細も理解できる。
9	-1.21	1.聞く	B1.1	短い物語も含めて、仕事、学校、余暇などの場面で普段出合う、ごく身近な事柄について、共通語で明瞭に話されたものなら要点を理解できる。
10	-1.67	1.聞く	A2.2	もし、はっきりとゆっくりとした発音ならば、具体的な必要性を満たすことが可能な程度に理解できる。
11	-1.98	1.聞く	A2.1	もし、発話をはっきりとゆっくりとした発音ならば、最も直接的な優先事項の領域（例：ごく基本的な個人や家族の情報、買い物、その地域の地理、仕事・雇用）に関連した句や表現が理解できる。
12	-1.84	1.聞く	A1	意味がとれるように間を長くおきながら、非常にゆっくりと注意深く発音してもらえれば、発話を理解できる。
13	1.24	1.聞く	C1	抽象的で複雑、かつ未知の話題でも、グループ討議やディベートでの第三者間の複雑な話し合いを容易に理解できる。
14	0.73	1.聞く	B2.2	熟達した日本語話者同士の活気に富んだ会話についていくことができる。
15	-0.06	1.聞く	B2.1	自分の話し方を全く変えない熟達した日本語話者との議論に上手に加われないかもしれないが、少し努力すれば、自分の周りで話されていることのほとんどを聞き取ることができる。
16	-0.61	1.聞く	B1	もし、話が共通語で、発音もはっきりとしていれば、自分の周りで長い議論の要点を普通に理解できる。
17	-1.29	1.聞く	A2	ゆっくりと、はっきりとした議論なら、自分の周りで議論されている話題はおおかた分かる。
18	1.67	1.聞く	C2	口語表現や方言的な慣用表現、馴染みの薄い専門用語を利用した専門の講義やプレゼンテーションを理解できる。

Can do 番号	Logit	言語 活動	レベル	Can do
19	0.42	1.聞く	C1	たいていの講義、議論、ディベートが比較的容易に理解できる。
20	1.28	1.聞く	B2	内容的にも言語的にも複雑な講義、話、報告、そのほかの学問的／専門的なプレゼンテーションの要点は理解できる。
21	-0.67	1.聞く	B1.2	もし、ごく身近なテーマと内容で、プレゼンテーションが簡潔で明確な構成を持っているならば、自分の専門の範囲で講義や話を理解できる。
22	-1.44	1.聞く	B1.1	もし、はっきりと共通語で発音されるならば、ごく身近な話題についての簡単な短い話の要点を理解できる。
23	0.61	1.聞く	C1	例えば、駅やスポーツ・スタジアムのような所での、聞き取れないほど音質が悪い、歪みのあるアナウンスから、特定の情報を引き出すことができる。
24	-0.18	1.聞く	C1	取扱説明や、ごく身近な製品説明やサービスについての、複雑な専門的情報が理解できる。
25	-0.66	1.聞く	B2	共通語で普通のスピードで話されていれば、具体的なことでも抽象的なことでも、アナウンスやメッセージを理解できる。
26	-1.14	1.聞く	B1	毎日使っている機器・設備の取扱説明のような、簡単な専門的情報を理解することができる。
27	-0.75	1.聞く	B1	詳細な指示を理解できる。
28	-1.72	1.聞く	A2	短い、はっきりとした、簡単なメッセージやアナウンスの要点は聞き取れる。
29	-2.24	1.聞く	A2	徒歩や公共交通機関を使ってXからYまでどうやって行くのかという簡単な説明は理解できる。
30	-2.05	1.聞く	A1	当人に向かって、丁寧にゆっくりと話された指示なら理解できる。短い簡単な説明なら理解できる。
31	0.48	1.聞く	C1	いくつかの共通語通りではない表現があっても、録音され、放送された広範囲な音声素材を理解できる。事柄に対する話し手の、言葉に表れない姿勢や、話し手の間の関係など、細かい点が聞き取れる。
32	0.47	1.聞く	B2.2	社会、専門、学問の世界で普段出合うもので、共通語で録音されたものは理解できる。また、情報の内容だけでなく、話し手の視点や事柄に対する姿勢が聞き取れる。
33	0.22	1.聞く	B2.1	共通語で話されているほとんどのラジオドキュメンタリーや、録音・放送された音声素材を理解できる。話し手の心情や調子などが聞き取れる。
34	-0.19	1.聞く	B1.2	はっきりとした共通語で話された、個人的に興味がある話題であれば、録音され、放送された音声素材の大部分の情報の内容を理解できる。
35	-0.51	1.聞く	B1.1	比較的ゆっくりとはっきりと話された、ごく身近な話題に関するラジオの短いニュースや、比較的簡単な内容の録音された素材なら、主要な点は理解できる。
36	-0.81	1.聞く	A2	ゆっくりとはっきりと話されれば、予測可能な日常の事柄に関する、短い録音の一節を理解し、必要な情報を取り出すことができる。
37	1.13	2.読む	C2	抽象的で構造的に複雑な、もしくは口語表現の非常に多い文学、および文学以外の書き物を含めて、書かれた言葉のあらゆる形式を実質的に理解して批判的に解釈できる。

Can do 番号	Logit	言語 活動	レベル	Can do
38	1.06	2.読む	C2	意味や文体の微妙な違いを味わい、明示的な意味と同時に暗示的な意味も味わいながら、幅広い分野にわたって、長い複雑なテキストを理解できる。
39	0.67	2.読む	C1	長くて複雑なテキストでも、難しい節を繰り返して読めるのであれば、自分の専門に関係がなくても、中身を詳細に理解できる。
40	0.61	2.読む	B2	適切な参考資料を選択して使いながら、さまざまな目的やテキストの種類に合わせて、読むスピード、読み方を変えながら、独力でかなりのところまで読み解ける。広汎な語彙力を持っているが、頻度の低い慣用句にはいくらか手こずることもある。
41	-0.23	2.読む	B1	簡潔な事実関係のテキストで、自分の専門分野や興味の範囲内のものは、十分に主題を理解できる。
42	-1.18	2.読む	A2.2	非常によく用いられる、日常的、もしくは仕事関連の言葉で書かれた、具体的で身近な事柄なら、短い簡単なテキストが理解できる。
43	-0.9	2.読む	A2.1	よく使われる語で書かれた、国際的共通語彙もかなり多い、短い簡単なテキストが理解できる。
44	-1.96	2.読む	A1	非常に短い簡単なテキストを、身近な名前、単語や基本的な表現を一つずつ取り上げて、必要であれば読み直したりしながら、一文一節ずつ理解することができる。
45	-0.72	2.読む	C1	辞書を時々使えば、どんな種類の通信文でも理解できる。
46	-0.73	2.読む	B2	自分に興味のある分野に関連した通信文を読んで、すぐに主要点が把握できる。
47	-0.57	2.読む	B1	個人の手紙を読んで、出来事、感情、希望の表現を理解することができ、定期的にペンフレンドと文通できる。
48	-0.38	2.読む	A2.2	身近な話題についての日常の手紙やファックス（照会、注文、確認など）の基本的なタイプのもので理解できる。
49	-1.01	2.読む	A2.1	短い個人の手紙は理解できる。
50	-1.17	2.読む	A1	葉書の短い簡単なメッセージを理解することができる。
51	0.88	2.読む	B2	ざっと目を通しただけで、長い複雑なテキストの重要事項を見定めることができる。
52	0.74	2.読む	B2	幅の広い専門的な話題についての情報や記事、レポートの内容やその重要度をすぐに見抜き、綿密な読解の価値があるかどうかを決めることができる。
53	0.36	2.読む	B1.2	必要な情報を見つけるために長いテキストにざっと目を通し、テキストのさまざまな部分や別のテキストから、特定の課題遂行のための情報を収集できる。
54	-0.37	2.読む	B1.1	手紙、パンフレット、短い公文書のような日常の資料の中から重要な情報を探し出し、理解できる。
55	-0.64	2.読む	A2	広告、趣意書、メニュー、参考書目録、時刻表のような、簡単な日常の資料の中から予測可能な特定の情報を見つけることができる。
57	-1.77	2.読む	A2	日常の看板や掲示を理解することができる。例えば、公の場所では、道路、レストラン、鉄道の駅などの看板、職場では説明、指示、危険警告などの掲示が理解できる。



Can do 番号	Logit	言語 活動	レベル	Can do
58	-1.63	2.読む	A1	日常のよくある状況下で、簡単な掲示の中から身近な名前や語、基本的な表現が分かる。
59	1.12	2.読む	C1	社会、専門、学問の分野で出会う可能性のある、ある程度長い、複雑なテキストを詳細な点まで理解できる。意見表明だけでなく、含意された意見や立場も含めて詳細な点まで理解できる。
60	0.59	2.読む	B2.2	自分の専門分野の非常に専門的な資料から、情報、考え、意見を読み取ることができる。
61	0.02	2.読む	B2.2	専門用語の意味を確認するために辞書を使うことができれば、自分の専門外であっても専門記事が理解できる。
62	0.62	2.読む	B2.1	筆者が特別の立場や視点から取り上げた、現代の問題に関する記事やレポートを理解できる。
63	0.39	2.読む	B1.2	主張のはっきりした論説的テキストの主要な結論を把握できる。
64	0.52	2.読む	B1.2	必ずしも詳しくはなくても、提示された問題への対応に関する議論の筋道が分かる。
65	-0.14	2.読む	B1.1	身近な話題についての簡単な新聞記事から重要点を取り出すことができる。
66	-0.28	2.読む	A2	手紙、パンフレット、新聞の短い事件記事のような、簡潔なテキストの中から特定の情報を取り出すことができる。
67	-1.08	2.読む	A1	簡単な情報文の内容や、簡潔な記述文の概要を把握することができる。特に視覚的な補助があれば、さらに容易に概要が把握できる。
68	0.51	2.読む	C1	もし難しい箇所を読み返すことができれば、それが自分の専門分野に関連していなくても、新しい機械や使用手順についての長い複雑な説明を細かいところまで理解できる。
69	0.36	2.読む	B2	もし難しい箇所を読み返すことができれば、条件や警告の詳細までも含めて、自分の関係分野の長い複雑な説明を理解できる。
70	-0.59	2.読む	B1	機器について、はっきりと書かれた簡潔な説明を理解できる。
71	-1.66	2.読む	A2.2	簡単な言語で表現されていれば、例えば、安全のためなどの規則が理解できる。
72	-1.41	2.読む	A2.1	公衆電話のような日常生活で見る機器についての簡潔な説明を理解できる。
73	-1.91	2.読む	A1	(例えば、XからYへ行くための) 短い、簡潔に書かれた方向指示を理解できる。
82	1.19	4.発表	C2	聞き手が要点を記憶、あるいは後で思い出す際の足がかりになるような、論理的な構造を持った、流れのよい、構造のしっかりしたスピーチができる。
83	1.12	4.発表	C1	複雑な話題について、明瞭かつ詳細な記述やプレゼンテーションができる。下位テーマをまとめたり、一定の要点を展開しながら、適当な結論にもっていくことができる。
84	1.21	4.発表	B2.2	記述とプレゼンテーションを明確かつ体系的に展開できる。要点を見失わずに、関連する詳細情報を付け加えて、内容を補足できる。

Can do 番号	Logit	言語 活動	レベル	Can do
85	0.56	4.発表	B2.1	自分の関心のある分野に関連した、広範囲な話題について、明確かつ詳細に記述、プレゼンテーションができる。事項を補足しながら、関連事例を挙げて、主張を強化、展開することができる。
86	0.65	4.発表	B1	自分の関心のあるさまざまな話題のうちのどれかについて、ほどほどの流暢さで、ある程度の長さの、簡単な記述やプレゼンテーションができる。その際、事柄の提示は直線的に並べるとどまる。
87	-0.99	4.発表	A2	人物や生活・職場環境、日課、好き嫌いなどについて、単純な記述やプレゼンテーションができる。その際簡単な字句や文を並べる。
88	-1.57	4.発表	A1	人物や場所について、単純な字句を並べて、述べるができる。
89	1.07	4.発表	C2	明瞭で滞りなく、詳しく、多くは記憶に残るような経験談ができる。
90	1.24	4.発表	C1	複雑な内容を明瞭かつ詳細に述べるができる。
91	1.43	4.発表	C1	洗練された記述と語りができる。そして、下位テーマをまとめ、要点の一つを展開して、適切な結論で終わらせることができる。
92	0.23	4.発表	B2	自分の関心のある分野に関連した広範囲な話題について、明確で詳しく述べるができる。
93	-0.78	4.発表	B1	自分の関心事で、馴染みのあるさまざまな話題について、簡単に述べるができる。
95	-0.24	4.発表	B1	自分の感情や反応を記述しながら、経験を詳細に述べるができる。
96	0.35	4.発表	B1	予測不能の出来事（例えば事故など）を、順序だてて詳細に述べるができる。
97	0.48	4.発表	B1	本や映画の筋を順序だてて話し、それに対する自分の考えを述べるができる。
99	0.31	4.発表	B1	現実や想像上の出来事を述べるができる。
100	0.36	4.発表	B1	物語を語るができる。
101	-0.47	4.発表	A2.2	事柄を列挙して簡単に述べたり、物語るができる。自分の周りの環境、例えば、人や場所、仕事、学習経験などの日常を述べるができる。
103	-0.67	4.発表	A2.2	計画、準備、習慣、日課、過去の活動や個人の経験を述べるができる。
104	-0.46	4.発表	A2.2	簡単な、記述的な言葉を用いて、事物や所有物について短く述べたり、それらを比較できる。
105	-2.33	4.発表	A2.2	好きか嫌いかを述べるができる。
106	-1.8	4.発表	A2.1	家族、住居環境、学歴、現在やごく最近までしていた仕事を述べるができる。

Can do 番号	Logit	言語 活動	レベル	Can do
107	-1.44	4.発表	A2.1	簡単な言葉で人や場所、所有物を述べるができる。
108	-2.39	4.発表	A1	自分について、自分が何をしているか、自分が住んでいる場所を、述べるができる。
109	0.99	4.発表	B2.2	適切に要点を強調し、重要な関連のある補足事項を詳しく取り上げて、整然と論拠を展開できる。
110	1.05	4.発表	B2.1	はっきりとした議論を展開できる。補助的観点や関連事例を詳細に補足し、自分の見解を展開し、話を続けることができる。
111	1.06	4.発表	B2.1	理路整然と論拠を並べ挙げるができる。
112	0.44	4.発表	B2.1	いくつかの選択肢の利点と不利な点を挙げて、話題となる問題の視点を説明できる。
113	0.72	4.発表	B1.2	ほとんどの場合、明確な議論が構築でき、他人がついていくのに苦労しない。
114	-0.36	4.発表	B1.1	意見、計画、行動について短い理由や説明ができる。
115	1.06	4.発表	C1	細かいニュアンスを正確に伝えるために強弱、イントネーションをつけて、楽々と、かつ流暢にアナウンスができる。
116	0.83	4.発表	B2	聞き手になんのストレスも不快さも与えることなく、一般的な話題のほとんどについて、明快に、流暢に、ごく自然にアナウンスができる。
118	-0.56	4.発表	A2	聞き手が集中して聞いてくれれば、練習した上で、予測可能で身近な内容の事柄について、短いアナウンスができる。
119	1.61	4.発表	C2	話題について知識のない聴衆に対しても、自信を持ってはっきりと複雑な内容を口頭発表できる。聴衆の必要性に合わせて柔軟に話を構造化し、変えていくことができる。
120	1.7	4.発表	C2	難しい、あるいは敵意すら感じられる質問に対処することができる。
121	1.49	4.発表	C1	複雑な話題について、明確なきちんとした構造を持ったプレゼンテーションができる。補助事項、理由、関連事例を詳しく説明し、論点を展開し、立証できる。
122	1.09	4.発表	C1	聴衆からの不意の発言にも対応することができる。ほとんど苦労せずに自然に反応できる。
123	1.11	4.発表	B2.2	はっきりとした、体系的に展開したプレゼンテーションができる。その際重要な要点や、関連する詳細事項を補足的に強調することができる。
125	0.57	4.発表	B2.1	事前に用意されたプレゼンテーションをはっきりと行うことができる。ある見方に賛成、反対の理由を挙げて、いくつかの選択肢の利点と不利な点を示すことができる。
126	1.28	4.発表	B2.1	一連の質問に、ある程度流暢に、自然に対応ができる。話を聞く、あるいは話をする際に聴衆にも自分にも余分な負担をかけることはない。
127	0.07	4.発表	B1	自分の専門でよく知っている話題について、事前に用意された簡単なプレゼンテーションができる。ほとんどの場合、聴衆が難なく話についていける程度に、はっきりとしたプレゼンテーションをすることができ、また要点をそこそこ正確に述べるができる。

Can do 番号	Logit	言語 活動	レベル	Can do
129	-0.16	4.発表	A2.2	自分の毎日の生活に直接関連のある話題については、リハーサルして、短いプレゼンテーションができる。意見、計画、行動に対して、理由を挙げて、短く述べるができる。
130	-0.66	4.発表	A2.2	話し終えた後、限られた数の簡単な質問に対処することができる。
131	-0.85	4.発表	A2.1	身近な話題について、リハーサルをして、短い基本的なプレゼンテーションができる。
132	-1	4.発表	A2.1	質問を繰り返し言ってもらい、回答するのに何らかの助け船を出してくれる人がいるなら、話し終えた後から出される簡単な質問に答えることができる。
133	-1.27	4.発表	A1	非常に短い、準備して練習した言葉を読み上げることができる。例えば、話し手の紹介や乾杯の発声など。
134	1.44	5.書く	C2	適切で印象的な文体と論理的な構成を用いて、明瞭に調子よく、複雑なテキストを書くことができる。読者に重要な点がわかるようになっている。
135	1.49	5.書く	C1	複雑な話題について、明瞭にきちんとした構造を持ったテキストを書くことができる。関連性のある重要点を強調して、補助的事項、理由、関連する詳細な事例を付け加えて、論点を展開し、それを維持していくことができる。最後に、適切な結論で終わることができる。
136	1.01	5.書く	B2	いろいろな情報や議論をまとめて評価した上で、自分の関心がある専門分野の多様な話題について明瞭で詳細なテキストを書くことができる。
137	0.27	5.書く	B1	一連の短い別々になっている要素を一つの流れに結びつけることによって、自分の関心が及ぶ身近な話題について結束性のある簡単なテキストを書くことができる。
138	-1.52	5.書く	A2	「そして」「しかし」「なぜなら」などの簡単な接続詞でつなげた簡単な表現や文を書くことができる。
139	-1.04	5.書く	A1	簡単な表現や文を単独に書くことができる。
140	1.82	5.書く	C2	明瞭ですらすらと流れるように、そのジャンルに適切な文体で書き、読み手を完全に引き込むことができる。
141	1.64	5.書く	C1	読者として想定した相手にふさわしい、自分の、しかも自然な文体で、自信を持って、明瞭かつ詳細な、的確な構成と展開を持つ記述文や創造文が書ける。
142	1.45	5.書く	B2.2	実際、もしくは想像上の出来事や経験について、複数の見解を相互に関連づけ、当該のジャンルの書記習慣に従って、明瞭かつ詳細に記述文を書くことができる。
143	0.39	5.書く	B2.1	自分が関心を持つさまざまな話題について、明瞭、詳細に書くことができる。
144	1.1	5.書く	B2.1	映画や本、演劇の評を書くことができる。
145	-0.16	5.書く	B1	自分が関心を持つ身近な話題について、複雑でないが、詳しく記述することができる。
146	-0.31	5.書く	B1	単純につなぎあわせたテキストで感情や反応を記述し、経験したことを書くことができる。
149	-0.31	5.書く	A2.2	自分の周りにある日々のいろいろな側面、例えば、人物、場所、仕事や学習体験などについて、つながりのある文を書くことができる。

Can do 番号	Logit	言語 活動	レベル	Can do
150	-0.64	5.書く	A2.2	出来事、過去の活動、個人的な経験の記述を短い文で書くことができる。
151	-1.09	5.書く	A2.1	家族、生活環境、学歴、現在または最近の仕事について、簡単な句や文を連ねて書くことができる。
152	1.14	5.書く	A2.1	短く簡単な想像上の人物伝や、人物を題材にした簡単な詩を書くことができる。
153	-0.75	5.書く	A1	自分自身や想像上の人々について、どこに住んでいるか、何をやる人なのかについて、簡単な句や文を書くことができる。
154	1.73	5.書く	C2	明瞭で流れるような、複雑なレポート、記事、エッセイを書き、事例を説明したり、提案や文学作品の批評文を書くことができる。
155	1.05	5.書く	C2	読者に重点が分かるように、適切で効果的に論理を構成することができる。
156	1.27	5.書く	C1	複雑な話題について、明瞭な構造で、きちんと記述し、重要な関連事項を強調しながら、書くことができる。
157	1.22	5.書く	C1	補助的な観点、理由、関連する事例を詳細に加えて、特定の視点からの論を展開し、ある程度の長さの文が書ける。
158	1.34	5.書く	B2.2	論拠、論点を整然と展開して、エッセイやレポートを書くことができる。重要な点や関連する補足事項の詳細を、適切に強調することができる。
159	0.72	5.書く	B2.2	いろいろな考えや問題の解決法を評価することができる。
160	0.98	5.書く	B2.1	エッセイやレポートを書く時に、根拠を提示しながら、ある視点に賛成や反対の理由を挙げ、さまざまな選択肢の利点と不利な点を説明できる。
161	0.46	5.書く	B2.1	いろいろなところから集めた情報や議論をまとめることができる。
162	-0.28	5.書く	B1.2	関心を持つ話題についての短い、簡単なエッセイを書くことができる。
165	1.67	3.やりとり	C2	慣用的な表現や口語表現をかなり使いこなすことができ、コノテーションまで気がつく。かなりの確に修飾を加えることによって正確に細かいニュアンスまで伝えることができる。表現しにくいところを上手に回避して発話を再構成できるし、対話の相手は修復がなされたことにはほとんど気がつかない。
166	1.49	3.やりとり	C1	ほとんど努力する必要がないくらい、らくらくと流暢に、自然に言いたいことを表現できる。幅の広い語彙が使いこなせ、間接的な表現を使って即座に対話の隙間を埋めることができる。見て分かるような表現探しや、回避の方略はほとんどない。概念的に難しい話題だけが自然でスムーズな言葉の流れを邪魔する。
167	1.55	3.やりとり	B2.2	一般的、学術的、職業上、もしくは余暇に関する幅広い話題について、流暢に、正確に、そして効果的に言葉を使うことができ、考えと考えの間の関係をはっきりとさせることができる。言いたいことが表現できない様子もまずなく、文法も正確で、その場にふさわしい丁寧さで、自然にコミュニケーションできる。
169	0.81	3.やりとり	B1.2	自分の関心や専門分野に関連した、身近な日常のおよび非日常的な問題について、自信を持って話し合いをすることができる。情報を交換、チェックし、確認できる。あまり日常的でない状況にも対処し、問題の在処を説明できる。映画、書籍、音楽などの抽象的な文化的話題について、自分の考えを表現できる。
173	-1.09	3.やりとり	A1	簡単な方法でやり取りができるが、ゆっくりとした繰り返し、言い換え、修正に全般的に頼ってコミュニケーションすることになる。簡単な質疑応答はできる。すぐに回答が必要な事柄やごく身近な話題についてなら、話も始められ、応答もできる。
174	1.69	3.やりとり	C2	なじみのない言い方に慣れる機会があれば、自分の専門分野を超えた専門家の抽象的な複雑な話題でも、話し相手が言ったことを理解できる。

Can do 番号	Logit	言語 活動	レベル	Can do
175	1.59	3.やりとり	C1	自分の専門分野外の話題についての専門家による抽象的な、複雑な話を詳しく理解できる。ただ、馴染みのない話し方の場合は特に、時々詳細を確認する必要がある。
180	-1.26	3.やりとり	A2.1	簡単な日常会話で、自分に対してはっきりとゆっくりと、直接言われたことを理解できる。もし、話し手の方が面倒がらねば、分かるようにしてもらえる。
181	-1.07	3.やりとり	A1	こちらの事情を理解してくれるような話し相手から、はっきりとゆっくりと、繰り返しを交えながら、直接自分に向けられた話ならば、具体的で単純な必要性を満たすための日常の表現を理解できる。
183	0.73	3.やりとり	C2	社会や個人生活全般にわたって、言語上の制限もなく、ゆとりをもって、適切に、自由に会話ができる。
184	1.04	3.やりとり	C1	感情表現、間接的な示唆、冗談などを交えて、社交上の目的に沿って、柔軟に、効果的に言葉を使うことができる。
186	0.77	3.やりとり	B2	熟達した日本語話者との対話でも、相手を不用意にいらつかせたり、おかしがらせたりすることなく、相手が熟達した日本語話者同士で会話している時とは別の振る舞いをしなくてすむくらいに、互いの関係を維持できる。
187	0.33	3.やりとり	B2	気持ちのありようを伝え、出来事や経験の持つ個人的重要性を強調することができる。
191	-1.02	3.やりとり	B1	驚き、幸せ、悲しみ、興味、無関心などの感情を表現し、また相手の感情に反応することができる。
193	-0.55	3.やりとり	A2.2	時々繰り返しや言い換えを求めることが許されるなら、自分に向けられた、身近な事柄について、はっきりとした、共通語での話はたいてい理解できる。
201	-1.38	3.やりとり	A1	人が元気かどうかを聞き、近況を聞いて、反応することができる。
203	1.3	3.やりとり	C1	抽象的で複雑でよく知らない話題でも、グループ討議では第三者間の複雑な対話を容易に理解し、そこに加わることができる。
205	1.01	3.やりとり	B2.2	正確に自分の考えや意見を表現できる。また、説得力をもって議論の複雑な道筋を提示し、それに反応できる。
206	0.87	3.やりとり	B2.1	身近な状況での非公式の議論に積極的に参加し、コメントすること、視点をはっきり示すこと、代替案を評価すること、仮説を立て、また他の仮説に対応することができる。
212	-0.53	3.やりとり	B1.2	何をしたいか、どこに行きたいか、誰を選べばよいか、またはどちらを選べばよいか、などを議論し、代案を比較対照できる。
215	-0.82	3.やりとり	B1.1	どこに行くか、何をしたいか、イベントをどのように準備するか（例：外出）などの、実際的な問題や問いの解決に関して、自分の意見や反応を相手に理解させることができる。
218	-1.8	3.やりとり	A2.2	晩や週末にすることを論じることができる。
223	1.43	3.やりとり	C2	複雑な論題についての議論で自己主張できる。他の話者と比べても引けをとらず、明確で説得力のある議論ができる。
224	1.86	3.やりとり	C1	抽象的かつ複雑で身近でない話題でも、ディベートに容易についていくことができる。
225	1.32	3.やりとり	C1	説得力をもって公式に主張を展開でき、質問やコメントに応じ、複雑な筋立ての対抗意見にも、流暢に自然に適切に応えることができる。

Can do 番号	Logit	言語 活動	レベル	Can do
227	1.38	3.やりとり	B2.2	自分の考えや意見を正確に表現できる。また、複雑な筋立ての議論に対し、説得力をもって見解を提示し、対応できる。
233	0.65	3.やりとり	B1	共通語による言葉遣いではっきりとした発音であれば、事実に関する情報をやり取りしたり、指示を受けたり、実際的な問題の解決策を論じたりする、定例の公式の議論に参加することができる。
237	0.32	3.やりとり	B2	詳細な使用説明を確実に理解できる。
239	0.85	3.やりとり	B2	原因や結果を推測し、異なるアプローチの利点と不利な点を比較考量しながら、論点や問題の概略をはっきりと述べることができる。
243	-1.09	3.やりとり	B1.1	言われたことはたいてい理解でき、必要なときにはお互いの理解を確認するために、言われたことの一部を繰り返すことができる。
250	-1.51	3.やりとり	A1	注意深く、ゆっくりと表現された質問や説明なら理解できる。短い簡潔な指示を理解できる。
252	1.28	3.やりとり	B2.2	交通違反の不当な呼び出し状、アパートでの損害に対する金銭的責任、事故に関する責任のような争いの解決のためにうまく交渉の話し合いができる。
254	1.4	3.やりとり	B2.1	問題が起きたことを説明し、業者や客の方が譲歩の義務があることをはっきりとさせることができる。
257	-0.47	3.やりとり	B1	例えば、知らない目的地に行くのに降りる駅を乗客に尋ねるなど、実際の旅行中や、旅行代理店で旅行の手配に際して起きるたいていの状況に対処することができる。
258	-1.67	3.やりとり	A2.2	旅行、宿泊、食事、買い物のような毎日の生活での普通の状況に対処することができる。
260	-1.19	3.やりとり	A2.1	日用品やサービスを求めたり、提供したりできる。
263	-1.66	3.やりとり	A2.1	量や数、値段などの情報を与えたり、取得することができる。
265	-2.37	3.やりとり	A2.1	食事を注文することができる。
266	-1.23	3.やりとり	A1	人に物事を要求したり、与えることができる。
268	0.69	3.やりとり	B2.2	自分の職業上の役割に関するどのような事柄についても、複雑な情報や助言を理解・交換することができる。
273	0.21	3.やりとり	B1.2	細かい指示をしながら、やり方を説明することができる。
276	-0.44	3.やりとり	B1.1	詳細な説明を求め、理解できる。
281	-1.08	3.やりとり	A2.2	娯楽や過去の活動について質問をし、答えることができる。
287	-1.68	3.やりとり	A2.1	個人的な情報を求めたり、提供したりできる。

Can do 番号	Logit	言語 活動	レベル	Can do
291	-2.58	3.やりとり	A1	「来週、前の金曜日、11月には、3時」などの表現を用いて時を知らせることができる。
292	1.52	3.やりとり	C2	きわめて上手に対話の一方を務めることができる。他の話者と比べても引けをとらず、インタビューする人がインタビューを受ける人として、堂々と、非常に流暢に話や対話を組み立てることができる。
293	1.35	3.やりとり	C1	インタビューする人としてもインタビューを受ける側としても、インタビューに完全に参加することができる。助け船を出さなくとも、なめらかに議論点を発展させることができ、間投詞やあいづちもうまく使える。
294	1.15	3.やりとり	B2.2	インタビューをなめらかに効果的に行うことができる。相手の興味深い返答を取り上げ、用意した質問を自発的に変えるなどして、さらに興味深い答えを引き出すことができる。
296	-0.47	3.やりとり	B1.2	インタビューや診察（例：医者に症状を説明する）で正確さは限られるものの、必要とされる具体的な情報を提供することはできる。
302	-1.13	3.やりとり	A1	個人的なことについて、慣用句的な言葉遣いもなく、ごくゆっくりとはっきりと話してもらえらるなら、簡単かつ直接的な質問に答えることができる。
303	0.86	5.書く	C1	自分が述べたいことをはっきりと正確に表現することができ、相手に対して、柔軟に効果的に対応することができる。
304	1.33	5.書く	B2	ニュースや視点を効果的に書き表し、他の人の書いたものにも関連づけることができる。
305	0.3	5.書く	B1	具体的な話題だけでなく、抽象的な話題についても情報や意見を伝えることができる。情報をチェックし、問題について適度の詳しさを尋ねたり、説明できる。
306	0.27	5.書く	B1	直接的に関連のある簡単な情報を求めたり伝えたりする個人的な手紙、覚書を書くことができ、自分が重要だと思う点を相手に理解させることができる。
307	-0.15	5.書く	A2	直接必要な分野の事柄について、決まり文句を用いて、短い簡単な覚書を書くことができる。
308	-0.36	5.書く	A1	書面で個人的な具体的な情報を求めたり、伝えることができる。
309	0.71	5.書く	C1	個人的な通信の中で、自分が伝えたいことをはっきりと正確に表現することができ、感情表現や、ほのめかしや、冗談を交えながら、柔軟で効果的な言葉遣いができる。
310	0.8	5.書く	B2	感情の度合いを伝え、出来事や経験の持つ個人的な重要性を強調しながら、相手の近況や考え方などに言及する手紙を書くことができる。
311	0.7	5.書く	B1.2	出来事を伝え、音楽や映画のような抽象的、文化的話題についても、自分の意見を表現する個人的な手紙を書くことができる。
312	0.23	5.書く	B1.1	経験、感情や出来事を多少詳細に記した個人的な手紙を書くことができる。
313	-1.14	5.書く	A2	感謝と謝罪を表現するごく簡単な個人的な手紙を書くことができる。
314	-1.4	5.書く	A1	短い簡単な葉書を書くことができる。
315	-0.1	5.書く	B1.2	問い合わせや、問題を説明したメッセージを記録できる。



Can do 番号	Logit	言語 活動	レベル	Can do
317	-1.01	5.書く	A2	もし、繰り返しや言い直しを求めることが可能なら、短い、簡単なメッセージを受け取ることができる。
318	-0.71	5.書く	A2	直接必要なことの用件についての短い、簡単なメモやメッセージを書くことができる。
319	-2.61	5.書く	A1	ホテルの予約用紙などに、数、日付、自分の名前、国籍、住所、年、生年月日、入国日などを書くことができる。

令和2年度文化庁委嘱

「日本語教育の参照枠」Can do の量的検証に  
関する調査報告書

令和3年3月

一般社団法人 日本語教育支援協会